



トリトン アーツ ネットワーク

事業報告書
評価事業報告書

2014



ごあいさつ

トリトン・アーツ・ネットワークは、お陰様で2014年11月所轄庁より公益性のある活動および信頼性ある団体として税制優遇措置の適用になる認定NPO法人の資格を取得いたしました。これもひとえに皆さま方のご支援の賜物と心より御礼申し上げます。

ここに2014年度の事業活動の報告をまとめましたので、ぜひご覧いただきたいと存じます。また本冊子をこの度、評価事業報告書と合本して発行いたします。弊団体の活動についての評価委員会委員の皆さまの客観的なご意見も掲載していますので併せてご一読いただければ幸いです。

さて早いもので来年2016年度にトリトンアーツは15周年を迎えることとなります。それに先立ち2015年度より室内オーケストラの立上げや公演シリーズの一部のリニューアルを行い、またコミュニティ活動も新しい講座の企画を実施します。お客さまによりご満足いただけるように付加価値の高い活動を行ってまいりますので引き続きのご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2015年7月
認定NPO法人トリトン・アーツ・ネットワーク
理事長 長浜力雄

認定NPO法人トリトン・アーツ・ネットワーク

(以下トリトンアーツ)は、第一生命ホールを拠点として、音楽活動を通じて地域社会に貢献する認定NPO法人です。2001年東京都よりNPO法人として認証を受け、2014年11月、運営組織及び事業活動が適正であって公益の増進に資するものにつき一定の基準に適合したものとして、所轄庁より認定NPO法人に認定されました。

東京都中央区にある晴海トリトンスクエアの第一生命ホールを拠点とし、2つの柱を軸に活動しています。

ホール事業

第一生命ホールでの公演事業

コミュニティ事業

ホール周辺地域を中心とした
コミュニティ活動

トリトンアーツの活動は、正会員、特別会員（法人会員）、寄付者、協賛企業、助成団体、サポーター（ボランティア）の皆さまからの支援によって支えられています。

ミッション

音楽によるコミュニティの活性化、音楽の楽しさを分かち合い、心を豊かにする

広める

音楽をあらゆる年代、
あらゆる層の人に
広める

創る

創意工夫した
音楽プログラムを
創り提供する

育てる

若手演奏家、
アートマネジメント、
文化ボランティア人材
を育てる

トリトンアーツの主な事業

I. 第一生命ホールでの公演事業

— ホール事業 (P.8 ~ 23 参照)

トリトンアーツが拠点とする第一生命ホールでのホール公演を年間約 30 回行っています。大きく 3 つのシリーズで構成されています。

- ライフサイクルコンサート
- クアルテット・ウィークエンド (SQW)
- ウィークエンドコンサート

II. ホール周辺地域を中心としたコミュニティ活動

— コミュニティ事業 (P.24 ~ 41 参照)

ホール周辺の地域の皆さまへ音楽をお届けする活動を年間約 40 回実施しています。常に地域のニーズに耳を傾け、サポーターの協力を得て幅広く柔軟に取り組んでいます。

- アウトリーチ
- 第一生命ホールオープンハウス
- ロビーコンサート
- レクチャー
- その他コミュニティ活動

III. 文化ボランティア拠点づくり事業 (P.42 参照)

IV. 人材の育成事業 (P.43 ~ 44 参照)

V. 評価事業 (2014 年度評価事業報告書 (P.59 ~ 74) 参照)

アートマネジメント分野、NPO 研究等の専門家によるトリトンアーツ評価委員会が、ミッションの実現に向け、事業の評価を客観的に分析・点検しています。

も く じ

ごあいさつ	1
認定NPO法人トリトン・アーツ・ネットワーク	2
もくじ	3
特別会員 (法人会員)・協賛企業からのメッセージ	4

事業報告書

1. 2014 年度の事業の成果

1-1. 全体の総括	6
1-2. ホール事業	8
2014 年度ホール事業一覧	
(1) ライフサイクルコンサート	
(2) クアルテット・ウィークエンド (SQW)	
(3) ウィークエンド・コンサート	
(4) 特別コンサート	
(5) 共催公演	
1-3. コミュニティ事業	24
2014 年度コミュニティ事業一覧	
(1) アウトリーチ	
(2) 第一生命ホールオープンハウス	
(3) ロビーコンサート	
(4) レクチャー	
(5) その他コミュニティ活動	
1-4. 文化ボランティア拠点づくり事業 ～サポーター～	42
1-5. 人材の育成事業	43
2. 広報活動	
2-1. 新聞・雑誌	46
2-2. トリトンアーツからの情報発信	47
3. 組織運営・財政決算・定款	
3-1. 役員・職員・評価委員・特別会員・寄付者・ 正会員	50
3-2. 総会・理事会・運営会議・企画分科会	52
3-3. 財政決算	53
3-4. 定款	57

評価事業報告書

はじめに	61
第 I 部 トリトン・アーツ・ネットワークの事業への 評価について	62
第 II 部 2014 年度の評価活動	64
第 III 部 資料編	67

特別会員（法人会員）・協賛企業からのメッセージ

■ 住友商事株式会社（特別会員（法人会員））

住友商事グループは、行動指針のひとつに「良き企業市民として社会に貢献する」ことを掲げ、文化活動の支援等を推進しており、その一環として当社は2001年のトリトン・アーツ・ネットワーク設立当初より、その事業活動に協賛致しております。

トリトン・アーツ・ネットワークは、「音楽の楽しさを分かち合い、心を豊かにする」「コミュニティの活性化」をミッションとし、第一生命ホールを舞台とした「ホール事業」と、ホール周辺地域に音楽を届ける「コミュニティ事業」の2本を柱として、地域の文化活動に貢献されております。2014年度にはその活動が認められ、「認定NPO法人」として認定されました。

今後もトリトン・アーツ・ネットワークの事業活動を通じ、地域の文化・芸術が益々発展することを、当社も地域の一員として心から願っております。

財務部

■ 晴海トリトンスクエア統一管理者 株式会社晴海コーポレーション（協賛企業）

谷本前理事の後任として、2015年度より理事を拝命しました晴海コーポレーションの三井です。音楽文化発信基地としてのトリトン・アーツ・ネットワークとビジネス拠点のトリトンスクエアは、両輪となって街区の発展を支え、地域の大きなランドマークになったと感じています。今後2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて世界から注目されるトリトンを目指すには、トリトン全体のバリューupを考える必要があります、トリトンアーツの大いなる活動が必須であります。私は微力ではありますが、トリトンアーツの皆さんが思う存分活躍できる環境作りに努力していきたいと考えております。

今後とも直しくお願い致します。

社長 三井 禎浩

■ 第一生命保険株式会社（特別会員（法人会員）・寄付）

第一生命は、社会課題解決に向けた取り組みとして「健康の増進」「豊かな次世代社会の創造」「環境の保全」を中心テーマに社会貢献活動を行っています。

トリトンアーツが長年継続されているアウトリーチ活動は、普段生の音楽に接することが少ないお年寄りの方や、未来を担う子どもたちへ豊かな時間を提供することで社会に貢献されています。

2014年11月に東京都より認定NPO法人に認定されましたことは、2016年の第一生命ホールおよびトリトンアーツ15周年に弾みがつくことでしょう。さらには、2020年の東京オリンピックに向けて、素晴らしい音楽がより多くの皆さまに親しまれますよう心より祈念いたします。引き続き当社はトリトンアーツへの支援を通じ、豊かな次世代社会の創造・音楽芸術の発展に貢献してまいります。

DSR推進室長 池田 浩之

事業報告書

2014

認定NPO法人
トリトン・アーツ・ネットワーク

2014 年度の事業の成果

- 1-1. 全体の総括
- 1-2. ホール事業
- 1-3. コミュニティ事業
- 1-4. 文化ボランティア拠点づくり事業
- 1-5. 人材の育成事業

1

2014年度もトリトン・アーツ・ネットワーク（以下トリトンアーツ）は、「音楽の楽しさを分かち合い、心を豊かにする」「コミュニティの活性化」というミッションに基づき、充実したホール事業、コミュニティ事業、人材育成事業を行うことができました。

トリトンアーツが拠点とする第一生命ホールの位置する東京都中央区は日本でも有数の人口急増地域で、2015年に14万人を超えました。第一生命ホールが中央区晴海にオープンした2001年は7万人台だったので、この14年でほぼ倍増したことになります。人口ピラミッドを見ると特徴的なのが、0-4歳の乳幼児とその親世代である30-40歳代の増加であり、ホールのまわりも、次々に高層マンションが建ち、景観が変わっています。まさに晴海は新しい街として変貌を遂げる途上にあります。設立当初から、地域を音楽でつなぐネットワークとなりたいという思いで、第一生命ホールでの主催公演である「ホール事業」、そしてホール周辺地域に音楽をおとどける「コミュニティ事業」を2本の柱として活動してきたトリトンアーツとしては、やりがいに満ちた場所であり、時期でもあります。

また、トリトンアーツは2014年11月に認定NPO法人を取得しました。長年の活動で、公益性、信頼性が認められたということです。トリトンアーツは、街に開かれた団体として、小さなお子さまから、晴海トリトンスクエアで働く世代、そしてご年配の方までが、ホールで音楽を楽しむだけでなく、地域でも音楽に触れられ、あるいは活動に賛同していただける方にはサポーターとして、会員として寄付者として、ご自分にあった形で一緒に活動できる認定NPO法人です。ここで育つお子さまたちに、音楽のある街としていつまでも晴海を誇ってもらえるように、誰もが音楽を楽しめ、トリトンアーツがあっけよかったとと思っていただけるように、活動を続けていきたいと思っています。

個人正会員、法人会員、寄付者の皆さま、サポーターの皆さまに、改めて感謝申し上げ、ここに活動をご報告いたします。

ホール事業

第一生命ホールの主催公演である「ホール事業」は、31公演（2013年度延期になって、2014年度に実施したミロ・クアルテット公演を加えると32公演）実施しました。内訳は、ライフサイクルコンサート13公演、クア

ルテット・ウィークエンド（SQW）6公演、ウィークエンドコンサート5公演、特別コンサート1公演、共催公演（TAN's Amici Concert）6公演です。

それぞれシリーズ毎に対象や目的は異なりますが、おおむね定性的な目的にかなった公演を制作できたと思います。定量的な目標に関しては、年間のチケット売上高は達成しましたが、入場者数は目標未達となりました。

シリーズ全体の枠組みは、毎年のように変えるよりも、ある程度継続して行った方が一般に浸透するという思いから、2014年度は大きな変更はせず、シリーズの中で内容のさらなる充実を目指して制作することを心がけました。オープン当初から15年続くSQWや子育て（育児）支援コンサートは別格として、ウィークエンドコンサート「音楽のある週末」と、ライフサイクルコンサート「昼の音楽さんぽ」が5年目、10周年の節目に始めたモーツァルト・ガラ・コンサートなど、ある程度継続してそれぞれの課題も見えてきた公演は、良い部分は活かして2015年度にリニューアルすることを決めたため、2014年度はこれまでと同じシリーズの形で行う最後の年と位置付けています。

「子育て支援コンサート」は、制作に非常に手間がかかるために、トリトンアーツの活動をよくご存じで、一緒に創ってくださる覚悟のある演奏家の方と時間をかけて打ち合わせをしながら制作しています。

「クリスマス・オーケストラ・コンサート」はARCUSが担当して4年目、「音楽と絵本コンサート」は6年前の再演、SQWはレギュラーで毎年出演するアーティストが多いため、これ以外のシリーズでは、積極的に新しい演奏家にも登場していただき、これまで第一生命ホールを知らなかったというお客様にもホールに足を運んでいただけるきっかけとなればと思っています。2014年度の主な初出演アーティストは、北村朋幹（ピアノ）、きりくハンドベル・アンサンブル、本田雅人（サクソ）、オイロス・アンサンブル（木管アンサンブル）、若林颯（ピアノ）、小菅優（ピアノ）、チャールズ・ナイディック（クラリネット）等。それぞれホールを訪れた新規顧客の割合が多かったことが顧客分析からも見て取れるため、ホールの良さを認識してもらい、引き続き次の公演に来ていただけるよう働きかけていければと思っています。同じ狙いで新規の共催公演を2公演増やし、新しい観客層がホールを訪れました。

コミュニティ事業

コミュニティ事業は、37 事業実施しました。ホール事業との連携を積極的に推進するため、ホール事業に出演するアーティストに、コミュニティ事業もトリトンアーツの2本の柱の1つであることを説明し、ご理解いただいた上で、スケジュールの調整などが上手くいった場合、なるべくコミュニティ事業でも活躍していただいています。2014 年度は、2013 年度の育児支援コンサートに出演した江崎浩司（リコーダー）が、小学校や近隣施設を訪れました。また共催公演で連携している日本音楽集団の島村聖香（打楽器）が所属するジャパトラが小学校で参加型のアウトリーチを行いました。

ここ数年小学生に大人気の TANBRASS（金管五重奏＋打楽器）は、小学校4校の他に、2013 年度に引き続き被災地支援として福島を訪れ、またオープンハウスにも出演してホールデビューを果たすなど、若手アンサンブルとして成長を続けています。幼稚園や保育園では、過去の「室内楽アウトリーチセミナー」受講生が弦楽四重奏を組んでアウトリーチを行いました。有名曲に頼ることなく、自分たちで弦楽四重奏の魅力が伝えられると信じた曲を演奏するなど攻めの姿勢を見せ、子どもたちの反応に確かな手ごたえを感じました。2011 年度から継続している室内楽アウトリーチセミナーの成果の表れと見えています。

文化ボランティア拠点づくり事業

トリトンアーツの登録サポーターは、2015 年3月現在で73名。日々の事業のサポートだけでなく、実行委員会や班を作り様々な共同企画を行うなど、トリトンアーツの活動を活性化し、支えています。

オープンハウスでは、登録サポーターに大学生も加わった5名の実行委員が数か月にわたって企画を練り、当日は100名のサポーターと共に活動しました。また、サポーター新企画として2年目を迎えたレクチャー企画実行委員は、4回にわたる体験付きの講座を企画、実施しました。これは座学講座に楽器体験やバックステージツアー、公開リハーサルを組み合わせたユニークな企画で、2015 年度には中央区民カレッジ講座として実施できることになりました。

人材の育成事業

音楽家が社会で生きる意味を問い、若い演奏家が講師と共に実践の場で学ぶ「室内楽アウトリーチセミナー」は、4年目となりました。受講生2団体が同じ小学校の4年生4クラスのうち2クラスずつを受け持って3回にわたるアウトリーチを行いました。3月末の春休み期間に第一生命ホールのロビーで「室内楽ロビーコンサート」を開催したところ、アウトリーチを体験した小学生が約10名も2時間の室内楽のコンサートを聴きにやってきました。過去の受講生によるアウトリーチでの活躍も含め、本セミナーは確かに実績をあげていると自負している一方、2015 年度の受講生応募者が減ったことは残念で、成果をきちんと発信し、多くの人に知ってもらおう努力を続けていかなくてはならないと感じています。

また、インターンシップとしては、主にアートマネジメントを勉強中の大学生、大学院生受け入れを継続しています。

2015 年度は、15周年である2016 年度に向けた変革の年として、シリーズを見直し、また新たにホールを拠点とする室内オーケストラ「トリトン晴れた海のオーケストラ」を設立し、よりホール事業、コミュニティ事業ともに連携を深めて、「音楽によるコミュニティの活性化」「音楽の楽しさを分かち合い、心を豊かにする」ミッションを追求していきます。皆さまの変わらぬご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

（文中敬称略）

トリトン・アーツ・ネットワーク ディレクター 田中玲子

1 1-2. ホール事業

2014 年度の事業の成果

■ 2014 年度ホール事業

(1) **ライフサイクルコンサート** 「ライフサイクルコンサート」は、人生の様々なステージ（ライフサイクル）において、身近に音楽を楽しむ機会を提供するシリーズ。（平成 26 年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業）

昼の音楽さんぽ

夜間に外出しづらい主婦や高齢者を主な対象とした、平日昼間に行う 60 分間のコンサートシリーズ。

協賛：アブラック（アメリカンファミリー生命保険会社）



公演 No.3, 6



公演 No.20, 28

シックスサーティ

630コンサート

第一生命ホールが位置する晴海トリトンスクエア在勤者を主なターゲットにしたシリーズ。



公演 No.11



公演 No.27

オペラの楽しみ

室内楽ホールで楽しめるオペラ入門編。



公演 No.29

子どもを連れてクラシック

4 歳以上のお子さまとご家族にはホールで、乳幼児のお子さまにはロビーで楽しんでいただけるコンサート。



公演 No.8



公演 No.21



公演 No.30



公演 No.5, 15, 24

(2) クアルテット・ウィークエンド (SQW)

室内楽の中でも最も繊細かつ奥深いジャンルのひとつである弦楽四重奏を紹介する。



公演 No.9, 10, 13



公演 No.17



公演 No.26



公演 No.31

(4) 特別コンサート

モーツァルト・ガラ・コンサート

第一生命保険と縁の深い、モーツァルト特別コンサート。（平成 26 年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業）



公演 No.19

(3) ウィークエンド・コンサート

音楽のある週末

室内楽に適した第一生命ホールで、本格的なプログラムを、週末に定期的に楽しんでいただくシリーズ。



公演 No.2, 4



公演 No.12



公演 No.22



公演 No.23

(5) 共催公演

TAN's Amici Concert

(Amici とは、「親友たち」という意味) と題して行う共催公演。合唱や邦楽など、トリトンアーツ主催公演では取り上げにくい公演を協力して実施している。

公演 No.1, 7, 14, 16, 18, 25

■ 2014 年度ホール事業一覧

公演 No.	公演日時	シリーズ	公演名	受益者数	ボランティア数
1	4/18 金 19:00	TAN's Amici Concert	東京混声合唱団第 234 回定期演奏会 世界を翔る若き泰斗山田和樹、東混音楽監督就任記念 共催：一般財団法人合唱音楽振興会	513	2
	5/10 土 14:00	SQW	ミロ・クアルテット【延期公演】	468	3
2	5/18 日 14:00	ウィークエンド・コンサート	音楽のある週末 第 18 回 仲道郁代のモーツァルト I ～ヴァイオリンと奏でるメロディの哀しみ	470	3
3	6/6 金 11:30	ライフサイクルコンサート #98	昼の音楽さんぽ 第 17 回 佐藤美枝子ソプラノ・リサイタル	445	3
4	7/5 土 14:00	ウィークエンド・コンサート	音楽のある週末 第 19 回 仲道郁代のモーツァルト II ～フォルテピアノと現代ピアノの聴き比べ	476	5
5	7/11 金 10:00 11:30 13:30	ライフサイクルコンサート #99	子どもを連れてクラシック ～第 13 回ロビーでよちよちコンサート	110	5
6	8/7 木 11:30	ライフサイクルコンサート #100	昼の音楽さんぽ 第 18 回 北村朋幹ピアノ・リサイタル	289	3
7	8/8 金 19:00	TAN's Amici Concert	林光メモリアル 東混 八月のまつり - 東京混声合唱団特別定期演奏会 35 共催：一般財団法人合唱音楽振興会	389	2
8	9/23 火・祝 14:00	ライフサイクルコンサート #101	子どもを連れてクラシック ～「音楽と絵本」コンサート『おふるだいすぎ』	610	3
9	9/27 土 14:00/ 14:45	SQW#113	古典四重奏団 ムズカシイはおもしろい!! (レクチャー付き) ～古典四重奏団のモーツァルト全曲 2014 の 1 共催：古典四重奏団	173	3
10	10/10 金 19:00/ 19:20	SQW#114	古典四重奏団 ムズカシイはおもしろい!! (レクチャー付き) ～古典四重奏団のモーツァルト全曲 2014 の 2 共催：古典四重奏団	166	3
11	10/22 水 18:30	ライフサイクルコンサート #102	630コンサート～充電の 60 分～ 本田雅人ジャズ・ナイト	556	3
12	10/25 土 14:00	ウィークエンド・コンサート	音楽のある週末 第 20 回 オイロス・アンサンブル 2014 ～トリオから十四重奏まで 変幻するオイロスの小宇宙	502	3
13	10/26 日 14:00/ 14:45	SQW#115	古典四重奏団 ムズカシイはおもしろい!! (レクチャー付き) ～古典四重奏団のモーツァルト全曲 2014 の 3	207	3
14	11/1 土 14:00	TAN's Amici Concert	中島康晴テノール・リサイタル 共催：アートリンクス	507	1
15	11/20 木 10:00 11:30 13:30	ライフサイクルコンサート #103	子どもを連れてクラシック ～第 14 回ロビーでよちよちコンサート	124	6
16	11/29 土 14:00	TAN's Amici Concert	日本音楽集団創立 50 周年・伊福部昭生誕 100 年 第 213 回特別記念定期演奏会 共催：特定非営利活動法人 日本音楽集団	535	2
17	11/30 日 14:00	SQW#116	シューマン・クアルテット	393	3
18	12/4 木 19:00	TAN's Amici Concert	東京混声合唱団第 235 回定期演奏会～三善晃追悼～ 共催：一般財団法人合唱音楽振興会	374	1
19	12/6 土 14:00	特別コンサート	モーツァルト・ガラ・コンサート	693	4
20	12/10 水 11:30	ライフサイクルコンサート #104	昼の音楽さんぽ 第 19 回 きりく・ハンドベルアンサンブルのクリスマス	293	4
21	12/14 日 13:00 16:00	ライフサイクルコンサート #105	子どもを連れてクラシック ～クリスマス・オーケストラ・コンサート	617 512	3
22	12/21 日 14:00	ウィークエンド・コンサート	音楽のある週末 第 21 回 若林顕 ピアノで聴く『第九』	355	3
23	2015. 1/31 土 14:00	ウィークエンド・コンサート	音楽のある週末 第 22 回 千住真理子 イザイ無伴奏ヴァイオリン・ソナタ全曲演奏会	554	3
24	2015. 2/6 金 10:00 11:30 13:30	ライフサイクルコンサート #106	子どもを連れてクラシック ～第 15 回ロビーでよちよちコンサート	120	7
25	2015. 2/11 水・祝 14:00	TAN's Amici Concert	びわ湖ホール声楽アンサンブル東京公演 vol.7 J.S. バッハ作曲「ヨハネ受難曲」 共催：公益財団法人びわ湖ホール	334	2
26	2015. 2/14 土 14:00	SQW#117	エルデーディ弦楽四重奏団 ～弦楽四重奏のみに託されたベートーヴェン最晩年の高貴なるメッセージ	330	3
27	2015. 2/18 水 18:30	ライフサイクルコンサート #107	630コンサート～充電の 60 分 ～ヴァイオリニストが選ぶ大人のためのクラシック	346	4
28	2015. 2/20 金 11:30	ライフサイクルコンサート #108	昼の音楽さんぽ 第 20 回 ARCUS の『四季』	270	4
29	2015. 3/1 日 14:00	ライフサイクルコンサート #109	オペラの楽しみ～避暑地で乾杯！恋のカクテル	457	4
30	2015. 3/7 土 14:00	ライフサイクルコンサート #110	子どもを連れてクラシック ～子育て支援コンサート『うきわねこ』	525	48
31	2015. 3/15 日 14:00	SQW#118	クアルテット・エクセルシオ～Quartet+ (プラス)	461	5
			計	13,174	151

(1) ライフサイクルコンサート

昼の音楽さんぽ

〈ライフサイクルコンサート #98〉

昼の音楽さんぽ 第17回

佐藤美枝子ソプラノ・リサイタル

6月6日(金) 11:30 開演

■出演者

佐藤美枝子(ソプラノ) 河原忠之(ピアノ)

■演奏曲

唐木亮輔(詩:尾崎昭代):花の雨

岡野貞一(詩:高野辰之):朧月夜

中田喜直(詩:壺田花子):ねむの花

山田耕筰(詩:北原白秋):からたちの花

小林秀雄(詩:野上彰):落葉松

ラヴェル:ヴォカリーズ-ハバネラ形式のエチュード

デラックア:ヴィラネル

アダマン:「ああ、お母さん聞いて」による変奏曲(きらきら星変奏曲)

グノー:歌劇『ファウスト』より宝石の歌「なんと美しいこの姿」

トマ:歌劇『ハムレット』よりオフィリアの狂気のシェーナとアリア

「私のお花を皆さんで分けてください」

■チケット料金(全席指定)

一般¥2,000 お友だち割¥1,500(同一公演3枚以上で1枚あたり)

2公演(第17・18回)セット券¥3,000

■入場者数 445名/キャパシティ759名(58.6%)

■ねらい・振り返り 超絶技巧はもちろん、人の機微を豊かに表現することで定評がある佐藤美枝子の魅力を1時間に凝縮したプログラム。

ライフサイクルコンサート
昼の音楽さんぽ
公演 No.3



©大窪道治

人の心に寄り添うような佐藤の歌唱で、お客様にリフレッシュしていただきたいと思います。表現力豊かな歌唱に涙したとの声もあり、多くの方々より再演をご希望をいただきました。

■来場者の声 やや寝不足で疲れ気味でしたが、すっかり元気になり浄化の力にも驚いてしまいました。／近頃こんなに充実したコンサートはあまりない。／ブラボー！日本一！時を忘れて聴き惚れました。／素晴らしかったです。何回も聴きたいです。／短いコンサートながらプログラムがすばらしい。

〈ライフサイクルコンサート #100〉

昼の音楽さんぽ 第18回

北村朋幹ピアノ・リサイタル

8月7日(木) 11:30 開演

■出演者

北村朋幹(ピアノ)

■演奏曲

ショパン:ノクターン第16番変ホ長調 Op.55-2

ベートーヴェン:ピアノ・ソナタ第31番変イ長調 Op.110

J.S.バッハ(コルトー編):アリオーソ(チェンバロ協奏曲第5番へ短調 BWV1056より)

ブラームス:幻想曲集 Op.116

■チケット料金(全席指定)

一般¥2,000 お友だち割¥1,500(同一公演3枚以上で1枚あたり)

2公演(第17・18回)セット券¥3,000

■入場者数 289名/キャパシティ759名(38.1%)

■ねらい・振り返り 瑞々しい感性と深い洞察力に定評がある北村朋幹。当シリーズのファンのお客様はもちろん、楽器を習ってる小学生のお子様にもピアノによる表現の可能性をご紹介したく、夏休みに開催した。自分の限界を定めずより高みを目指すその伸びしろと渾身の熱演に、今後の活躍を期待する声を多くいただいた。

ライフサイクルコンサート
昼の音楽さんぽ
公演 No.6



©大窪道治

■来場者の声 作曲家に対する敬意・深い理解が見えてとてもすてきな演奏。／1時間で様々な作曲家のタイプの異なる曲を聴けて良かった。／精一杯心を開いて聴衆に想いを伝えようとしているのがよく伝わってきて嬉しかったです。／みずみずしくて、将来とてまたの楽しみです。／ぼくも北村くんみたいになりたい。

〈ライフサイクルコンサート #104〉

昼の音楽さんぽ 第19回
きりく・ハンドベルアンサンブルのクリスマス
12月10日(水) 11:30 開演

■出演者

きりく・ハンドベルアンサンブル
[大坪泰子/小島多佳子/小山恵理/染谷ゆかり/津布久涼子/波崎百合子/福田義通/溝口綾子]

■演奏曲

ピアノソラ：リベルタンゴ
シューベルト：アヴェ・マリア
J.S. バッハ：主よ人の望みの喜びよ
カッチーニ：アヴェ・マリア
バーナード：ウィンター・ワンダーランド
坂本龍一：戦場のメリークリスマス
いずみたく：見上げてごらん夜の星を
モンティ：チャールダーシュ

■チケット料金 (全席指定)

一般¥2,000 お友だち割¥1,500 (同一公演3枚以上で1枚あたり)
2公演(第19・20回) セット券¥3,000

■入場者数 293名/キャパシティ759名(38.6%)

■ねらい・振り返り 普段コンサートに馴染みがない方でもお友だちを誘ってご来場いただき、生のコンサートならではの高揚感をぜひ多くの方に知っていただきたいという願いを込めた企画。世界的なハンドベルアンサンブルによる驚愕のパフォーマンスと固定概念を払拭する多才な音色・アンサンブルの妙に、ご好評いただいた。

■来場者の声 2曲目から涙がとまりませんでした。/演奏している方の動きが美しく見とれてしまいました。/そのきれいなうつつ響

ライフサイクルコンサート
昼の音楽さんぽ
公演No.20



©大窪道治



©大窪道治

きに圧倒されました。/ハンドベルアンサンブルは初めて聞かせて頂き、びっくりする程感激しました。/孫にも聞かせてあげたいです。

〈ライフサイクルコンサート #108〉

昼の音楽さんぽ 第20回
ARCUSの『四季』
2015年2月20日(金) 11:30 開演

■出演者

ARCUS (アルクス) (室内オーケストラ)

■演奏曲

ヴィヴァルディ：合奏協奏曲集『調和の靈感』より第4番ホ短調 Op.3-4
ヴァイオリン独奏：降旗貴雄/丹羽洋輔/山岸努/横溝耕一
ヴィヴァルディ：ヴァイオリン協奏曲集『四季』Op.8-1~4
春：伝田正秀/夏：大宮臨太郎/秋：松田拓之/冬：白井篤

■チケット料金 (全席指定)

一般¥2,000 お友だち割¥1,500 (同一公演3枚以上で1枚あたり)
2公演(第19・20回) セット券¥3,000

■入場者数 270名/キャパシティ759名(35.6%)

■ねらい・振り返り 有名定番曲を一流の演奏で聴いていただく事により本物の生演奏の素晴らしさをお伝えし、クラシック・ファンのすそ野を広げたいと願い実施した。本物の迫力に、お客様から「期待以上だった」「また聴きたい」とのお声を多くいただいた。集客が思うように伸びなかったが、芸術性やお客様満足度が高かった。

■来場者の声 あまりクラシックに縁のない生活を送っているのですが、娘が連れてきてくれて、大変楽しかったです。また来たいです。/「あー、あの曲ね」位の気持ちでした。でも違いました。やはり本物の生演奏はいいですね。/ヴァイオリン・ソロがそれぞれ変わり、それぞれの音色・呼吸で、とてもよかったです。

ライフサイクルコンサート
昼の音楽さんぽ
公演No.28



©大窪道治

〈ライフサイクルコンサート #102〉

630コンサート～充電の60分～

本田雅人ジャズ・ナイト

10月22日（水）18:30 開演

■出演者

本田雅人（サクソ）

塩谷哲（ピアノ）＊佐山雅弘（ピアノ）氏の急病により代演

■演奏曲

Bill Evans：Waltz For Debby

本田雅人：Alamode

本田雅人：LAST CLEAR STREAM

本田雅人：Fast Track

三木たかし（本田雅人編）：アンパンマンのマーチ

塩谷哲：JERASH

本田雅人：It do mean a thing

■チケット料金（全席指定）

一般¥2,200 トリトンポイントカード会員¥2,000

■入場者数 556名／キャパシティ759名（73.3%）

■ねらい・振り返り 晴海トリトンスクエアに勤務するオフィスワーカーに楽しんでいただけるように、T-SQUAREなどで活躍し40代以上の世代によく知られているサクソプレーヤー本田雅人のジャズ・ナイトを開催した。ピアニストの変更があったが急遽出演いただいた塩谷哲とのデュオも滅多に聴けない共演で好評を博した。

ライフサイクルコンサート
630コンサート
公演 No.11



©藤本史昭

■来場者の声 急な変更にもかかわらず、さすがの内容でした。とても楽しかったです。この料金で聴けたのもったいないぐらいでした。近所だったら通いたいくらいです。ピアノも音響もよいホールですね。／素晴らしかった！の一言に尽きる。

〈ライフサイクルコンサート #107〉

630コンサート～充電の60分～

ヴァイオリニストが選ぶ大人のためのクラシック

2015年2月18日（水）18:30 開演

■出演者

松原勝也（ヴァイオリン） 浦壁信二（ピアノ）

弦楽合奏 [鈴木由美／土屋杏子／福崎雄也／藤代優意／藤田尚子／森岡聡／渡辺彩（ヴァイオリン） 伊藤慧／大角彩／福田道子（ヴィオラ） 伊藤七生／山澤慧（チェロ） 佐々木大輔（コントラバス）]

■演奏曲

J.S. バッハ：シャコンヌ～無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ第2番ニ短調 BWV1004 より

ベートーヴェン：ヴァイオリン・ソナタ第5番ヘ長調「春」Op.24

チャイコフスキー：弦楽セレナードハ長調 Op.48

■チケット料金（全席指定）

一般¥2,200 トリトンポイントカード会員¥2,000

■入場者数 346名／キャパシティ759名（45.6%）

■ねらい・振り返り 普段クラシック音楽に聴きなじみのない方でも楽しめるように、ヴァイオリンの無伴奏、デュオ、弦楽合奏とバラエティに富んだ編成のプログラムでお届けした。弦楽合奏では、過去のセミナー修了生が出演するなど若手演奏家の熱気溢れる演奏も楽しんでいただいた。

ライフサイクルコンサート
630コンサート
公演 No.27



©大窪道治

■来場者の声 ピアノの音色がきれいでした。第一生命ホールで聴くクラシック音楽が大好きです。「シャコンヌ」聴けて幸せでした。／よいストレス解消になりました。／若手が頑張っていると感じた。

オペラの楽しみ

〈ライブサイクルコンサート #109〉

オペラの楽しみ～避暑地で乾杯！恋のカクテル

2015年3月1日（日）14:00 開演

ライブサイクルコンサート
オペラの楽しみ
公演 No.29

■出演者

光岡暁恵（ソプラノ） 牧野真由美（メゾソプラノ） 澤崎一了（テノール）
大石洋史（バリトン） 瀧田亮子（ピアノ）

■演奏曲 *字幕付

ヘンデル：歌劇『セルセ』よりセルセのアリア「オンブラ・マイ・フ」
ロッシーニ：歌劇『ランスへの旅』よりフォルヴィル夫人のアリア「ああ！出発したいのに」
マスカーニ：歌劇『カヴァレリア・ルスティカーナ』よりトゥリッドゥのアリア「万歳！泡立つワインよ」
ヴェルディ：歌劇『イル・トロヴァトーレ』よりアズチーナのアリア「炎は燃えて」
ビゼー：歌劇『カルメン』よりカルメンのアリア「ジブシーソング」
モーツァルト：歌劇『フィガロの結婚』よりフィガロのアリア「少しばかり目を開け」
ボンチーニ：歌劇『グリゼルダ』よりエルネストのアリア「おまえを愛する名誉のために」
ドリーブ：歌劇『ラクメ』より二重唱「ラクメ花の二重唱」
ヘンデル：歌劇『リナルド』よりアルミレーナのアリア「私を泣かせて下さい」
チマローザ：歌劇『秘密の結婚』より二重唱「私は行くわ」
ロッシーニ：歌劇『オリー伯爵』より三重唱「この暗い夜に乗じて」
パイジエツコ：歌劇『美しい水車小屋の娘』よりラケリーナのアリア「もはや心を感じない」
ブッチーニ：歌劇『ジャンニ・スキッキ』よりラウレッタのアリア「私のお父さん」
ヴェルディ：歌劇『ドン・カルロ』より二重唱「われらの胸に友情を」
ドニゼッティ：歌劇『愛の妙薬』より2幕フィナーレ「どんな欠点でも治す薬」

■チケット料金（全席指定）

ペア ¥6,000 一般 ¥3,500 ヤング ¥1,500（小学生以上、25歳以下）

■入場者数 457名／キャパシティ 663名（68.9%）



©大窪道治



©大窪道治

■ **ねらい・振り返り** 牧野真由美による脚本・構成・演出の第2弾。現代のストーリーの中にオペラを組み込むことによって、新鮮でオリジナリティ溢れる作品に仕上がりました。オペラに馴染みのない方からお好きな方まで幅広く楽しんでいただけた。■ **来場者の声** オペラ初心者でしたが分かりやすいストーリーで素晴らしい歌でしたので時間が経つのがあっという間でした。／大変わかりやすく、もっと若い人達（高校生くらい）にも見ていただきたいと思いました。／現代劇とオペラの楽曲が意外に合うことに驚き楽しかったです。

子どもを連れてクラシック

〈ライブサイクルコンサート #101〉

子どもを連れてクラシック

～「音楽と絵本」コンサート『おふろだいすき』

9月23日（火・祝）14:00 開演

ライブサイクルコンサート
子どもを連れてクラシック
公演 No.8

■出演者

中川賢一（ピアノ）
バズ・ファイブ（金管五重奏） [上田じん／小川聡（トランペット）
友田雅美（ホルン） 加藤直明（トロンボーン） 石丸薫恵（チューバ）]
大森智子（ソプラノ／朗読）

■演奏曲

【第1部】 ピアノ・歌・金管楽器を聴いてみよう～楽器紹介もあるよ！

ロッシーニ：歌劇『ウィリアム・テル』序曲（金管五重奏+ピアノ）
ディガン：オー・シャンゼリゼ（金管五重奏）
ブッチーニ：歌劇『ラ・ボエーム』より「ムゼッタのワルツ」（ソプラノ）
ドビュッシー：アラバスク第1番（ピアノ）
ピアソラ：リベルタンゴ（金管五重奏+ピアノ）
J.シュトラウス：ラデツキー行進曲 Op.228

【第2部】 音楽と絵本／「おふろだいすき」

[作：松岡享子／絵：林明子／福音館書店]

■チケット料金（全席指定）

大人 ¥2,000（中学生以上） 子ども ¥1,000（4歳以上、小学生以下）

※託児（有料）サービス有り（託児利用者数 24組）

■入場者数 610名／キャパシティ 658名（92.7%）

■後援 中央区・中央区教育委員会

■協力 株式会社 福音館書店



©大窪道治



©大窪道治

■ **ねらい・振り返り** 子育て支援コンサート第二部として数年前に上演した「音楽と絵本 おふろだいすき」の再演。前半には来場者にボディパーカッションで演奏に参加するコーナーも設け、舞台と客席のファミリーが一体となった公演になった。終演時には、完売で満席の会場に子ども達から自発的にスタンディングオベーションが起こった。■ **来場者の声** 最高。すごくすてきな時間だった。楽しかったし、子供が楽器に興味をもった！／子供を連れて初めてのコンサートが分かりやすく楽しくても本格的でとても良かったです。よい経験となりました。

〈ライフサイクルコンサート #105〉

子どもを連れてクラシック
〜クリスマス・オーケストラ・コンサート
12月14日(日) ① 13:00 開演 ② 16:00 開演

ライフサイクルコンサート
子どもを連れてクラシック
公演 No.21



©越間有紀子

■出演者

ARCUS (アルクス)

■演奏曲

ヘンデル：組曲「王宮の花火の音楽」より序曲

モーツァルト：「セレナータ・ノットウルナ」より第1楽章

グノー：「9つの管楽器のための小交響曲」より

アンダーソン：クリスマスフェスティバル

ベートーヴェン：交響曲第3番「英雄」より第1楽章

グルーバー：きよしこの夜

■チケット料金 (全席指定)

大人 ¥2,000(中学生以上) 子ども ¥1,000 (4歳以上、小学生以下)

※託児 (有料) サービス有り (託児利用者数 ① 10組 ② 8組)

■入場者数 ① 617名/キャパシティ 658名 (93.8%)

② 512名/キャパシティ 658名 (77.8%)

■後援 中央区・中央区教育委員会

■ねらい・振り返り 4歳以上のお子さまに身近にオーケストラに親しんでもらうことを目的とし、60分という短い時間に一つ一つの楽器紹介や本格的クラシック曲、クリスマスの曲などを盛り込み、ご家族でお楽しみいただいた。小学生が舞台上で鑑賞できる曲も用意。

■来場者の声 楽器の説明等、子どもにわかりやすい話がありとても良かったです。来年は子どもを舞台上で聴かせたいです。／毎年クリスマスコンサートに来ていて今年で3年目です。手頃な金額で子どもとオーケストラを聴けるので毎年楽しみにしています。今年もとてもよかったです。また来年も楽しみにしています！

〈ライフサイクルコンサート #110〉

子どもを連れてクラシック
〜子育て支援コンサート『うきわねこ』
2015年3月7日(土) 14:00 開演

ライフサイクルコンサート
子どもを連れてクラシック
公演 No.30

■出演者

吉野直子 (ハープ) 佐久間由美子 (フルート) 川田知子 (ヴァイオリン)

村松龍 (ヴィオラ) 長谷部一郎 (チェロ) 渡辺真理 (朗読)

■演奏曲

【第1部】(約30分)

◎大人のためのコンサート (小学生以上)

〜吉野直子リサイタル ハープの世界〜

J.B.ルイエ (グランジャンニー編)：トッカータ

ハチャトゥリアン：ハープのための2つの小品

サルツェード：つむじ風

リスト (ルニエ編)：愛の夢 第3番

トゥルニエ：朝に

◎子どものための音楽スタジオ (2008/4/2～2011/4/1 生まれの幼児対象)

いちご組 (チェロ/ピアノ)

メロン組 (ヴァイオリン/ヴァイオリン)

ぶどう組 (ヴァイオリン/ヴァイオリン)

パイナップル組 (フルート)

【第2部】(約40分)

◎色々な楽器のアンサンブルをきこう！

グランジャンニー：いたずらっ子～組曲「子供の時間」より (ハープ・ソロ)

イベール：間奏曲

フランセ：スケルツォ～五重奏曲 第1番より

◎音楽と絵本：「うきわねこ」

[ぶん：蜂飼耳/え：牧野千穂/ブロンズ新社]

■チケット料金 (全席指定)

大人 ¥2,000(中学生以上) 小学生 ¥1,000 4～6歳 ¥1,000

※託児 (有料) サービス有り (託児利用者数 12組)

■入場者数 525名/キャパシティ 658名 (79.8%)

■後援 中央区・中央区教育委員会

■協力 株式会社ブロンズ新社



©越間有紀子



©大窪道治

■ねらい・振り返り 子育て中コンサートに行く機会が減ってしまった保護者向けに、第1部はハープのリサイタルをじっくりと、同時進行の子どもスタジオでは4～6歳児に身近に生の楽器を見て演奏に触れてもらった。第2部「音楽と絵本」ではハープ五重奏曲を中心に普段は聴くことの少ない曲を、絵本と合わせることで親子で楽しんでもらった。完売には至らなかったが、制作にかかるパワーが大きく、多くの方にご協力いただいている。

■来場者の声 子どもが音楽体験をしている間、親がコンサートを聴く、その後一緒にコンサートに参加、という構成が良かった。／絵・お話の雰囲気合った音楽とても美しかった。／演奏者、スタッフの皆さんの心配り、子ども達への愛情に感じ入ります。／音楽体験の年齢を小学校低学年くらいまで上げてほしい。

子どもを連れてクラシック～ロビーでよちよちコンサート

ライフサイクルの最初のステップとして、1歳児から3歳児と保護者の方を対象としたロビーで行うコンサート。乳幼児が保護者と共に、ロビーのカーペット上に丸く輪になり座って音楽を楽しむ企画。

ライフサイクルコンサート
子どもを連れてクラシック
公演 No.5

〈ライフサイクルコンサート #99〉
子どもを連れてクラシック
～第13回ロビーでよちよちコンサート
7月11日(金)
① 10:00 ② 11:30 ③ 13:30 開演

■出演者

北見春菜(ヴァイオリン) 海老澤洋三(チェロ) 井上紗織(フルート) 五田詩朗/深野紋加(打楽器)

■演奏曲

メンデルスゾーン:「歌の翼」による幻想曲
マスネ:タイスの瞑想曲
バルトーク:「44の二重奏曲」より第14番
ルソー:むすんでひらいて
J.S.バッハ:管弦楽組曲第2番 BWV1067より「ポロネーズ」
フランス民謡:きらきら星
ビゼー:歌劇『カルメン』より「ハバネラ」
デンツァ:フニクリ・フニクラ
アンダーソン:舞踏会の美女
L.モーツァルト:おもちゃのシンフォニー
ラベル:亡き王女のためのパヴァーヌ

■料金 親子1組(大人1名と子ども1名) ¥800

■(応募数/当選数/来場数)

- ① 33組/25組/17組(1～2歳児対象)
- ② 35組/25組/22組(1～2歳児対象)
- ③ 17組/17組/16組(3歳児対象)

■振り返り 当日大型の台風が接近すると、天気予報で欠席者数が増えてしまったが、1回目の開演時には晴れていたため実施することができてよかった。ただ気候の変化のせいかホールについて段階から落ち着かない子どもたちが多かった。今回はヴァイオリンに新メンバーが加わった。

■来場者の声 今日参加するのは2回目、前回よりも月齢があがり、さらに楽しむ息子の様子が見られて、私も嬉しく、また間近で素敵な演奏が聴けて、とても心豊かになったひと時だった。／とてもアットホームで、本物の楽器の音色を聞くことが出来、親子で楽しく過ごせた。



©藤本史昭

ライフサイクルコンサート
子どもを連れてクラシック
公演 No.15

〈ライフサイクルコンサート #103〉
子どもを連れてクラシック
～第14回ロビーでよちよちコンサート
11月20日(木)
① 10:00 ② 11:30 ③ 13:30 開演

■出演者

中川直子(ヴァイオリン) 田中愛(チェロ) 桃原健一(オーボエ) 五田詩朗(打楽器)

■演奏曲

ヴィヴァルディ:四季より「秋」第3楽章
エルガー:愛のあいさつ
サン＝サーンス:「動物の謝肉祭」より「白鳥」
モーツァルト:二重奏曲ト長調 K.423より第3楽章
ラヴェル:クーブランの墓より「メヌエット」
テレマン:トリオソナタハ短調より第4楽章
チャイコフスキー:「くるみ割り人形」より「小序曲」
ビゼー:歌劇『カルメン』より
チャイコフスキー:「くるみ割り人形」より「トレパック」
J.シュトラウスII:ワルツ「美しく青きドナウ」
L.モーツァルト:おもちゃのシンフォニー
武満徹:小さな空

■料金 親子1組(大人1名と子ども1名) ¥800

■(応募数/当選数/来場数)

- ① 58組/25組/24組(1～2歳児対象)
- ② 45組/25組/20組(1～2歳児対象)
- ③ 24組/24組/18組(3歳児対象)

■振り返り どの年齢も温かな雰囲気の中、子ども達それぞれの感じ方で音楽を楽しめる回となった。産休から復帰した奏者が出演したこともあり、より対象年齢の子どもの成長に寄り添った内容のプログラムを作ることができた。クリスマスが近く、会場の大きなツリーに子ども達の興味が集中してしまったことは、今後の検討課題である。

■来場者の声 椅子ではなく床で聴くというのが、小さい子ども連れには嬉しかった。／演奏の内容も子ども向けの曲ではなく、本格的なクラシックの曲が聴けて、子どもにとっても私もとても楽しめた。／何度か参加し、毎回楽しみにしているが、子どももだんだん落ち着いて聞けるようになってきて、成長を感じている。



ライフサイクルコンサート
子どもを連れてクラシック
公演 No.24

〈ライフサイクルコンサート #106〉
子どもを連れてクラシック
～第15回ロビーでよちよちコンサート
2015年2月6日(金)
① 10:00 ② 11:30 ③ 13:30 開演

■出演者

中川直子(ヴァイオリン) 小澤剛(コントラバス) 北岡羽衣(クラリネット) 海老澤幸二(ドラムス)

■演奏曲

Fのブルース
サン＝サーンス:「動物の謝肉祭」より「象」
ゴセック:ガヴォット 二長調
グレン・ミラー:ムーンライト・セレナーデ
ジュライナー:だんだん小さく
E.シュトラウス:ポルカ・シュネル「テープは切られた」
ゼキーニャ・ジ・アブレウ:ティコ・ティコ
L.モーツァルト:おもちゃのシンフォニー
J.S.バッハ:G線上のアリア

■料金 親子1組(大人1名と子ども1名) ¥800

■(応募数/当選数/来場数)

- ① 55組/26組/20組(1～2歳児対象)
- ② 45組/25組/20組(1～2歳児対象)
- ③ 25組/22組/20組(3歳児対象)

■振り返り 実施日の前日から大雪の予報で中止時の対策を立てたが、問題なく実施できた。プログラムはドラムスが加わったことで、演奏曲のジャンルがバッハからジャズ、ブラジル音楽まで多彩な構成となった。参加した子どもたちも体を動かしながらリズムを感じている様子が見られた。

■来場者の声 貴重な体験ができた。1才代が本物にふれあう機会がなかなかないので、このような催しを今後も続けて欲しい。／予想以上に子どもが集中してきていた姿が新鮮。親も楽しめたので次回も参加したい。／子どもも参加するプログラムがとりわけ良かった。楽器説明がありより身近に親しみが湧いた。



(2) クアルテット・ウィークエンド (SQW)

〈クアルテット・ウィークエンド〉
ミロ・クアルテット
5月10日(土) 14:00 開演

クアルテット・ウィークエンド
SQW
【延期公演】



©越間有紀子

■ 出演者

ミロ・クアルテット
[ダニエル・チン/ウィリアム・フェドケンホイヤー (ヴァイオリン)
ジョン・ラジェス (ヴィオラ) ジョシュア・ジンデル (チェロ)]

■ 演奏曲

オール・ベートーヴェン・プログラム
弦楽四重奏曲第7番 へ長調 Op.59-1 「ラズモフスキー第1番」
弦楽四重奏曲第8番 小短調 Op.59-2 「ラズモフスキー第2番」
弦楽四重奏曲第9番 へ長調 Op.59-3 「ラズモフスキー第3番」

■ チケット料金 (全席指定)

一般¥4,000 シニア¥3,000 (60歳以上) ヤング¥1,500 (小学生以上、25歳以下)

■ 入場者数 468名/キャパシティ 759名 (61.7%)

■ **ねらい・振り返り** 世界のクアルテットの今を紹介する公演。昨年度2月に実施予定だったが、出演者の家族の健康上の理由で延期になった。ベートーヴェン中期の傑作「ラズモフスキー」全3曲を、力強く、かつ繊細な表現で、聴衆を魅了した。関係者からも称賛の声を多く頂いた。
■ **来場者の声** ラズモフスキー3曲全曲を一度に聴けるなんて！弦楽四重奏の醍醐味を味わいました。／美しく誠実な演奏だったと思います。重ねて来日して欲しい団体です。

古典四重奏団 ムズカシイはおもしろい!! ～古典四重奏団のモーツァルト全曲

■ 出演者

古典四重奏団
[川原千真(第1ヴァイオリン) 花崎淳生(第2ヴァイオリン) 三輪真樹
(ヴィオラ) 田崎瑞博(チェロ)]
レクチャーの構成とお話 田崎瑞博

■ チケット料金 (全席指定)

単独券：一般¥4,000 シニア¥3,000 (60歳以上) ヤング¥1,500 (小学生以上、25歳以下)

セット券 (SQW全6公演)：一般¥21,000 シニア¥15,000

■ **ねらい・振り返り** 古典四重奏団がモーツァルトの弦楽四重奏曲全曲を2年間6回に分けて行った後半3回。各回、演奏の理解を深めるため、チェロの田崎瑞博構成によるレクチャーが行われた。来場者数は、伸び悩んだが、レクチャーが実施された事により、より理解が深まったとの声が多く寄せられた。
■ **来場者の声** レクチャーは楽しくて、勉強になってよいです。演奏がとてもすばらしい音色で感動的でした。空席が目立つのかもしれない気がします。／アンサンブルが良い。ホールのお響きがやわらかい。／親しみやすいレクチャーとすばらしい演奏でした。／6回全て聴かせて頂きました。とても分かりやすいレクチャーで楽しめました。素晴らしい演奏をありがとう。／今回も期待通りだった。／ムズカシイはおもしろい！のシリーズを続けてください。

クアルテット・ウィークエンド
SQW
公演 No.9

〈クアルテット・ウィークエンド #113〉
2014の1
9月27日(土)
14:00 レクチャー / 14:45 本公演

■ 演奏曲

レクチャー：“本当の意味の『パパ』は、レオポルドか、ハイドンか～その2”
モーツァルト：
弦楽四重奏曲 へ長調 K158 (第5番)
弦楽四重奏曲 変ホ長調 K171 (第11番)
弦楽四重奏曲 へ長調 K590 「プロイセン王四重奏曲第3番」(第23番)
弦楽四重奏曲 変ロ長調 K458 「ハイドン四重奏曲第3番“狩” (第4番)」(第17番)

■ 入場者数

173名/キャパシティ 759名 (22.8%)

クアルテット・ウィークエンド
SQW
公演 No.10

〈クアルテット・ウィークエンド #114〉
2014の2
10月10日(金)
19:00 レクチャー / 19:20 本公演

■ 演奏曲

レクチャー：“ミュージズへの恭順
モーツァルト：
弦楽四重奏曲 変ロ長調 K159 (第6番)
弦楽四重奏曲 変ロ長調 K172 (第12番)
セレナーデ 長調 K525 「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」
弦楽四重奏曲 イ長調 K464 「ハイドン四重奏曲第5番」(第18番)

■ 入場者数

166名/キャパシティ 759名 (21.9%)

クアルテット・ウィークエンド
SQW
公演 No.13

〈クアルテット・ウィークエンド #115〉
2014の3
10月26日(日)
14:00 レクチャー / 14:45 本公演

■ 演奏曲

レクチャー：“ミュージズへの反逆”
モーツァルト：
弦楽四重奏曲 変ホ長調 K160 (第7番)
弦楽四重奏曲 二短調 K173 (第13番)
弦楽四重奏曲 二長調 K499 「ホフマイスター」(第20番)
弦楽四重奏曲 へ長調 K465 「ハイドン四重奏曲第6番“不協和音” (第19番)

■ 入場者数

207名/キャパシティ 759名 (27.2%)

〈クアルテット・ウィークエンド #116〉
シューマン・クアルテット
11月30日(日) 14:00 開演

クアルテット・ウィークエンド
SQW
公演 No.17



©大窪道治

■出演者

シューマン・クアルテット

[エリック・シューマン(第1ヴァイオリン) ケン・シューマン(第2ヴァイオリン) リサ・ランドル(ヴィオラ) マーク・シューマン(チェロ)]

■演奏曲

ハイドン: 弦楽四重奏曲第79番 二長調 Op.76-5 Hob.III-79 「ラルゴ」

アイヴス: 弦楽四重奏曲第2番

ベートーヴェン: 弦楽四重奏曲第14番 嬰ハ短調 Op.131

■チケット料金(全席指定)

一般¥4,000 シニア¥3,000(60歳以上) ヤング¥1,500(小学生以上,25歳以下)

セット券(SQW全6公演) 一般¥21,000 シニア¥15,000

■入場者数 393名/キャパシティ 759名(51.8%)

■ねらい・振り返り 2013年ボルドー弦楽四重奏コンクールで優勝した、若手実力者クアルテットを紹介する公演。第一ヴァイオリンのエリック

クはソリストとしても活躍しているが、異なる一面を見せていた。若い演奏家ながら、曲に対する理解や作品創りには緻密なものがあり、聴衆はもちろん、評論家や関係者からも非常に大きな称賛を頂いた。数年後に、ぜひまた紹介したい、今後の可能性が大いに期待されるクアルテット。

■来場者の声 素晴らしかった。ぜひまた企画して欲しい。シューマンQのファンになりました。久しぶりに心にしみました。/素晴らしい若者の可能性を感じる。/アグレッシブなクアルテット、久しぶりに聴きました。

〈クアルテット・ウィークエンド #117〉

エルデーディ弦楽四重奏団

～弦楽四重奏のみに託されたベートーヴェン最晩年の高貴なるメッセージ

2015年2月14日(土) 14:00 開演

クアルテット・ウィークエンド
SQW
公演 No.26

■出演者

エルデーディ弦楽四重奏団

[蒲生克郷/花崎淳生(ヴァイオリン) 桐山建志(ヴィオラ) 花崎薫(チェロ)]

■演奏曲

ベートーヴェン: 弦楽四重奏曲第12番 変ホ長調 Op.127

ベートーヴェン: 弦楽四重奏曲第14番 嬰ハ短調 Op.131

■チケット料金(全席指定)

一般¥4,000 シニア¥3,000(60歳以上) ヤング¥1,500(小学生以上,25歳以下)

セット券(SQW全6公演) 一般¥21,000 シニア¥15,000

■入場者数 330名/キャパシティ 759名(43.5%)

■ねらい・振り返り ベートーヴェンの後期傑作と言われる弦楽四重奏曲への理解と魅力を紹介する公演。ベートーヴェン後期の作品を愛好する人は多く、来場者数も伸びた。出演者の作品に対する思いが演奏の中に伺え、聴衆を魅了した。

■来場者の声 大曲なのにのびやかで素晴らしい演奏でした。他のベートーヴェンの四重奏曲もお願いします。/大感激(特に第14番は)本当に素晴らしかった。

〈クアルテット・ウィークエンド #118〉

クアルテット・エクセルシオ～Quartet+ (プラス)

2015年3月15日(日) 14:00 開演

クアルテット・ウィークエンド
SQW
公演 No.31



©越間有紀子

■出演者

クアルテット・エクセルシオ

[西野ゆか/山田千子(ヴァイオリン) 吉田有紀子(ヴィオラ) 大友肇(チェロ)]

共演: 小坂圭太(ピアノ) 柳瀬省太(ヴィオラ) 遠藤真理(チェロ) 石川滋(コントラバス)

■演奏曲

ハイドン: 弦楽四重奏曲第38番 変ホ長調 Op.33-2 Hob.III-38 「冗談」

シューベルト: ピアノ五重奏曲 イ長調 Op.114 D.667 「ます」

チャイコフスキー: 弦楽六重奏曲 二短調 Op.70 「フィレンツェの想い出」

■チケット料金(全席指定)

一般¥4,000 シニア¥3,000(60歳以上) ヤング¥1,500(小学生以上,25歳以下)

セット券(SQW全6公演) 一般¥21,000 シニア¥15,000

■入場者数 461名/キャパシティ 759名(60.7%)

■ねらい・振り返り クアルテット・エクセルシオ結成20周年のフィナーレを飾る公演。4名のゲストを迎え、弦楽四重奏曲だけでなく、室内楽の名曲も紹介した。クアルテット・エクセルシオが核となったそれぞれの編成は、音色は異なるものの、共演者との息もぴったりあい、どの曲にもクアルテット・エクセルシオの色が映し出され、且つ華やかな公演となった。

■来場者の声 ハイドン、シューベルト、チャイコフスキー、それぞれの個性がでていて良かった。/ピアノあり、弦楽合奏あり、見事な料理をおいしく味わった。/バス、ピアノが加わることによっていっそう華やかな曲想になり、元気をもらえました。



©越間有紀子

(3) ウィークエンド・コンサート

音楽のある週末

〈ウィークエンドコンサート〉

音楽のある週末 第18回

仲道郁代のモーツァルト I

～ヴァイオリンと奏でるメロディの哀しみ

5月18日(日) 14:00 開演

■出演者

仲道郁代(ピアノ) 川久保賜紀(ヴァイオリン)

■演奏曲

モーツァルト:

ヴァイオリン・ソナタ第35番ト長調 K379

ヴァイオリン・ソナタ第28番ホ短調 K304

ピアノ・ソナタ第8番イ短調 K310

「泉のほとりで」によるクラヴィーアとヴァイオリンのための6つの変奏曲ト短調 K360

ピアノ・ソナタ第12番ヘ長調 K332

■チケット料金(全席指定)

S席¥5,000 A席¥4,500 B席¥3,500 ヤング¥1,500(小学生以上、25歳以下) セット券S ¥9,000 [第18・19回]

■入場者数 470名/キャパシティ 759名(61.9%)

■ねらい・振り返り モーツァルト作曲の数少ない短調の作品を取り上げ、作曲家の想いをピアノとヴァイオリンで紹介する公演。演奏、

ウィークエンド・コンサート
音楽のある週末
公演 No.2



©大窪道治

そしてトークから、作品の内面を探求した。2名とも人気のあるソリストだが、チケット販売は苦戦してしまった。おふたりのデュオの魅力を広報活動の中で伝えることができず悔やまれるが、非常に充実した内容で、来場者の心に残る公演となった。

■来場者の声 川久保さんと仲道さんのコンビがいい感じです。／モーツァルトも自分で選んで聴くのは大変なので、今回のプログラムは良かったです。／仲道郁代さんと川久保賜紀さんの息のあった演奏で、とても心を癒された。

〈ウィークエンドコンサート〉

音楽のある週末 第19回

仲道郁代のモーツァルト II

～フォルテピアノと現代ピアノの聴き比べ

7月5日(土) 14:00 開演

■出演者

仲道郁代(ピアノ/フォルテピアノ)

■演奏曲

モーツァルト:

フランスの歌「ああ、お母さん聞いて」による12の変奏曲ハ長調 K265(きらきら星変奏曲)

ピアノ・ソナタ第11番イ長調トルコ行進曲 K331

ロンドイ短調 K511

ピアノ・ソナタ第8番イ短調 K310

ロンドニ長調 K485

幻想曲ニ短調 K397

ピアノ・ソナタ第3番変ロ長調 K281

■チケット料金(全席指定)

S席¥5,000 A席¥4,500 B席¥3,500 ヤング¥1,500(小学生以上、25歳以下) セット券S ¥9,000 [第18・19回]

■入場者数 476名/キャパシティ 759名(62.7%)

■ねらい・振り返り モーツァルトの時代のシュタイン(フォルテピアノ)と現代のピアノによる聴き比べで、当時の音色を感じて頂く公演。シュタインは鍵盤の数が今のピアノよりも少ないが、表情豊かな楽器の性格を多くの方に知って頂いた。それぞれの楽器の調律師さんの説明と共に、構造も見て頂く事ができた。音色の弾き比べが興味深

ウィークエンド・コンサート
音楽のある週末
公演 No.4



©三次真二



©三次真二

かったとお声を多く頂いた。

■来場者の声 ピアノとフォルテピアノの音色の聴き比べの企画が面白かったです。また、ピアノとフォルテピアノの鍵盤とハンマーを取り出して見せてもらえたことも良かったです。(同様の意見多数) / フォルテピアノを初めて聴いたが、その時代の音楽を味わった気分。

〈ウィークエンドコンサート〉

音楽のある週末 第20回

オイロス・アンサンブル 2014

～トリオから十四重奏まで変幻するオイロスの小宇宙

10月25日(土) 14:00 開演

■出演者

オイロス・アンサンブル

[佐久間由美子(フルート)]

広田智之/古部賢一/池田昭子(オーボエ)

高橋知己/三界秀実(クラリネット)

岡本正之/水谷上総/佐久間大作(ファゴット)

吉永雅人/田場英子/冨成裕一(ホルン)

藤森亮一(チェロ)/吉田秀(コントラバス)]

■演奏曲

モーツァルト: 歌劇『フィガロの結婚』より序曲 K492 (十重奏)

ベートーヴェン: モーツァルトの歌劇『ドン・ジョヴァンニ』より「お手をどうぞ」の主題による変奏曲 Wo028 (三重奏)

カスティル=ブラース: 管楽六重奏曲 第1番 変ホ長調よりスケルツォ (六重奏)

ダンディ: シャンソンとダンス Op.50 よりダンス (七重奏)

フロンメル: 管楽組曲 Op.18 より第1楽章、第5楽章 (八重奏)

ドヴォルザーク (高橋知己編): チェロ協奏曲より第2楽章

独奏: 藤森亮一

メンデルスゾーン (高橋知己編): 交響曲第3番「スコットランド」Op.56 より第2楽章

ブラームス (高橋知己編): ハイドンの主題による変奏曲 Op.56a

■チケット料金 (全席指定)

S席¥4,000 A席¥3,500 B席¥2,500 ヤング¥1,500(小学生以上、25歳以下)

■入場者数 502名/キャパシティ 759名 (66.1%)

ウィークエンド・コンサート
音楽のある週末
公演 No.12



©大窪道治

■ねらい・振り返り 各楽器の一級の奏者ばかりが顔を揃える「オイロス・アンサンブル」による演奏会。主宰の高橋知己氏による編曲新作のほか、管楽器アンサンブルの名曲など、プログラムへの興味関心度も高く、「オイロス・アンサンブル」ならではの名演を楽しんでいた。

■来場者の声 雰囲気は温かい、とてもよいコンサートでした。曲目も良かったです。一流の演奏家のアンサンブル、凄く良かったです。変幻自在な素晴らしい音楽を聴けて良かったです。

〈ウィークエンドコンサート〉

音楽のある週末 第21回

若林顕 ピアノで聴く『第九』

12月21日(日) 14:00 開演

■出演者

若林顕(ピアノ)

■演奏曲

リスト: コンソレーション第3番 変ニ長調 S172/R12

愛の夢 S541/R211 第3番 変イ長調

ハンガリー狂詩曲第2番 嬰ハ短調 S244/R106

ベートーヴェン(リスト編): 交響曲第9番 二短調「合唱付き」Op.125 (ピアノ独奏版)

■チケット料金 (全席指定)

S席¥4,000 A席¥3,500 B席¥2,500 ヤング¥1,500(小学生以上、25歳以下)

セット券 S ¥8,000 [第21・22回]

■入場者数 355名/キャパシティ 759名 (46.8%)

ウィークエンド・コンサート
音楽のある週末
公演 No.22



©越間有紀子

■ねらい・振り返り オーケストラ作品である「ベートーヴェンの交響曲第九番」をリスト編曲によるピアノ独奏版に、ヴィルトゥオーゾ奏者で知られる若林顕が挑んだ。年末に数多く開かれる「第九」コンサートの中でも貴重な公演となった。

■来場者の声 第九はただ感動でした。まさに宇宙という感じでした。素晴らしい!の一言に尽きます。一台のピアノでこんなに迫力があり、心揺さぶられる演奏は生まれて初めて!素晴らしい感動をありがとうございました。リストの編曲にも驚きましたが、若林さんのピアノに感動しました。

〈ウィークエンドコンサート〉

音楽のある週末 第22回

千住真理子

イザイ無伴奏ヴァイオリン・ソナタ全曲演奏会

2015年1月31日(土) 14:00 開演

■出演者

千住真理子(ヴァイオリン)

■演奏曲

イザイ: 無伴奏ヴァイオリン・ソナタ Op.27

第1番ト短調/第2番イ短調/第3番ニ短調「バラード」/

第4番ホ短調/第5番ト長調/第6番ホ長調

■チケット料金(全席指定)

S席¥5,000 A席¥4,500 B席¥3,500 ヤング¥1,500(小学生以上、25歳以下)

セット券S ¥8,000 [第21・22回]

■入場者数 554名/キャパシティ 759名(73.0%)

■ねらい・振り返り 千住真理子、デビュー40周年のアニヴァーサリー・イヤー幕開けを飾る公演。20年前に大きな挫折から救い出してくれたイザイの作品を渾身の力をこめておくりした。作曲家の知名度のためか、発売前半はチケットの販売数が伸び悩んだが、公演日が近づくにつれ、見る見るうちに販売数が伸びてきて、多くのお客さまに、音楽の力を感じて頂けた公演となった。

■来場者の声 1番初めの曲から心につきささるような悲しみを感じた。ウジェーヌ・イザイは初めて聞きました。とてもひきつけられました。/千住真理子さんの魂とを感じるすばらしい演奏でした。音色が美しいとか、そういう次元を超えた深遠さ、哲学すら伝わってくるようでした。/演奏者と正面から向き合っているような緊張感のある素敵なコンサートでした。

ウィークエンド・コンサート
音楽のある週末
公演 No.23



©大窪道治

(4) 特別コンサート

モーツァルト・ガラ・コンサート

〈特別コンサート〉

モーツァルト・ガラ・コンサート

12月6日(土) 14:00 開演

■出演者

工藤重典(フルート) 小菅優(ピアノ) チャールズ・ナイディック(クラリネット)

N響メンバーによる室内オーケストラ(管弦楽)

■演奏曲

オール・モーツァルト・プログラム

フルート協奏曲第2番 二長調 K314

ピアノ協奏曲第8番 八長調「リュッツォウ」 K246

ディヴェルティメントへ長調 K138

クラリネット協奏曲 イ長調 K622

■チケット料金(全席指定)

S席¥6,000 A席¥5,500 B席¥4,500 ヤング¥1,500(小学生以上、25歳以下)

■入場者数 693名/キャパシティ 759名(91.3%)

■ねらい・振り返り 767席という親密で贅沢な空間で、世界で活躍するソリストたちとN響メンバーによる室内オーケストラとの華やかなプログラムをお楽しみいただくことを目的とし、今年はソリストの根強い人気もあり、チケットは完売をした。ご来場のお客様の満足度も非常に高かった。

■来場者の声 今日は大変幸福な日でした。一度のコンサートでフルート、ピアノ、クラリネットが聴ける、しかも一流の人に...特にクラリネット素晴らしかった! /コンサートはよく行きますが久しぶりに楽しいコンサートでした。改めてクラシックの良さを痛感し、こちらに来られた事に感謝の気持ちで一杯です。ありがとうございました。

特別コンサート
モーツァルト・ガラ・コンサート
公演 No.19



©大窪道治

(5) 共催公演〈TAN's Amici Concert〉

〈TAN's Amici Concert〉

東京混声合唱団第234回定期演奏会
世界を翔る若き泰斗山田和樹、東混音楽監督就任記念
4月18日(金) 19:00 開演

■出演者

山田和樹(指揮) 浅井美紀(オルガン) 幣隆太朗(コントラバス)
池上英樹/池永健二(打楽器) 東京混声合唱団

■演奏曲

J.S. バッハ: 来たれ、イエスよ、来たれ
ルネ・クラウゼン: 二重合唱のためのミサ曲
間宮芳生: 合唱のためのコンポジション第5番「鳥獣戯画」(1966)
三善晃(詩: 谷川俊太郎): 混声合唱のための地球へのバラード(1984)
私が歌う理由 / 沈黙の名 / 鳥 / 夕暮 / 地球へのピクニック

■チケット料金(全席自由)

一般 ¥4,500 学生 ¥2,500

■入場者数 513名 / キャンパシティ 706名 (72.6%)

■ねらい・振り返り 日本を代表する若手指揮者 山田和樹氏の東京混声合唱団音楽監督就任を記念する演奏会。バッハから日本の作曲家、無伴奏からゲストを迎えた作品まで幅広く取り上げ、山田氏がこれからは東混と目指していく道を示すような、意義深い公演となった。



©駒崎共一

■来場者の声 様々なジャンルの合唱を一度の演奏会で聴けて良かった。日本語の合唱が特に素晴らしかった。／邦人作品を聴くために来場しました。これからも意欲的なプログラムを期待します。／「地球へのバラード」が本当にすばらしかったです。日本語をとても丁寧に歌っていて、すごくきれいでした。

〈TAN's Amici Concert〉

林光メモリアル 東混 八月のまつり
一東京混声合唱団特別定期演奏会 35
8月8日(金) 19:00 開演

■出演者

大谷研二(指揮) 齋木ユリ(ピアノ) 東京混声合唱団 立川直也(照明)

■演奏曲

林光(詩: 原民喜): 原爆小景
水ヲ下サイ(1958) / 日ノ暮レチカク(1971) / 夜(1971) / 永遠のみどり(2001)
林光(詩: 宗左近): 月・わたし・風 混声合唱とピアノのために(1992)
ながらえば / 日が落ちた / 月がある / この世は暗い
三善晃(詩: 谷川俊太郎): 混声合唱とピアノのためのその日 - August 6 - (2007)
信長貴富(詩: 和合亮一): 混声合唱とピアノのための歌と石ころの転がる先に(2014) - 委嘱作品初演 -

■チケット料金(全席自由)

一般 ¥4,500 学生(大学生以下)・シニア(60歳以上) ¥3,500

■入場者数 389名 / キャンパシティ 706名 (55.1%)

■ねらい・振り返り 故林光の意思を東京混声合唱団が歌い継ぐ、恒例の演奏会。「原爆小景」を中心に、歌の魅力と共に、八月に起こった悲惨な情景を詩にのせおくりしている。今回は、2011年の東日



本大震災の様子を詠んだ和合亮一の詩に、信長貴富が曲をのせた委嘱新作も披露した。

■来場者の声 大谷さんの指揮、曲づくり大変素晴らしかった。原爆小景も細部にわたる、キメ細かい表現が良かった。信長さんへの委嘱作品も、今日の時代を見据えつつ、戦後、核も想起させる感動的な作品だった。／「原爆小景」は本当に名曲、世界へもっと発信を。

TAN's Amici Concert
共催公演
公演 No.7

〈TAN's Amici Concert〉

中島康晴テノール・リサイタル

11月1日(土) 14:00 開演

■出演者

中島康晴(テノール) 天羽明恵(ソプラノ/友情出演) 松川儒(ピアノ)

■演奏曲

スカルラッティ: 歌劇『愛のまこと』より第1幕「ガンジス川に陽がのぼり」

グルック: 歌劇『パリーデとエレナ』より第1幕「ああ私のやさしい熱情が」

レハール: 喜歌劇『微笑みの国』より第2幕「君はわが心のすべて」

ヴェルディ: 歌劇『リゴレット』より第1幕「あれかこれか」

グノー: 歌劇『ロミオとジュリエット』より第1幕「私は夢に生きたい」

第2幕「ああ、太陽よ、昇れ」

ドニゼッティ: 歌劇『愛の妙薬』より第1幕「ああ、一言だけ」

第2幕「人知れぬ涙」

山田耕筰: からたちの花

滝廉太郎: 荒城の月

越谷達之助: 初恋

シューベルト: アヴェ・マリア

ガスタルドン: 禁じられた音楽

ヴェルディ: 歌劇『リゴレット』より第1幕「慕わしい人の名は」

第1幕「貴族や王子様じゃないほうがいいわ」

■チケット料金 (全席指定)

S席 ¥6,000 A席 ¥4,000

■入場者数 507名/キャパシティ 759名 (66.8%)

TAN's Amici Concert
共催公演
公演 No.14



© AkiraMuto

■ねらい・振り返り 第一生命ホールの良さをより多くの人に知ってもらいたいと、共催枠を増やして実施。ホール初来場の中島康晴ファンも多く、輝かしい声を持つ若きテノール中島康晴のリサイタルをお楽しみいただいた。

■来場者の声 プログラム内容がバラエティーに富んでいて、中島さんの魅力がよく伝わる内容でした。/オペラの舞台の再現はとてもしろい。中島さんが本領を発揮されたものと思った。今後ぜひ聞きたい。天羽さんの歌はすばらしかった。

〈TAN's Amici Concert〉

日本音楽集団創立 50 周年・伊福部昭生誕 100 年

第 213 回特別記念定期演奏会

11月29日(土) 14:00 開演

■出演者

田村拓男/稲田康/苫米地英一(指揮)

日本音楽集団

■演奏曲

伊福部昭: 郢曲 鬢多々良 (1973)

伊福部昭 (秋岸寛久編): SF 交響ファンタジー 邦楽器版 (2007)

伊福部昭 (秋岸寛久編): 日本音楽集団版 交響譚詩 (2005)

伊福部昭 (和田薫編): 日本音楽集団版 日本狂詩曲 (2009)

■チケット料金 (全席自由)

¥4,000 ヤング ¥2,000 (25歳以下)

■入場者数 535名/キャパシティ 706名 (75.8%)

TAN's Amici Concert
共催公演
公演 No.16



■ねらい・振り返り 日本音楽集団創立 50 周年、作曲家 伊福部昭生誕 100 周年という記念の公演。映画音楽や作曲家ならではの編成作品が日本音楽集団によって演奏されたことで、邦楽愛好家だけでなく、伊福部昭ファンにも邦楽器に親しめる機会となった。

■来場者の声 本日の日本狂詩曲のリズム・混沌・もり上がり・静寂と祭りに哀愁、なつかしさと高揚を感じ様々なイメージが湧く素敵な演奏でした。/「鬢多々良」以外はオーケストラで聴いたことのある曲でしたが、邦楽器でもここまで迫力十分に演奏できることを知り驚きです。

〈TAN's Amici Concert〉

東京混声合唱団第 235 回定期演奏会—三善晃追悼—
12月4日(木) 19:00 開演

TAN's Amici Concert
共催公演
公演 No.18

■出演者

大谷研二(指揮) 浅井道子(ピアノ) 東京混声合唱団

■演奏曲

三善晃(詩:高田敏子):混声合唱曲「嫁ぐ娘に」(1962)

嫁ぐ日は近づき/あなたの生まれたのは/戦いの日日/時間はきら
きらと/かどで

三善晃(詩:中原中也):女声合唱のための組曲「月夜三唱」(1965)

月の光 その一/月夜の浜辺/月の光 その二

三善晃(詩:谷川俊太郎):混声合唱組曲「クレーの絵本 第2集」(1980)

黒い王様/ケトルドラム奏者/黄金の魚/まじめな顔つき/死と炎

三善晃(詩:宗左近):混声合唱とピアノのための「縄文連禱」(1990)

■チケット料金(全席自由)

一般¥4,500 学生¥2,500(大学生まで)

■入場者数 374名/キャパシティ706名(53.0%)

■ねらい・振り返り 一昨年10月に亡くなった作曲家三善晃の追悼公演。約100曲の合唱曲を遺したが、その中から4人の代表的な詩人のテキストによる合唱作品を取り上げた。演奏会ではなかなか聴く事の出来ない作品もあり、多くの合唱ファン、三善晃ファンにとって貴重な公演となった。



■来場者の声 無理のないかつ豊かさを兼ね合わせた演奏。心に響く詩が、限りなく美しい、絹のような音色で表現されていて、今日は本当に来て良かったと思いました。

〈TAN's Amici Concert〉

びわ湖ホール声楽アンサンブル東京公演 vol.7
J.S. バッハ作曲「ヨハネ受難曲」
2015年2月11日(水・祝) 14:00 開演

TAN's Amici Concert
共催公演
公演 No.25

■出演者

マティアス・ユング(指揮)

京都フィルハーモニー室内合奏団(管弦楽)

清水徹太郎*(福音史家)

青山貴(イエス)*津國直樹*の急病により代演

びわ湖ホール声楽アンサンブル(独唱・合唱)

*びわ湖ホール声楽アンサンブル・ソロ登録メンバー

■演奏曲

J.S. バッハ:「ヨハネ受難曲」

■チケット料金(全席指定)

一般¥4,000 青少年¥2,500(25歳未満)

■入場者数 334名/キャパシティ513名(65.1%) *2階席締切

■ねらい・振り返り 文化庁「劇場・音楽堂スタッフ人材育成交流事業」にて、当方スタッフがびわ湖ホールで研修をさせていただいた縁から、びわ湖ホール声楽アンサンブルの東京公演を共催した。日本で唯一のホール専属声楽アンサンブルの高いレベルの公演をお聴きいただきご来場のお客様には大変満足いただいた。

■来場者の声 第一声で聴きほれました。ホールを通り抜けていくような響きでした。／素晴らしい公演にもかかわらず、観客が少ないのが残念。心から幸せな時間を過ごさせていただきました。



■ 2014 年度コミュニティ事業

(実施箇所 / 回数 / 受益者数)

**(1) アウトリーチ**

*室内楽アウトリーチセミナーを含む

自らの意思でコンサートホールへ足を運ぶことが難しい方を対象とする。主にホール事業に出演するアーティストがその施設へ出向き、ホールと同じように音楽を楽しんでもらうことを目的とした活動。

- ① 小学校アウトリーチ
ア) 小学4年生はじめてのクラシック (11 箇所 / 15 回 / 1,016 人)
イ) Meet the 和楽器 (3 箇所 / 3 回 / 242 人)
- ② 幼稚園・保育園でのアウトリーチ (4 箇所 / 4 回 / 599 人)
- ③ 介護施設でのアウトリーチ (2 箇所 / 2 回 / 160 人)
- ④ 地域との協力アウトリーチ (1 箇所 / 1 回 / 100 人)
- ⑤ 第一生命保険 マッチングギフトプログラム を利用したアウトリーチ (2 箇所 / 2 回 / 152 人)

**(2) 第一生命ホール
オープンハウス**

(1 箇所 / 1 回 / 1,312 人)

年に一度、第一生命ホールを無料開放し、お子さまから大人まで幅広く音楽を楽しんでもらい、ホールをより身近に感じてもらうことを目的に実施。「コンサートホールで音楽体験」をテーマに、サポーターとともに実行委員会を組織し企画・制作・当日の運営を行った。

**(3) ロビーコンサート**

第一生命ホールや晴海トリトンスクエアのロビーで無料で楽しんでいただけるコンサート。「晴海トリトンスクエアグランドロビーコンサート」は、サポーターとの協同企画として企画・制作している。

- ① 晴海トリトンスクエア
グランドロビーコンサート
(1 箇所 / 8 回 / 1,876 人)
- ② 第一生命ホール
ロビーコンサート
(1 箇所 / 1 回 / 101 人)
*室内楽アウトリーチセミナーにて実施

**(4) レクチャー**

(3 箇所 / 4 回 / 86 人)

クラシック音楽をあまり良く知らないがもっと知りたい方、コンサートに足を運んでみたい方を対象に、昭和音楽大学教授の有田崇先生をお迎えし、モーツァルトについての講座を開講。講義だけでなく、体験を交え、さらに全4回の連続とし、音楽に対する理解をより深めていただいた。

**(5) その他
コミュニティ活動**

- ① 月島草市
(1 箇所 / 1 回 / 100 人)
- ② 協力企画
(3 箇所 / 3 回 / 270 人)
- ③ 被災地支援
(2 箇所 / 2 回 / 150 人)

助成・後援：中央区文化・国際交流振興協会 ((1) ① 中央区立小学校)

補助：平成 26 年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業 ((1) ① 小学校アウトリーチ、(1) ② 幼稚園・保育園でのアウトリーチ、(2) 第一生命ホールオープンハウス、(3) ② 第一生命ホールロビーコンサート、(4) レクチャー)

協賛：晴海トリトンスクエア ((3) ①)

■ 2014 年度コミュニティ事業一覧

コミュ ニティ No.	区分	日程	事業名	実施施設	受益 者数	ボラン ティア数
1	ロビーコンサート	5/13 火	晴海トリトンスクエアグランドロビーコンサート	晴海トリトンスクエア	100	14
2	レクチャー	① 5/17 土 ② 6/21 土 ③ 9/20 土 ④ 10/26 日	大人のためのクラシック入門講座 有田栄の「モーツァルトと遊ぼう!!」(全4回)	①晴海トリトンスクエア ②民音音楽博物館 ③晴海トリトンスクエア ④第一生命ホール	① 27 ② 23 ③ 24 ④ 12	① 7 ② 6 ③ 7 ④ 5
3	その他コミュニティ活動	7/12 土	月島草市	月島西仲商店街	100	4
4	オープンハウス	7/19 土	第一生命ホール・オープンハウス 2014 ～コンサートホールで音楽体験～	第一生命ホール、 晴海トリトンスクエア	1,312	100
5	ロビーコンサート	7/30 水	晴海トリトンスクエアグランドロビーコンサート	晴海トリトンスクエア	527	12
6	アウトリーチ	9/4 木	4年生はじめてのクラシック	中央区立久松小学校	65	2
7	ロビーコンサート	9/12 金	晴海トリトンスクエアグランドロビーコンサート	晴海トリトンスクエア	570	9
8	アウトリーチ	9/15 月・祝	マイホーム新川アウトリーチ	マイホーム新川	65	4
9	アウトリーチ	9/19 金	4年生はじめてのクラシック	中央区立豊海小学校	66	2
10	アウトリーチ	9/26 金	4年生はじめてのクラシック	江東区立豊洲北小学校	183	2
11	その他コミュニティ活動	10/5 日	区立晴海ガーデンコート自治会イベント	区立晴海ガーデンコート自治会	30	-
12	アウトリーチ	① 10/24 金 ② 12/8 月 ③ 2015. 2/23 月	4年生はじめてのクラシック	江東区立有明小学校	① 64 ② 64 ③ 64	① 1 ② 2 ③ 2
13	アウトリーチ	10/28 火	保育園アウトリーチ	江東区豊洲保育園	119	3
14	アウトリーチ	① 10/31 金 ② 12/8 月 ③ 2015. 2/9 月	4年生はじめてのクラシック	江東区立有明小学校	① 65 ② 65 ③ 65	① 3 ② 2 ③ 3
15	その他コミュニティ活動	11/3 月・祝	よちよちコンサート in 福島 被災地支援	ニコニコ子ども館(郡山市)	80	-
16	その他コミュニティ活動	11/3 月・祝	よちよちコンサート in 福島 被災地支援	えぼか(本宮市)	70	-
17	アウトリーチ	11/14 金	認定子ども園アウトリーチ	中央区立晴海子ども園	150	2
18	その他コミュニティ活動	11/15 土	中央ウォーターフロント防災コミュニティフェスティバル	THE TOKYO TOWERS	40	-
19	ロビーコンサート	11/18 火	晴海トリトンスクエアグランドロビーコンサート	晴海トリトンスクエア	151	17
20	アウトリーチ	11/28 金	4年生はじめてのクラシック	中央区立有馬小学校	62	1
21	アウトリーチ	12/1 月	4年生はじめてのクラシック	中央区立佃島小学校	83	2
22	アウトリーチ	12/9 火	4年生はじめてのクラシック Meet the 和楽器	中央区立月島第一小学校	47	2
23	アウトリーチ	12/9 火	ふれあいコンサート♪	品川区立第一日野小学校	26	6
24	アウトリーチ	12/11 木	4年生はじめてのクラシック	日本橋小学校	63	2
25	アウトリーチ	12/15 月	4年生はじめてのクラシック Meet the 和楽器	江東区立豊洲小学校	126	5
26	アウトリーチ	12/16 火	4年生はじめてのクラシック Meet the 和楽器	中央区立月島第三小学校	69	2
27	アウトリーチ	12/19 金	4年生はじめてのクラシック	中央区立月島第二小学校	64	3
28	アウトリーチ	12/24 水	リハポート明石アウトリーチ	リハポート明石	95	1
29	ロビーコンサート	2015. 1/8 木	晴海トリトンスクエアグランドロビーコンサート	晴海トリトンスクエア	255	12
30	アウトリーチ	2015. 1/23 金	4年生はじめてのクラシック	中央区立明正小学校	32	1
31	アウトリーチ	2015. 2/10 火	幼稚園アウトリーチ	中央区立晴海幼稚園	231	3
32	アウトリーチ	2015. 2/13 金	幼稚園アウトリーチ	中央区立日本橋幼稚園	99	1
33	アウトリーチ	2015. 3/9 月	4年生はじめてのクラシック	中央区立常盤小学校	11	1
34	ロビーコンサート	2015. 3/10 火	晴海トリトンスクエアグランドロビーコンサート	晴海トリトンスクエア	273	16
35	その他コミュニティ活動	2015. 3/14 土	中央区民カレッジ卒業式	日本橋社会教育会館	200	3
36	ロビーコンサート	2015. 3/27 金	第一生命ホールロビーコンサート ～室内楽アウトリーチセミナー講師と受講生による～	第一生命ホールロビー	101	6
37	アウトリーチ	2015. 3/28 土	桜、桜、桜が咲いた出前音楽会 in 晴海	アートはるみ	100	12
計					6,038	288

(1) アウトリーチ

① 小学校アウトリーチ

ア) 小学4年生はじめてのクラシック

- **目的** 抽象的な考え方ができるようになってくる小学4年生の時期に、身近に生演奏に触れてもらい音楽の楽しさや感動する気持ちを味わってもらおう。また、音楽室という空間で演奏を聴くだけでなく、演奏家とコミュニケーションを取ることによって音楽への好奇心を持ってもらう。

中央区立久松小学校 4年生はじめてのクラシック

9月4日(木) 60分間(2クラス合同)

■ **実施場所** 音楽室 ■ **受益者** 4年生(2クラス) ■ **受益者数** 65名

■ **出演者** TANBRASS(金管五重奏+打楽器)

[亀山真司/松木亜希(トランペット) 高橋朋子(ホルン) 佐々木匡史(トロンボーン) 仁藤雄貴(テューバ) 五田詩朗(打楽器)]

■ **内容** 毎年、学校のご希望で4年生のプラスバンド部入部時期に合わせて実施。金管五重奏の曲、楽器のお話しと演奏に続いて、代表児童が各楽器の体験をした。また、全員に体験した気持ちを味わってもらえるようバズィング(金管楽器の吹き方)でTANBRASSと共演できるオリジナル曲をみんなで演奏をした。給食交流も行った。

■ **参加者の声** ぼくは歌がそんなにうまくなくて、音楽の時間になると「いやだなあ」とそう思っていました。しかし、TANBRASSさんたちの演奏を聞いてもっと楽器にふれたりしてみたくくなりました。／とてもかっこよくなさしい人たちが演奏がとてもすごかったです。ぼくもあの人たちのようにかっこいい人になりたいと思いました。そしてぼくは音楽が好きではなかったけれど、今日の演奏を聞いて好きになりました。

アウトリーチ
小学4年生
はじめてのクラシック
コミュニティ No.6



中央区立豊海小学校 4年生はじめてのクラシック

9月19日(金) 60分間(2クラス合同)

■ **実施場所** 音楽室 ■ **受益者** 4年生(2クラス) ■ **受益者数** 66名

■ **出演者** TANBRASS(金管五重奏+打楽器)

[亀山真司/松木亜希(トランペット) 高橋朋子(ホルン) 佐々木匡史(トロンボーン) 仁藤雄貴(テューバ) 五田詩朗(打楽器)]

■ **内容** 音楽の先生がトランペットの専門であり、TANBRASSのメンバーと大学の同級生だったということで、先生も1曲共演をしたりと子どもたちにとってはより身近に金管楽器を楽しんでもらった。代表児童の楽器体験やバズィング共演も行った。

■ **参加者の声** それぞれの楽器を紹介する時、いままできょうみを持っていなかった楽器のみりよく感じました。演奏はどの音もとてもきれいですばらしいと思いました。／ぶにくんのトロンボーンが一番うるさかったけど、一番面白かったです。

アウトリーチ
小学4年生
はじめてのクラシック
コミュニティ No.9



江東区立豊洲北小学校 4年生はじめてのクラシック

9月26日(金) 45分間×2回(3クラスごと)

■ **実施場所** 体育館 ■ **受益者** 4年生(6クラス) ■ **受益者数** 183名

■ **出演者** TANBRASS(金管五重奏+打楽器)

[亀山真司/松木亜希(トランペット) 高橋朋子(ホルン) 佐々木匡史(トロンボーン) 仁藤雄貴(テューバ) 五田詩朗(打楽器)]

■ **内容** 豊洲北小学校は児童数が多いため楽器体験ではなくTANBRASSの伴奏と一緒に歌を歌った。楽器紹介のコーナーでは後ろの子までよく見えるように演奏者自らが動きながら演奏をした。金管五重奏のオリジナル曲では、聴きなじみがない曲も飽きないように想像力を高めるようなお話をしてから演奏をしたので子どもたちもよく聴いていた。

■ **参加者の声** コンサートにはいっぱい行っていますが、TANBRASSのみなさんはいままで聞いているものの中で、なぜか音楽の世界というものに入った感じがしました。／本当は音楽がにがてで、「音楽か〜あ〜いやだな〜行きたくないな〜」と思っていたけど、今日、とても好きになって音楽ってこんなに楽しいものだったんだ!と思いました。

アウトリーチ
小学4年生
はじめてのクラシック
コミュニティ No.10



江東区立有明小学校 4年生はじめてのクラシック

- ① 10月24日(金) 45分間×2回(1クラスごと)
- ② 12月8日(月) 45分間×2回(1クラスごと)
- ③ 2015年2月23日(月) 45分間×2回(1クラスごと)

■実施場所 ①音楽室 ②音楽室 ③ランチルーム

■受益者 4年1組、2組 ■受益者数 64名

■出演者 室内楽アウトリーチセミナー 柳瀬グループ
[藤田尚子/青嶋祥代(ヴァイオリン) 柳瀬省太(ヴィオラ) 大森健一(チェロ)]

■内容 ラヴェル作曲の弦楽四重奏曲を題材に、3回かけて「音楽を自由に想像して聴く」をテーマに掲げて、聴いた音楽に題名をつけたりなど、聴いたことのない音楽でも自分なりの聴き方を見つけられるようなプログラムを実施した。また、児童たちと演奏者の交換日記を実施し、より親密な交流を図った。

■参加者の声 ぼくは音楽はすごいと思いました。理由は、本は書いてある文しか物語がないけど、音楽は聞いている人によっていろいろ

アウトリーチ
小学4年生
はじめてのクラシック
コミュニティNo.12

な物語があるからです。／今まで一つ一つ聞いて題名をつけていたのですが、いっせいに聞くとどのような題名にしようか迷っています。今回の題名は「とりもどせた平和」です。曲の最初はやさしい風景だったのがだんだんはげしくなって最後にまた平和がきたような感じになったのでこの題名にしました。／30分くらい演奏してくださったので、知らない世界にどンドンひきこまれていきました。表現の仕方の工夫を凝らしているのと、1曲1曲、真剣に集中を切らさず演奏していることがこちら側にも伝わってきました。最後は聞いている側も演奏者も気持ちよく終われたと思います。



江東区立有明小学校 4年生はじめてのクラシック

- ① 10月31日(金) 45分間×2回(1クラスごと)
- ② 12月8日(月) 45分間×2回(1クラスごと)
- ③ 2015年2月9日(月) 45分間×2回(1クラスごと)

■実施場所 ①ランチルーム ②音楽室 ③ランチルーム

■受益者 4年3組、4組 ■受益者数 65名

■出演者 室内楽アウトリーチセミナー 松原グループ
[松原勝也/藤代優寛(ヴァイオリン) 柴恵(ヴィオラ) 印田陽介(チェロ)]

■内容 ドヴォルザーク作曲の弦楽四重奏曲「アメリカ」を題材に、3回かけて「想像をしながら自由に音楽を聴くこと」や「アンサンブル、一緒に演奏するとは？」をテーマに掲げて、音楽を聴きながら想像したことを絵に描いたり、演奏者の呼吸や合図に合わせてリズムを取って手拍子をしたりして、弦楽四重奏団とのアンサンブルを体感した。また、児童たちと演奏者の交換日記を実施し、より親密な交流を図った。

■参加者の声 四人のえんそうを聞いて、本当のぶ台にいるような感じがしました。すごい力があって心がおどってるようなえんそう

アウトリーチ
小学4年生
はじめてのクラシック
コミュニティNo.14

で、自分も正直えんそうを聞いている時や、クラシックのじゅ業じゃない時も楽しかったです。／クラスのみんなで合わせて手をたたいたことを思い出して足でパタパタ一緒に合わせていたけど私も四人の仲間に入ったみたいで心がおどっていたので、すごく楽しかったです。コンサートを見に行ってもまたこの気持ちを思い出したいです。／みていてしゅう中力がすごいと思いました。ぼくも、勉強であれぐらいしゅう中してやってみたいです。4人のかたがたのチーム力がすごいと思いました。／えんそう者の人たちが目で合図をおくっていることや、アンサンブルの意味も分かりました。お母さんにも聞かせてあげたいです。／1楽章から4楽章がまるで本を読んでいくことと同じような感じで、とても楽しかったです。／ぼくもいい音色だからバイオリンなどをやってみたいです。



中央区立有馬小学校 4年生はじめてのクラシック
11月28日(金) 45分間×2回(1クラスごと)

■実施場所 音楽室 ■受益者 4年生(2クラス) ■受益者数 62名
■出演者 クアルテット・エクセルシオ(弦楽四重奏)
[西野ゆか/山田百子(ヴァイオリン) 吉田有紀子(ヴィオラ) 大友肇(チェロ)]

■内容 クアルテット・エクセルシオは3年目の訪問で「一つ一つの弦楽器の特徴や音色を知るとともに、アンサンブルの息の合わせ方や合奏の楽しさを知ってもらう」をねらいに弦楽四重奏の音楽を楽しんでもらった。

■参加者の声 今まで見たコンサートは20人くらいで演奏しているんな音がまざってきれいだけど、4人のほうが楽器の音がすぐにわかった。/わたしはヴァイオリンをならっていたけどいやになってやめてしまいました。でも、エクの人たちがやっているすがたなどがかってよかったのでまたやってみたいです。

イカトリチ
小学4年生
はじめてのクラシック
コミュニティNo.20



中央区立佃島小学校 4年生はじめてのクラシック
12月1日(月) 45分間×3回(1クラスごと)

■実施場所 音楽室 ■受益者 4年生(3クラス) ■受益者数 83名
■出演者 浜まゆみ(マリンバ) クリス・フロー(ハンドドラム)

■内容 マリンバを中心に世界のさまざまな打楽器や学校のシロフォンなどを使用して、打楽器の魅力を多方向から伝えるプログラムを実施した。ボディパーカッションで児童たちが参加をするコーナーもあった。

■参加者の声 今日のマリンバでいろいろな楽器で演奏してくださった時に、わたしは「こんなにはやくキレイに音楽をひける人が世界にいるんだ〜。」と思いました。「つるぎのまい」はよく聞いたことがあります。でもまゆみさんとクリスさんがひいたら「こんなに楽しい曲だったっけ?」と思いました。/音楽では歌を歌うものだと思っていたけど、楽器でも音楽を作れることを知りました。

イカトリチ
小学4年生
はじめてのクラシック
コミュニティNo.21



中央区立日本橋小学校 4年生はじめてのクラシック
12月11日(木) 60分間(2クラス合同)

■実施場所 ランチルーム ■受益者 4年生(2クラス) ■受益者数 63名
■出演者 リコーダーアンサンブル[江崎浩司/宮里安矢/豊田舞/横田朱乎]

■内容 ソプラノ、アルト、テナー、バスという4種類のリコーダーを知ることによって身近な楽器をさらに深め、またアンサンブルの面白さを感じてもらえるようなプログラムを実施した。リコーダー講座では、即興で全員がアンサンブルをしたり、救急車の音真似などリコーダーで遊べるような技も知ってもらった。

■参加者の声 わたしはバスリコーダーを1回持ってみたかったです。予想は10kgくらいあると思います。1番びっくりしたのは江崎さんがリコーダーを2つくわえてふいたことです。/いろいろな曲の演奏の中で1番きれいだと思ったのは「うぐいす」です。/頭の中に音楽の世界がうかがいあがりました。

イカトリチ
小学4年生
はじめてのクラシック
コミュニティNo.24



中央区立月島第二小学校 4年生はじめてのクラシック
12月19日(金) 45分間×2回(1クラスごと)、45分間(2クラス合同)

■実施場所 音楽室 ■受益者 4年生(2クラス) ■受益者数 64名
■出演者 田村緑(ピアノ)

■内容 各クラスの授業では、ラヴェル「水の戯れ」を聴いてイメージを膨らませるなど音楽の色々な聴き方をして自分なりの楽しみを見つけてもらった。その後2クラス合同のコンサート形式で演奏を披露、音楽と絵本「ぼくにピアノがひけたら」では音楽の先生による朗読と、ピアノの共演を楽しんでもらった。

■参加者の声 「水の戯れ」を聴いて、自分も水上を走ったり歩いたりしているような気持ちになった。/ピアノの仕組みがよく分かりました。/音楽は目に見えないけれど心で感じることのできるのだと思いました。/本当に目の前で聞いたクラシックと、CDプレーヤーで聞いたのでは、目の前で聞いた音楽の方が少し美しさが出ていました。しかもCDプレーヤーでは見られない弾いている人の表情なども見られたので、どんな気持ちで弾いているのか少し分かるような気がしたのです。

イカトリチ
小学4年生
はじめてのクラシック
コミュニティNo.27



中央区立明正小学校 4年生はじめてのクラシック

2015年1月23日(金) 60分間

■実施場所 音楽室 ■受益者 4年生(1クラス) ■受益者数 32名

■出演者 TANBRASS(金管五重奏+打楽器)

[亀山真司/松木亜希(トランペット) 高橋朋子(ホルン) 佐々木匡史(トロンボーン) 仁藤雄貴(チューバ) 五田詩朗(打楽器)]

■内容 金管五重奏の作品、各楽器の特徴の分かる曲、ジャズやミュージカルの曲など様々なジャンルの曲をプログラムに入れて、アンサンブルの楽しさを味わってもらった。学校で4年生全員分のマウスピースを用意していただいたので、バズィング体験はマウスピースを使用してより本格的に実施ができた。

■参加者の声 どうやってみんなでそろえているのですか?わたしはいろいろな音楽を聞いたことがあります。でも今日の音楽を聞いてとてもすぞいと思いました。/「トランペット吹きの休日」は学校で習い何度も聞いたことがあるけれど、今日聞いたらやっぱり前で演奏してもらったほうがものすごく感じがちがいで、ものすごく感動しました。

イクトリーチ
小学4年生
はじめてのクラシック
コミュニティNo.30



中央区立常盤小学校 4年生はじめてのクラシック

2015年3月9日(月) 45分間×2回(内1回は児童参加の演奏会)

■実施場所 講堂 ■受益者 4年生(1クラス) ■受益者数 11名

■出演者 ジャパトラ [中井智弥(二十五絃箏・作曲) 島村聖香(邦楽囃子) 本庄康代(語り)]

■内容 ジャパトラ初アウトリーチ。「さるかに合戦」を共演するため、ジャパトラの舌ガタロウ氏の下絵をもとに事前に子供たちにちぎり絵を制作してもらい、当日は、役割分担(朗読の蟹、こぶ、はち、くり、うす役、PC操作の「映し方」、打楽器担当の「囃子方」)をして、低学年の前で発表した。上演に参加したことで4年生の意識は高まり、演奏も、より興味を持って聞くことができた。

■参加者の声 日本の和の音を聴けてとてもよかったです。ことやおはやしの音がかぶってきれいにきこえた。/曲に糸方や囃子方を加えると歌詞が聞こえてくるように感じた。/琴をひかせていただいてありがとうございました。/ジャパトラのみなさんに分かりやすく教えていただいたので2時間で楽器のリズムなどが分かりました。

イクトリーチ
小学4年生
はじめてのクラシック
コミュニティNo.33



イ) 小学4年生はじめてのクラシック Meet the 和楽器

■目的 日本伝統の楽器や楽譜に触れ邦楽に親しみを持ってもらう。箏の体験をしてから箏と尺八の鑑賞をすることによって、より楽器への楽しさや難しさを感じてもらう。

■内容 箏体験(45分間)では、1クラスごとに2グループ交代で「さくらリレー」にチャレンジをした。その後、学年合同で箏と尺八のミニコンサート(45分間)を聴いてもらった。

中央区立月島第一小学校

4年生はじめてのクラシック Meet the 和楽器

12月9日(火) 45分間×2回(1クラスごと体験)、45分間(2クラス合同鑑賞)

■実施場所 視聴覚室 ■受益者 4年生(2クラス) ■受益者数 47名

■出演者 米澤浩(尺八) 熊沢栄利子(箏)

■参加者の声 箏は一〜十と斗為巾というがくふになっていることを初めて知りました。さくらリレーはBの1列目だったから斗為巾が多くて大変でした。コンサートは「六段の調べ」と「鹿の遠音」がすごかったです。/コンサートでとても印象に残ったのは「双魚譜」と「六段の調べ」です。心を打たれました。

イクトリーチ
Meet the 和楽器
コミュニティNo.22



江東区立豊洲小学校

4年生はじめてのクラシック Meet the 和楽器

12月15日(月) 45分間×4回(1クラスごと体験)、45分間(4クラス合同鑑賞)

■実施場所 体育館 ■受益者 4年生(4クラス) ■受益者数 126名

■出演者 米澤浩(尺八) 熊沢栄利子(箏)

■主催 第一生命保険 団体保障事業部

*第一生命保険マッチングギフトプログラムとして実施

■参加者の声 和楽器にはいろいろな種類があって日本独特の世界観があるんだなと思いました。／箏と尺八のコンサートで目を閉じて聞いていると、頭の中でそのけしきがうつるような美しい音色でした。箏はむずかしかつたけど、音を聞いたりしたら心が落ちつくとしてもおもしろかったです。

アウトリーチ
Meet the 和楽器
コミュニティ No.25



中央区立月島第三小学校

4年生はじめてのクラシック Meet the 和楽器

12月16日(火) 45分間×2回(1クラスごと体験)、45分間(2クラス合同鑑賞)

■実施場所 体育館 ■受益者 4年生(2クラス) ■受益者数 69名

■出演者 米澤浩(尺八) 熊沢栄利子(箏)

■参加者の声 お箏という楽器があったことを初めて知りました。見たときはかんたんにできると思ったけど、体験してみたらとてもむずかしくてびっくりしました。でも楽しかったです。／コンサートではすごくコンビネーションがよくきれいでした。ぼくは和太鼓をならっているのと一緒に演奏をしたいです。

アウトリーチ
Meet the 和楽器
コミュニティ No.26



■ 小学校アウトリーチ実施後のアンケート

◎ 児童用アンケート集計結果 (13校)

回答人数：938人

(人)

1. コンサートはどうでしたか? *「Meet the 和楽器」は箏の体験はどうでしたか?

1. とてもよかった	815	86.9%
2. よかった	95	10.1%
3. ふつう	21	2.2%
4. あまりおもしろくなかった	6	0.6%
5. おもしろくなかった	1	0.1%
合計	938	

2. コンサートを聞いて、いままでより音楽が好きになりましたか?

1. とても好きになった	538	57.4%
2. 好きになった	307	32.7%
3. どちらともいえない	78	8.3%
4. 好きにならなかった	11	1.2%
5. まったく好きにならなかった	3	0.3%
合計	937	

3. もっとコンサートへ行ってみたくありませんか?

1. とても思った	507	54.1%
2. すこし思った	314	33.5%
3. どちらともいえない	88	9.4%
4. あまり思わなかった	19	2.0%
5. まったく思わなかった	10	1.1%
合計	938	

4. 晴海トリトンスクエアの中にあるコンサートホール(第一生命ホール)に行ったことがありますか?

ある	161	17.2%
ない	470	50.1%
わからない・無回答	307	32.7%
合計	938	

◎ 音楽教諭へのアンケート 抜粋

1. アウトリーチコンサートの内容はいかがでしたか？

- ・子どもたちがとても楽しんで聴きました。お話しもちょうどよい長さで、親しみやユーモアもありよかったです。やはり、トランペット吹きの休日やサウンドオブミュージックは知っているのを楽しかったようです。一緒に参加できた「バズィング・ワルツ」も良かったです。
- ・毎回素敵な音楽と絵本の取り組みができて良いプログラムだと思います。今回は聴きごたえのある内容でした。ピアノのしくみもじっくりとできて良かったです。
- ・曲目がとても良かったです。児童がよく知っている曲を演奏していただいたので喜んでいました。また、ワークショップが短時間でできるものでとてもすてきでした。子どもたちも満足していました。
- ・大変質が高く、そしてわかりやすく、親しみやすい演奏構成と内容に感激しました。ありがとうございます。室内楽をあんなに身近で聞けて演奏者の息遣いや手の動きが手に取るように分かり、しかも一流の演奏技術を持った方々の演奏だったので、子どもたちも身を乗り出すように聴き入っていました。

2. 日程調整、打ち合わせなどの準備段階はスムーズでしたか？

- ・いつも細かい打ち合わせをありがとうございます。
- ・昨年よりも少ない打ち合わせでスムーズにできました。
- ・打ち合わせもわかりやすく、事前に用意しておくものなど適切に指示してくださったので滞りなく準備できました。

3. 当日の流れの中で、問題点や改善すべき点などありましたらお書きください。

- ・昨年、体験が多すぎたので聴くことを増やしましたが、バランスが難しいところです。児童数が増えてくると活動も限定されてくるかもしれません。

4. 音楽アウトリーチについて、ご意見やご希望がありましたらお書きください。

- ・4年生のこの時期に貴重な体験をできること毎回は難しく思っています。子どもの様子に合わせて頂き感謝しています。
- ・いつも質の高い演奏をありがとうございます。今回も十分に楽しませて頂きました。今後ともよろしくお願い致します。

< Meet the 和楽器について >

- ・体験の時間が足りないかな？と思っていましたが、充実した内容で時間ぴったりで進めて頂きありがとうございました。
- ・貴重な経験、ありがとうございます。すばらしかったと思います。鑑賞⇒体験の順番でもよいのかなと思いました。
- ・テレビの使用はわかりやすかったです。

< 室内楽アウトリーチセミナーについて >

- ・弦楽器の音や息遣いがわかるようなあんなに近くで聴けるというのはなかなかない。良い経験になったと思う。ただ、5年生で「音楽鑑賞教室」という連合行事があり、オーケストラについて学習するので、4年生で今回の学習はレベルが高すぎるのではないかと感じた。
- ・2つのチームと別々に打ち合わせするというのは手間がかかる。打ち合わせ自体はスムーズだったと思う。
- ・4・5年の教科書の内容や学習する共通事項をふまえた上で、内容を考えてくださりありがたかった。

② 幼稚園・保育園でのアウトリーチ

- 目的 子ども達に本物の音を身近に聴いてもらう

江東区立豊洲保育園 保育園アウトリーチ

10月28日(火) 0-2歳(15分間) / 3歳(20分間) / 4・5歳(30分間)

- 実施場所 ホール ■受益者 0~5歳 ■受益者数 119名
- 出演者 中村ゆかり/鈴木由美(ヴァイオリン) 西村友里亜(ヴィオラ) 和泉景子(チェロ)

■内容 室内楽アウトリーチセミナー修了生が弦楽四重奏で出演。

子どもたちに本物の音を身近に聴いてもらうことを目的に、楽器の紹介なども入れながら弦楽四重奏の名曲を中心に演奏した。終演後、出演者は子ども達と給食を共にし、交流を深めた。

- 参加者の声 子どもたちもノリノリで手を叩いたり、立って踊っている子もいました。もう少し長く聴いていたかったです。とても広々と使い、みんな一番前で聞いていた。テンポのある曲だと、楽しそうに笑っていた。普段は活発な子が目をキラキラさせて無言で見入っていた。(先生方の声)

アウトリーチ
幼稚園・保育園での
アウトリーチ
コミュニティNo.13



中央区立晴海こども園 認定こども園アウトリーチ

11月14日(金) 0-2歳(15分間) / 3歳(20分間) / 4・5歳(30分間)

- 実施場所 2階遊戯室 ■受益者 0~5歳 ■受益者数 150名
- 出演者 中村ゆかり/鈴木由美(ヴァイオリン) 西村友里亜(ヴィオラ) 和泉景子(チェロ)

■内容 室内楽アウトリーチセミナー修了生が弦楽四重奏で出演。

楽器紹介のほか色々な曲調を持つ弦楽四重奏曲を、どんな気持ちになるか想像しながら聴いてもらった。子ども達とは運動会の体操の曲で共演し、演奏に合わせて元気に体を動かした。

アウトリーチ
幼稚園・保育園での
アウトリーチ
コミュニティNo.17



中央区立晴海幼稚園 幼稚園アウトリーチ
2015年2月10日(火) 年少・年中(25分間) / 年長(30分間)

- 実施場所 遊戯室 ■受益者 年少～年長 ■受益者数 231名
- 出演者 吉野駿/北見春菜(ヴァイオリン) 福田道子(ヴィオラ) 伊藤七生(チェロ)
- 内容 室内楽アウトリーチセミナー修了生が弦楽四重奏で出演。
「弦楽四重奏」に焦点をあて、「クアルテット」という言葉を覚えてもらい、音の重なりなど「弦楽四重奏」ならではの表現を感じてもらった。

アウトリーチ
幼稚園・保育園での
アウトリーチ
コミュニティNo.31



中央区立日本橋幼稚園 幼稚園アウトリーチ
2015年2月13日(金) 年少・年中(20分間) / 年長(30分間)

- 実施場所 遊戯室 ■受益者 年少～年長 ■受益者数 99名
- 出演者 吉野駿/北見春菜(ヴァイオリン) 福田道子(ヴィオラ) 伊藤七生(チェロ)
- 内容 室内楽アウトリーチセミナー修了生が弦楽四重奏で出演。
「弦楽四重奏」に焦点をあて、「クアルテット」という言葉を覚えてもらい、音の重なりなど「弦楽四重奏」ならではの表現を感じてもらった。

アウトリーチ
幼稚園・保育園での
アウトリーチ
コミュニティNo.32



③ 介護施設でのアウトリーチ

- 目的 コンサートホールまで足を運ぶことが難しい方々に、身近に音楽を楽しんでいただく。

マイホーム新川アウトリーチ 特別養護老人ホームアウトリーチ
9月15日(月・祝) ① 13:15～13:55 ② 14:15～14:45

- 実施場所 ①2階食堂 ②3階食堂 ■受益者 ①通所者 ②入居者 ■受益者数 65名
- 出演者 大森智子(ソプラノ) 高江洲愛(ハープ)
- 内容 日本の童謡や歌曲を中心に、歌で日本一周旅行気分を味わえるようなプログラムを楽しんでいただいた。サウルハープ(小型ハープ)の体験も行った。

アウトリーチ
介護施設での
アウトリーチ
コミュニティNo.8



リハポート明石アウトリーチ 介護老人保健施設アウトリーチ
12月24日(水) 14:00～14:40

- 実施場所 食堂 ■受益者 高齢者リハビリで入所している方 ■受益者数 95名
- 出演者 江崎浩司(リコーダー) 畑内浩(ギター)
- 内容 リズムのよいブラジル音楽を中心としたプログラムを楽しんでいただいた。

アウトリーチ
介護施設での
アウトリーチ
コミュニティNo.28



④ 地域との協力アウトリーチ

- 目的 中央区の市民団「築島散歩の会」との共催で、晴海地区の2つの特別養護老人ホーム利用者に桜並木を眺めながらのお散歩と音楽会を楽しんでいただくことを目的に開催。

桜、桜、桜が咲いた出前音楽会 in 晴海

2015年3月28日(土) 13:00～13:50

- 実施場所 中央区社会教育会館分館 アートはるみ ギャラリー
- 受益者 マイホームはるみ、晴海苑利用者とボランティアスタッフ ■受益者数 100名
- 出演者 竹村浄子(ピアノ) 平澤仁(ヴァイオリン)

■内容 ヴァイオリンとピアノで「春」にちなんだ名曲を楽しんでもらった。毎年恒例になっている「花」の全員合唱ではとても声が良く出て一緒に歌うことを楽しみにされていたようだった。コンサートの後、ベートーヴェン「第九」のメロディを竹村さんが弾き、高齢者の方が決められた鍵盤を打鍵して演奏に加わる、という方法でピアノ体験してもらった。来場者が会場を去る際には、目に涙を浮かべて出演者に「ありがとう」とお礼を言っている場面もあった。

■後援 社会福祉法人中央区社会福祉協議会、中央区ボランティアセンター

■参加者の声 心のコもった最高の演奏でした。感動で心がいっぱいになりました。／生演奏を聞かせていただきまして、ただただ感動・感涙しました。／演奏に癒されました。

アウトリーチ
地域との
協力アウトリーチ
コミュニティNo.37



⑤ 第一生命保険 マatchingギフトプログラム を利用したアウトリーチ

- 目的 第一生命が所属ごとに行う地域社会貢献活動のひとつとして、各所属のコーディネートによりトリトンアーツがアウトリーチを提供する。

品川区立第一日野小学校 ふれあいコンサート♪

12月9日(火) 35分間(1～2年生11名対象)、45分間(3～6年生15名対象)

- 実施場所 音楽室 ■受益者 特別支援学級児童1～6年生 ■受益者数 26名
- 出演者 浜まゆみ(マリンバ) 新居由佳梨(ピアノ)
- 主催 第一生命保険 保険金部

■内容 マリンバとピアノによるコンサート。楽器のお話から他の打楽器を入れた作品まで、多彩なプログラムを披露した。第一生命職員の方にはマリンバの搬入から組み立て撤収、コンサートの途中ではボディパーカッションの見本やマリンバに実際に触れてみるコーナーで活躍していただいた。

アウトリーチ
第一生命保険
マatchingギフトプログラム
コミュニティNo.23



- コミュニティ No.25 12/15(月) 江東区立豊洲小学校 4年生はじめてのクラシック Meet the 和楽器は、P.30 参照。

(2) 第一生命ホールオープンハウス

第一生命ホール オープンハウス 2014

～コンサートホールで音楽体験♪～

7月19日(土) 12:00～17:00

- 実施場所 第一生命ホール、晴海トリトンスクエア2階 グランドロビー
- 受益者 未就学児から小学校低学年年齢のお子様を持つ家族を中心とした近隣地域の方
- 受益者数 1,312名
- 出演者 江崎浩司(リコーダー) 畑内浩(ギター) 田村緑(ピアノ) 浜まゆみ(マリンバ)
TANBRASS(金管五重奏+打楽器) 小林正枝(ヴァイオリン) 北見春菜(ヴァイオリン)
- 目的 近隣地域で増加する特にファミリー層をメインターゲットとして、これまでホールに来たことのない方に身近に素晴らしいホールがあり音楽を楽しめるということを知ってもらう。また、コンサートホールのあるべき姿もきちんと伝えることによって将来のクラシック音楽ファンを増やす。
- 後援 中央区・中央区教育委員会
- 協力 株式会社村松フルート製作所

■参加者の声 気軽に楽しめるものや本格的なものまでとてもよかったです。効率よくいろいろ体験できてよかったです。コンサートが素晴らしかったです。/ピアノのひみつコンサートの田村さんの演奏はもちろん、進行や説明が明快でよかったです。音響のお話は大変興味深く、照明を使った演出も最高でした。これぞオープンハウスならではの企画という感じでよかったです。/楽器体験の受付がスムーズでよかったです。6歳の娘は音が出せずに悔し泣き……。音の出しやすい楽器のほうがよかったですかもしれません。三味線がなかったのが残念でした。/体験できる楽器が毎年ちがうと楽しみです。/弦楽器体験がなくなって残念でした。ファイブ体験もよかったので両方あるといいなと思います。

第一生命ホール
オープンハウス
コミュニティ No.4
サポーター協同企画



©越間有紀子

ホールステージ

ステージに上がってみよう (45分間)

ホールのステージに上がって客席を眺めるなど演奏家の気分を味わってもらった。

参加者数：約100名

ピアノのひみつコンサート

田村緑(ピアノ)

Part1 (6歳未満のお子さまとご家族向け/40分間)

Part2 (小学生以上向け/40分間)

小学校アウトリーチで行っている『田村緑のピアノのひみつ』コンサートを疑似体験。

参加者数：Part1約400名、Part2約250名

舞台・照明・音響のお話 (小学生以上向け/30分間)

解説：NHKアート

第一生命ホールの舞台機構を専門スタッフが解説。商業高校の団体も来場。

参加者数：約100名



©大窪道治



©大窪道治

出演者全員によるガラ・コンサート (小学生以上向け/60分間)

江崎浩司(リコーダー) 畑内浩(ギター) 田村緑(ピアノ) 浜まゆみ(マリンバ) TANBRASS(金管五重奏+打楽器) 小林正枝(ヴァイオリン) 北見春菜(ヴァイオリン)

- ・F. クーブラン：愛のうぐいす
- ・A. ヴィヴァルディ：「忠実な羊飼ひ」よりソナタ短調
- ・V. モンティ：チャルダッシュ
- ・A. ハチャトゥリアン(江崎浩司編)：剣の(小)舞
- ・ティコティコ(ブラジル古楽ショーロ)
- ・M. ラヴェル：水の戯れ
- ・チャイコフスキー：バレエ「くるみ割り人形」より「花のワルツ」
- ・A. ハチャトゥリアン：剣の舞
- ・F. ワール& R. アイゼル：ザ・ゴールデン・エイジ・オブ・ザ・シロフォン
- ・N. ロサウロ：コンチェルトより第1楽章 グリーティング
- ・吟遊詩人のソナタ(作曲者不詳)
- ・R. ヘンダーソン：セイント・ハレルヤ
- ・ブラームス：ハンガリー舞曲第5番

オープンハウスの各コーナーに出演していた演奏者が舞台上に揃ってガラ・コンサートを実施。

参加者数：約250名



©大窪道治

各コーナー

親子のためのミニよちよちコンサート

(会場：晴海トリトンスクエア2階 グランドロビー／20分間×3回)
 出演：TANBRASS (金管五重奏+打楽器)
 0歳～3歳の親子に向けたコンサートを2階 グランドロビーで実施。
 参加者数：3回で450名

リコーダーのマエストロに学ぼう。極意を伝授！

(小学生以上～大人／30分間×2回)
 講師：江崎浩司 (リコーダー) ゲスト：畑内浩 (ギター)
 ソプラノリコーダーの吹き方から合奏まで体験するワークショップを実施。
 参加者数：52名 (うち18名がホールでのステージで演奏家と共に成果を発表)

空き缶やキッチン用品が楽器に変身？身近なものでリズム遊び！

(3歳以上～大人／30分間×2回)
 講師：浜まゆみ (打楽器)
 キッチン用品など身近なものを使ったリズムワークショップを実施。
 参加者数：94名 (うち24名の親子がホールでのステージで演奏家と共に成果を発表)

ミュージックベル体験

(監修：田村緑)
 伴奏：小林正枝 (ヴァイオリン)
 北見春菜 (ヴァイオリン)
 パッヘルベルの「カノン」を
 ミュージックベルを使って演奏。
 ヴァイオリン生演奏と共演した。



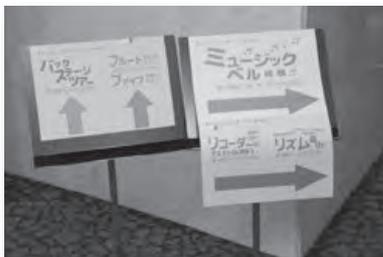
©越間有紀子

フルートを吹いてみよう！ファイフを吹いてみよう！

(小学生以上／20分間×4回、4歳～6歳／15分間×2回)
 株式会社村松フルート製作所の協力により、4歳～6歳47名がフルート入門用楽器「ファイフ」を体験、小学生以上の78名は本物のフルートを体験した。

館内バックステージツアー

普段はスタッフしか入ることのできないホールの裏側を見学するツアー。
 参加者数：241名 (21ツアーを実施)



©越間有紀子



©越間有紀子



©越間有紀子

(3) ロビーコンサート

① 晴海トリトンスクエアグランドロビーコンサート

- **目的** トリトンスクエア在勤者や近隣住民に気軽に音楽による癒しのひとときを過ごしてもらい、音楽の素晴らしさを知っていただく。
 - **内容** 晴海トリトンスクエア内2階グランドロビーにて平日に開催する、様々な楽器による無料コンサート。2014年度は昼に4回、夜に2回の計6回実施。昼開催の4回は、サポーターとの協同企画として企画・制作。
 - **実施場所** 晴海トリトンスクエア グランドロビー
 - **受益者** トリトンスクエア勤務者 近隣在住者
 - **後援** 社会福祉法人中央区社会福祉協議会
 - **協賛** 晴海トリトンスクエア
- **参加者の声** コンサートになかなか行く機会がないので大変ありがたいです。／ロビーはもちろんですが、コンサートホールでまた演奏していただきたいと強く思います。／ステキな演奏だったので帰宅後にネットで検索してみようと思います。／大変素晴らしいロビーコンサートでした。ぜひ継続していただきたいです。



晴海トリトンスクエア グランドロビーコンサート 風かおり鳥うたう

5月13日(火) 12:20～13:00

- **受益者数** 100名
- **出演者** 江崎浩司(リコーダー) 伊藤一人(ピアノ)
- **演奏曲**
クープラン：愛のうぐいす
モンティ：チャールダーシュ
ベートーヴェン(江崎浩司編曲)：エリーゼのために<タンゴ風>
エルガー(江崎浩司編曲)：愛のあいさつ<ジャズ版>

ロビーコンサート
晴海トリトンスクエア
グランドロビーコンサート
コミュニティNo.1
サポーター協同企画



晴海トリトンスクエア 夜のグランドロビーコンサート 7月30日(水)

① 18:15～18:45 ② 19:15～19:45

- **受益者数** 527名
- **出演者** 松永貴志(ピアノ)
- **演奏曲**
チック・コリア：スペイン
松永貴志：OPEN MIND
松永貴志：Easy Waltz
松永貴志：キラキラロード
松永貴志：神戸
川村結花：夜空ノムコウ
ほか

ロビーコンサート
晴海トリトンスクエア
グランドロビーコンサート
コミュニティNo.5



晴海トリトンスクエア 夜のグランドロビーコンサート 9月12日(金)

① 18:15～18:45 ② 19:15～19:45

- **受益者数** 570名
- **出演者** 中川英二郎(トロンボーン)
鈴木よしひさ(ギター) 小林真人(ベース)
- **演奏曲**
アントニオ・カルロス・ジョビン：ワン・ノート・サンバ
ピー・ウィー・エリス：ザ・チキン
フランク・チャーチル：いつか王子様が
ほか

ロビーコンサート
晴海トリトンスクエア
グランドロビーコンサート
コミュニティNo.7



晴海トリトンスクエア グランドロビーコンサート 尺八と箏ででき古典からラテンまで 11月18日(火) 12:20～13:00

- **受益者数** 151名
- **出演者** 日本音楽集団
米澤浩(尺八・司会) 熊沢栄利子(二十絃箏) 城ヶ崎美保(十七絃箏) 田村法子(二十絃箏・箏)
- **演奏曲**
宮城道雄：春の海
長澤勝俊：四つの前奏曲
伊福部昭：物云舞
秋岸寛久 編：TANGO! たんご!
リベルタンゴ～黒い瞳～ラ・クンパルシータ
～黒ネコのタンゴ～タンゴジェラシー
長澤勝俊：樹冠

ロビーコンサート
晴海トリトンスクエア
グランドロビーコンサート
コミュニティNo.19
サポーター協同企画



晴海トリトンスクエア
グランドロビーコンサート
あなたに贈る New Year 歌の花束
2015年1月8日(木) 12:20～13:00

ロビーコンサート
晴海トリトンスクエア
グランドロビーコンサート
コミュニティNo.29
サポーター協同企画



- 受益者数 255名
- 出演者 澤崎一了(テノール) 大石洋史(バリトン) 瀧田亮子(ピアノ)
- 演奏曲
モーツァルト: 歌劇『フィガロの結婚』より「少しばかり目を開け」
プッチーニ: 歌劇『トスカ』より「星は光りぬ」
プッチーニ: 歌劇『ラ・ボエーム』より「ああミミ、君はもう戻ってこない」
ビゼー: 歌劇『カルメン』より「闘牛士の歌」
ヴェルディ: 歌劇『ドン・カルロ』より「友情の二重唱」
コッタウ: サンタルチア
クルティス: 忘れな草
モドゥーノ: ヴォラーレ

晴海トリトンスクエア
グランドロビーコンサート
モーツァルト時代のピアノとホルン
でお届けする 18 世紀の響き
2015年3月10日(火) 12:20～13:00

ロビーコンサート
晴海トリトンスクエア
グランドロビーコンサート
コミュニティNo.34
サポーター協同企画



- 受益者数 273名
- 出演者 小倉貴久子(フォルテピアノ) 塚田聡(ナチュラルホルン)
- 演奏曲
オール・モーツァルト・プログラム
ホルン協奏曲 第1番 二長調 K386b
クラヴィーア(ピアノ)・ソナタ 長調「トルコ行進曲つき」より第3楽章 K331
「ああ、お母さん聞いて」による 12の変奏曲 八長調 K265 (きらきら星変奏曲)
幻想曲 二短調 K397

② 第一生命ホールロビーコンサート (室内楽アウトリーチセミナー)

第一生命ホールロビーコンサート
～室内楽アウトリーチセミナー講師と受講生による～
2015年3月27日(金) 12:15～14:00

ロビーコンサート
第一生命ホール
ロビーコンサート
コミュニティNo.36

- 実施場所 第一生命ホールロビー
- 受益者 近隣の在住・在勤者、クラシック愛好者 ■ 受益者数 101名
- 出演者 講師: 松原勝也(ヴァイオリン) 柳瀬省太(ヴィオラ)
セミナー受講生 [藤代優憲/藤田尚子/青嶋祥代(ヴァイオリン) 柴恵(ヴィオラ) 印田陽介/大森健一(チェロ)]

■ 目的 室内楽アウトリーチセミナーの一環として、一般のお客さまを対象とした室内楽ロビーコンサートに出演し、アンサンブル能力を磨き、作品への理解と表現力の向上を目指す。アウトリーチ受入校の小学生たちも参加できる春休みに開催し、さらに聴きたいという子供たちの要求にも応え、ホールに足を運ぶきっかけとする。ロビーには、小学生が音楽を聴きながら描いた絵や感想を展示。

- 内容
ラヴェル: 弦楽四重奏曲へ長調
ドヴォルザーク: 弦楽四重奏曲第12番へ長調 Op.96 B.179 「アメリカ」
メンデルスゾーン: 弦楽八重奏曲変ホ長調 Op.20

■ 参加者の声 講師であるプロの演奏家に加わることで、受講生も持てる力を最大限に発揮できるように素晴らしいアンサンブルを聴くことができました。(一般) / 「夜のさんぼ」「マイナスイメージ」などの子どもたちの考えが面白かった。音楽は様々な面があり、それらにふれることで人間の心がよりゆとりを持ったものとなっていくのでしょうか。(一般) / 有明小学校で聞いた曲だったけれど、学校で聞いたのより長かったのが聞いてうれしかったです。(小学生) / とてもすごかったです。また聞きに行きたいと感じました。ぜひまた来ます。(小学生)

■ 室内楽アウトリーチセミナーについては、P.43 参照。



(4) レクチャー

- 受講料 ¥2,000 (全4回)
- 後援 中央区社会福祉協議会
- 協力 株式会社ヤマハミュージックジャパン (5/17 ヴァイオリン提供)、民音音楽博物館 (6/21 会場提供)、株式会社村松フルート製作所 (9/20 フルード提供と指導)

レクチャー
コミュニティNo.2
サポーター協同企画

大人のためのクラシック入門講座①

5月17日(土) 14:00～16:30

- 実施場所 トリトンスクエアX棟5階会議室
- 受益者 一般(15歳以上) ■受益者数 27名
- 出演者 有田栄(講師) 鈴木由美(ヴァイオリン講師)

■内容 弦楽器をテーマに、モーツァルトの時代の弦楽器についての講義と、2名1組で1丁のヴァイオリンを使用し、構え方から音の出し方を習い、モーツァルト作曲の「きらきら星」の合奏を行った。最後には講師の模範演奏を聴き、演奏の難しさや楽曲の聴く楽しさを理解して頂いた。

■参加者の声 モーツァルトのひとりとなりや音楽の歴史を知る事ができ、大変勉強になりました。／ヴァイオリン体験は1時間以上、2人で1台の楽器で、少しさわるくらいではなく、少し演奏(?)できるまでできて大満足でした。／ヴァイオリンは思いがけず音が出て、とても親しみをもちました。



大人のためのクラシック入門講座②

6月21日(土) 10:00～12:30

- 実施場所 民音音楽博物館
- 受益者 一般(15歳以上) ■受益者数 23名
- 出演者 有田栄(講師) 特別講師:上妻重行(民音音楽博物館館長・学芸員)

■内容 信濃町にある民音音楽博物館に出向き、各時代の楽器の音色を聴かせていただきながら、学芸員よりクラヴィーア(鍵盤楽器)の説明を受けた。講師からは、ピアノの歴史やモーツァルトの活躍していた時代についての説明を受け、博物館が所蔵するモーツァルト自筆譜のファクシミリも見学した。

■参加者の声 “ピアノ”があんな数の種類があったことに驚きました。また、それが現在も演奏できるなんて、なかなか体験できる事ではなかったので興味深かったです。／有田先生の“音楽の本質・真理”のお話も大変ためになりました。これは生きていく上での様々な“本質・真理”に通じますよね。



大人のためのクラシック入門講座③

9月20日(土) 14:00～16:30

- 実施場所 トリトンスクエアX棟5階会議室
- 受益者 一般(15歳以上) ■受益者数 24名
- 出演者 有田栄(講師) 黒田聡・益田善太(フルード体験講師) 村松フルード製作所スタッフ6名(フルード体験補助)

■内容 管楽器の基本構造や進化の様子について、それからモーツァルトの作品のなかにおける管楽器の意味・役割についての講義。体験では、フルードより短く扱いやすいファイフで、息の吹き方などを学び、実際のフルードも体験した。最後は「チューリップ」の合奏をし、講師の模範演奏も鑑賞した。

■参加者の声 毎回楽しませていただいているのですが、回を重ねるごとにモーツァルトが身近に感じます。1人1台のフルード、ぜいたくで楽しい時間でした。／前回ヴァイオリン体験後、コンサートでの聴き方が変わりました。今回のフルード体験で、また、次のコンサートに行くのが楽しみになりました。フルードの綺麗な音を出すのがこんなに難しいとは!!



大人のためのクラシック入門講座④

10月26日(日) 10:00～12:30

- 実施場所 第一生命ホールバックステージツアー
- 受益者 一般(15歳以上) ■受益者数 12名
- 出演者 有田栄(講師) トリトンアーツ・スタッフ(バックステージツアーご案内)

■内容 最終回では、実際のホールを使用し裏側の見学とコンサートの作り方について学んでもらった。2つの班に分かれ、コンサートのリハーサルを見学し、ホールの裏側(ピアノ庫や楽屋などを見学)を職員が説明する形で廻った。また座学では、過去の公演資料を使用し、どの様にコンサートが作られるのかを説明し、聴く側だけではない視点からの感覚にもふれてもらった

■参加者の声 大変楽しい講座でした。単に話を聞くというだけでなく、楽器に触れたり、バックステージツアーがあったり、バラエティーに富んだ内容だったのがとても良かった。有田先生のお話はとても分かりやすいだけでなく専門的な内容も盛り込まれていて、とても楽しく学べました。／演奏会前のリハーサルがこれほどまでの緊張感をもってやられていることに驚きました。



(5) その他コミュニティ活動

月島草市

7月12日(土) 14:00～20:00

■実施場所 月島西仲商店街

■受益者 近隣住民 ■受益者数 100名

■目的 地元でも歴史の長い夏まつりにブースを出展し、ミュージックベルの体験を通じて、地域の方にトリトンアーツを知っていただく。

■内容 ミュージックベルの体験

*ピアノ・アート・サロンと協同



その他コミュニティ活動
コミュニティ No.3

中央区立住宅晴海ガーデンコート自治会イベント 秋の音楽会とお茶のひととき

10月5日(日) 13:30～14:30

■実施場所 集会室

■受益者 ガーデンコート在住者 ■受益者数 30名

■出演者 クアルテット・エクセルシオ (弦楽四重奏)

[西野ゆか/山田百子(ヴァイオリン) 吉田有紀子(ヴィオラ) 大友肇(チェロ)]

■目的 晴海ガーデンコート住民間の交流の場として、またトリトンアーツの活動を近隣住民の方々に認知していただくことを目的に実施。

■内容 聴きなじみのある曲を中心に、クラシックコンサートが初めての方でも弦楽器や弦楽四重奏の魅力を味わっていただけるようなプログラムをお届けした。

*協力企画



その他コミュニティ活動
コミュニティ No.11

中央ウォーターフロント 防災コミュニティフェスティバル

11月15日(土) 12:00～、14:00～ (20分×2回)

■実施場所 THE TOKYO TOWERS アクアステージ

■受益者 THE TOKYO TOWERS 住民、ほか ■受益者数 40名

■出演者 TANBRASS (金管五重奏+打楽器)

[松木亜希/吉田綾子(トランペット) 佐久間優(ホルン) 小篠亮介(トロンボーン) 臼井紀人(チューバ) 五田詩朗(打楽器)]

■目的 中央区勝どきの「THE TOKYO TOWERS」マンションで開催されたイベントに出演し、音楽の生演奏を身近に楽しんでいただくと共に、トリトンアーツの活動を近隣住民の方々に認知していただくことを目的に実施。

■内容 ファンファーレやオペラ、ジャズなど幅広い音楽ジャンルで金管五重奏と打楽器の迫力ある演奏を楽しんでいただいた。

*協力企画



その他コミュニティ活動
コミュニティ No.18

中央区民カレッジ卒業式

2015年3月14日(土) 14:00 式典開始(コンサートは45分)

■実施場所 日本橋社会教育会館ホール

■受益者 中央区民カレッジ卒業生 ■受益者数 200名

■出演者 古典四重奏団

■目的 2015年度に連携して講座を実施する中央区民カレッジの卒業式にご協力し、卒業生、在校生の方々にクラシックの演奏を楽しんでいただく。

■内容 古典四重奏団による弦楽四重奏の演奏と、クイズを交えた曲目の解説。

*協力企画



その他コミュニティ活動
コミュニティ No.35

よちよちコンサート in 福島 被災地支援
ニコニコこども館 (郡山市)

11月3日(月・祝) 10:30 ~ 11:10

- 実施場所 多目的室
- 受益者 未就学児親子 ■受益者数 80名
- 出演者 TANBRASS (金管五重奏 + 打楽器)
 [亀山真司 / 松木亜希 (トランペット) 高橋朋子 (ホルン) 佐々木匡史 (トロンボーン) 仁藤雄貴 (チューバ) 五田詩朗 (打楽器)]

■目的 東日本大震災の被災地であり、原発事故による放射能の影響の残る福島県郡山市で、音楽を通じて心の支援をする。

■内容 会場にひいたマットの上に0~3歳児とその保護者に座ってもらい、身近に管楽器と打楽器の演奏を楽しんでもらった。手拍子などで参加するプログラムでは会場全体が盛り上がり、リラックスした楽しい空気で会場が満たされていた。震災後すぐの時期に比べ駅周辺では行き交う人も増え、街全体が落ち着きを取り戻してきた様子だった。

その他コミュニティ活動
 コミュニティ No.15



■参加者の声 とても楽しい演奏会で、子どもがのびのび聴けた。／親の私が楽しんでしまいました。／リラックスした雰囲気子どもに音楽を聴かせることができてよかった。

よちよちコンサート in 福島 被災地支援
えぼか本宮市民元いきいき応援プラザ (本宮市)

11月3日(月・祝) 14:00 ~ 14:40

- 実施場所 イベント交流広場
- 受益者 未就学児親子 ■受益者数 70名
- 出演者 TANBRASS (金管五重奏 + 打楽器)
 [亀山真司 / 松木亜希 (トランペット) 高橋朋子 (ホルン) 佐々木匡史 (トロンボーン) 仁藤雄貴 (チューバ) 五田詩朗 (打楽器)]

■目的 東日本大震災の被災地であり、原発事故による放射能の影響の残る福島県本宮市で、音楽を通じて心の支援をする。

■内容 子ども連れの親子、近隣中学校 brassバンド部の生徒、施設をよく利用されている高齢者の方など幅広い年齢層の方向けに、管楽器・打楽器の魅力や演奏とお話で伝えた。コンサート後、brassバンド部の中学生が TANBRASS のメンバーに演奏のコツや練習の仕方などを個別に質問し交流することができた。

その他コミュニティ活動
 コミュニティ No.16



■参加者の声 演奏者の方の息づかいや楽器の振動まで感じられ、コンサートホールとはまた違う楽しみ方ができました。／演奏方法などとても勉強になりました。／一人暮らしで黙々と過ごして来ましたが、今日は来てよかったです。気持ち晴れました。

■ コミュニティ活動レポートピックアップ

◎ 9月4日(木) 中央区立久松小学校 *詳細はP.26 「〈アウトリーチ〉①小学校アウトリーチ」欄参照

久松小学校での TANBRASS のアウトリーチは今年で4年目を迎えました。音楽室に到着すると、メンバーは自分たちの楽器のウォーミングアップ。学校にある楽器のコンディションもチェックしていました。リハーサルはまるで児童たちがすでにいるかのような明るい雰囲気の中、プログラムの流れや曲の出だし、音程など念入りに確認していました。

児童たちが緊張気味に音楽室へ入ってくると、コンサートは華やかな舞踏劇『ラ・ペリ』のファンファーレで幕をあげました。児童たちの表情も、金管の明るく華やかな音色により和やかになったように思えました。コンサートは軽快なトークと共に進み、とくに『水上の音楽』では、金管の厚くなめらかなハーモニーに児童たちも普段では馴染みがあまりないであろうクラシック音楽の世界に浸っていました。

楽器紹介の時間になると雰囲気も一気に変わり、TANBRASS が質問するごとに勢いの良い返事をしていました。トランペットの紹介では金管楽器の音の鳴る原理を紹介していましたが、マウスピースだけの音にこんな小さい音で鳴っているのかととてもビックリした様子でした。また、ホルンの楽器紹介では『星に願いを』を演奏していましたが、聞き馴染みの音楽に嬉しそうでした。トロンボーンではスライドをみせ、テュー

バでは低音の音色を感じ取っているようでした。打楽器では、学校にあるドラムセットを使用。学校の楽器で演奏していることに少し驚いた表情をする子もいました。

楽器体験では10人の児童が体験をし、それぞれ何を体験するかは背丈や腕の長さなど、その子に合わせて無理のないように TANBRASS のメンバーが振り分けていました。まずはマウスピースから。音が鳴ったところで、一人一人音を鳴らし拍手をもらっていました。



コンサートも終盤になったところ、金管楽器を鳴らすための口の動き（バズィング）を使い、参加型で『Buzzing Waltz』という曲を披露していました。TANBRASSのメンバーが「鼻歌のようにバズィングできるよ」と言ってやってみせると、「すごい」などの声があがりました。「練習しよう」などの声も聞こえてきました。最後にミュージカル「サウンド・オブ・

ミュージック」、オペラ「アイーダ」の凱旋行進曲が演奏され、アンコールの大きな手拍子の後アンコールでコンサートは終了しました。

TANBRASSのメンバーはアウトリーチ終了後、聴いていた4年生の児童たちと一緒に給食交流を行いました。メンバーのみなさんも久しぶりの給食が嬉しそうでした。（インターン 渡邊真歩）

◎ 9月15日（月・祝）マイホーム新川 *詳細はP.32 「〈アウトリーチ〉③介護施設でのアウトリーチ」欄参照

穏やかな陽気の敬老の日、高齢者施設でデイサービス（通所者）対象と入居者対象の2回、ソプラノとハープのアウトリーチコンサートが行われました。

まず「アヴェ・マリア（バッハ＝グノー）」で始まりました。食堂がコンサート会場に変身した瞬間です。1曲目が終わり大森さんので挨拶とお話、皆さんにこやかな表情を浮かべていらっしゃいます。続いて「しゃぼん玉」「サッチャン」「雨降りお月さん」の3曲では、歌に合わせて一緒に口ずさんだり、リズムをとったりする方々がいらっしゃいました。続いて大森さんが、「皆さん、今まであちこちご旅行されたと思いますが、これから一緒に音楽で日本一周しましょう。」と語りかけ、まず尾瀬の風景の話から始めました。「では訪ねてみましょう。」と言う言葉に続き「夏の思い出」、続いて沖縄の紹介後「ていんぐさぬ花」、そして北海道に飛んで知床半島の紹介に続き「知床旅情」を披露しました。「日本は島国。でもどうしてどうして、広いんですね。」と語りかける大森さんの優しい口調は、聴いている皆さんと気持ちを共有しているようでした。

続いてはハープ奏者の高江洲さんが楽器の説明をしてから、持ってきた“サウルハーブ”を持って皆さんのところを回って、数人の方に音を出してもらったりしました。自分の手が紡ぎ出す楽器の音に、とても喜

んでいらっしゃる様子でした。空気の振動だけでなく、直に身体に響く振動を感じていただけたようです。そしてハープの特性を生かしたソロ曲「引き潮（マックスウェル）」の演奏を披露しました。続いて、大森さんのソプラノの素敵な声で「ヴィラネル（デラックア）」を演奏し、最後は皆さんで「ふるさと」を合唱しました。

今回のアウトリーチは、聴いている方々の気持ちに寄り添い、旅の思い出に誘い、お話と演奏で十分に満足できる内容でした。身近で聴くハープの音色も好評で、積極的に質問をされる方や熱心に音色に耳を傾ける姿が見受けられました。（サポーター 鈴木香代子）



◎ 10月28日（火）豊洲保育園 *詳細はP.31 「〈アウトリーチ〉②幼稚園・保育園でのアウトリーチ」欄参照

元気で素直な子供たちがたくさんいる「豊洲保育園」で弦楽四重奏のアウトリーチを行いました。

保育園に到着するとさっそくメンバーがリハーサルを行いました。普段なら保育園に聴こえてこない楽器の音色が聴こえてきて、始まる前から子どもたちは気になって何度も何度も覗きにきてくれました。そして楽しみにしていたアウトリーチが始まりました。この日は0～2歳、3歳、4～5歳と年齢別に3つの公演を行いました。

【0～2歳】 コンサートを聴くのが初めての子もいる0歳～2歳は15分のプログラムに。メンバーの自己紹介を行った後、“クシコスポスト”や“天国と地獄”などの「運動会メドレー」を演奏しました。子どもたちも聴き馴染みのある曲が多く、聴きながらランニングの動きをする子も見えました。0歳～2歳の子が一番笑顔になった曲は「さんぽ」。この曲は豊洲保育園の運動会で園児全員が体操した思い出の曲です。曲に合わせながら楽しく体操をし、会場の一体感が高まりました。

【3歳】 少し大きくなった3歳のプログラムは少し長めの20分。メンバーの挨拶や自己紹介にも元気よく受け答えしていました。楽器紹介の時にヴァイオリン、ヴィオラ、チェロを紹介したところ「知ってる!」「おうちにあるよー」という声も。楽器紹介を行った後、子どもたちにも「山の音楽家」の曲に合わせてヴァイオリンと一緒に弾く動きをしました。「格好よく持とうね!」とメンバーが呼びかけると、真剣に弓を弾く動きをする子や歌いながら楽しそうに弾く子の姿が見受けられました。

【4～5歳】 まだかまだか一番楽しみにしてくれていた元気いっぱいの4～5歳の子どもたち。30分たっぷりのプログラムでした。先に行った2つのプログラムにはない、ドヴォルザークの弦楽四重奏曲第12番「アメリカ」より第4楽章をオープニングに演奏しました。軽快でパワフルな演奏に子どもたちは笑顔で聴いていました。3歳に負けにくい元気な4～5歳でしたが、演奏が終わったあとに「すごかったー」「さっきの曲の怖そうところが好き」と様々な感想を述べ、少し大人な演奏の聴き方をしてくれました。そしてアンコールが終わったあと、今度は園児からメンバーへお礼の歌のプレゼントが。園児たちが選んで曲を3曲披露してくれメンバーも喜んでいました。

豊洲保育園は毎日お昼に栄養素の高い美味しい給食を食べています。コンサートが終わったあとメンバーも園児達と一緒に楽しく給食を頂きました。美味しいご飯を食べながらアウトリーチの感想を直接聴き、メンバーも子どもたちも楽しい時間を過ごしました。（インターン 山上果歩）



*そのほかのコミュニティ活動レポートは、トリトンアーツ・ウェブサイト (<http://www.triton-arts.net/ja/community/2014/>) に掲載しています。ぜひご覧ください。

1 1-4. 文化ボランティア拠点づくり事業 ～サポーター～

2014 年度の事業の成果



サポーター集合写真 ©大窪道治

2014年7月19日 第一生命ホール オープンハウス 2014 終了後に出演者、スタッフと共に

■ 目的

2001年の設立当初より中央区在住・在勤者や音楽愛好家を中心とするボランティア（サポーター）の組織化と支援を目的に活動を行っている。

サポーターのきめ細やかな対応や企画により、子どもから大人まで様々な人々に更に音楽を身近に感じていただき、コミュニティの活性化を図ることも目的としている。

■ 登録人数

73名（男性19名 女性54名）

■ 登録者の居住地

中央区24名 江東区9名 その他23区17名 東京都市部4名
神奈川県8名 埼玉県4名 千葉県5名 茨城県1名 栃木県1名



■ 活動内容

1 第一生命ホール主催・共催公演のスタッフサポート（29活動）

第一生命ホールへご来場のお客様に気持ちよく過ごしていただくために、スタッフと共にチラシの挟み込み作業、パンフレット配布、花束受付、アンケート回収などを行った。

2 コミュニティ活動のスタッフサポート（27活動）

コミュニティ活動先で会場設営や楽器運搬、写真・ビデオの撮影などを行った。

3 第一生命ホールオープンハウスの企画・運営（1活動）

オープンハウス実行委員会を組織し、年間を通して企画、準備、運営を行った。（P.34・35参照）

4 子育て支援コンサートの子ども音楽スタジオ準備・運営（1活動）

子育て支援コンサート（P.14参照）の第一部「子どものための音楽スタジオ」での子どもの受け入れと音楽スタジオのサポートを行った。お子さんを預かることによって、親御さんたちにホールでゆっくりと音楽を楽しむ機会を提供することができた。

5 晴海トリトンスクエア グランドロビーコンサートの企画・運営（6活動）

サポーターとの協同企画として、約2ヶ月に1度のペースで6回開催をした。出演者の選定やチラシの作成および配布、当日の運営などを行った。（P.36・37参照）

6 レクチャー クラシック入門講座～初めてのモーツァルトの企画・運営（4活動）

レクチャー実行委員会を組織し、新たな顧客開拓を目標に「モーツァルト」をテーマとしてクラシック入門のレクチャーを4回実施した。（P.38参照）

9 サポーター研修（1活動）

ホールでお客様をお迎えするマナー研修を行った。講師：角屋里子先生



7 事務のサポート（16活動）

事務所内でのチラシの挟み込みやダイレクトメール発送、トリトンアーツ通信の発送、アンケート集計作業、トリトンスクエア館内へのチラシ配布などを行った。

8 サポーターミーティングの実施（毎月1回）

各実行委員会からの進捗状況報告やオープンハウス、子育てコンサートの準備、サポーター活動の見直しなどの話し合いを行った。

■ 振り返り

各自が興味のある分野、参加しやすい時間帯で無理なく活動に参加していただいている。

(1) 室内楽アウトリーチセミナー

- 目的 「コミュニティの中で音楽家がどう生きていくか」を考えるためのセミナー。講師と弦楽四重奏を組み、トリトンアーツのコーディネーターと共にプログラムを考えリハーサルの上、中央区内の小学校でアウトリーチを行う。実践の場を通して、コミュニティ活動を行う演奏家を育成する。
- 内容 2名の講師と6名の受講生で2つの弦楽四重奏グループを作り、小学校アウトリーチに各3回、第一生命ホールロビーコンサートに1回出演する。プログラム作りからコミュニティ活動の実践の場を通して、アンサンブル能力を磨き、作品への深い理解と表現力の向上を目指すと共に、演奏家としての今後の活動に役立つスキルを身につける。
- 講師 松原勝也(ヴァイオリン/Aグループ講師)
柳瀬省太(ヴィオラ/Bグループ講師)
- 受講生 Aグループ: 藤代優意(ヴァイオリン) 柴恵(ヴィオラ) 印田陽介(チェロ)
Bグループ: 藤田尚子/青嶋祥代(ヴァイオリン) 大森健一(チェロ)
- A・B共通実施内容 江東区立有明小学校「4年生はじめてのクラシック」
*詳細はP.27 「〈アウトリーチ〉①小学校アウトリーチ」欄参照
- A・B共通 第一生命ホールロビーコンサート
*詳細はP.37 「〈ロビーコンサート〉②第一生命ホール ロビーコンサート」欄参照
- 受講生の感想
 - ・これまでクラシック音楽は非常に限られた人が聴くもので、自分も学校生活の中の限られた世界で勉強していたが、社会人になりセミナーで勉強してみて、今後自分から発信していくことによってもっとできることがあるのでは?と思うようになった。コンサートホールの演奏会だけでなく、もっと公の場所での演奏や、クラシックに興味のない人に向けても発信していきたい。クラシックに興味のない人でも音楽を聴いたら楽しんでくれるんだということが実感として分かった。
 - ・どう伝えたいかここまで考えて曲に向き合ったのは初めて。
 - ・子どもたちと対話すること、決まったことを台本通りにやるのではなく、子どもたちの中からでてきたものと対話することが大事だと分かった。
- 補助 平成26年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業

(2) アートマネジメントに関する外部講師等

- 目的 トリトンアーツの活動を広く知ってもらおうと共にアートマネジメントに関する現場のノウハウを伝えることを目的に講師等の依頼を受けている。
- 内容
 - ① 11月25日(火)
お茶の水女子大学「NPO法人と文化芸術事業—ボランティアとの取り組みに焦点を当てて」と題して当団体の活動とサポーター活動の課題について講義をした。
 - ② 2015年3月23日(月)
ヨコハマアートサイトラウンジ「参加するアート」と題して当団体のコミュニティ活動をメインにサポーターの活動について話した。

(3) インターンシップ生の受入れ

- **目的** トリトンアーツのノウハウを広く知ってもらおうと共に将来のアートマネジメント人材の育成を目的に、主にアートマネジメントを勉強している大学生のインターンシップを毎年受け入れている。
- **インターンシップ生**
 - ① 昭和音楽大学学生 1名
 - ② 一橋大学大学院生 1名
 - ③ 宇都宮大学学生 1名
- **期間**
 - ① 6月～12月 12日間
 - ② 1月～3月 10日間
 - ③ 10月～3月 9日間
- **内容** ホール公演、ロビーでよちよちコンサート、晴海トリトンスクエアグランドロビーコンサート、アウトリーチなどスタッフの補助をしながらホールとコミュニティの両面からトリトンアーツの活動を知ってもらった。

- **インターン生の実習報告** 6月～12月にわたりインターンシップ生として実習した学生の主な業務・目的と成果は以下の通り。
- 【**主な業務内容**】 第一生命ホール・オープンハウスの準備と当日運営（誘導・受付・楽器体験補助）／小学校アウトリーチの補助等
- 【**目的**】 演奏会やイベントはどのように企画され、どのように準備されるのか、またクラシック演奏会の客層が高齢化しつつあると言われていた現状にどのように対応しているのか、実際の現場で学ぶことを目的とする。また、スタッフとしての配慮や業務も学んでいきたいと思う。
- 【**成果**】 企画と準備にはスタッフだけでなくサポーターの人たちが大きく関わっており、年齢も職種もバラバラな人たちが意見をぶつけ合っているからこそ、どのような客層にも適した公演が出来るということが分かった。客層が高齢化しつつあると言われていた現状に関しては、子育て支援コンサートやオープンハウスなど親子で楽しめるコンサート企画がいくつもあり、親子双方でクラシック音楽を身近に感じられる空間づくりが行われていた。その他小学校アウトリーチやロビーコンサートも多くあった。このような活動がホール公演の集客につながると思う。



仲道郁代 ©大窪道治

広報活動

- 2-1. 新聞・雑誌
- 2-2. トリトンアーツからの情報発信

2

◎ 掲載誌面抜粋 公演に先立っての出演者インタビューや公演後に公演評などが、音楽専門誌、新聞等で紹介されました。

シューマン・クアルテット
 ヴィオラのL・ランドルを除いて、第1回エリック・シューマン以下は兄弟。全体のバランスが中低音域の楽器に偏っているかと思われ、均等な美を誇るハイソンの一作品7615の「ブルゴ」で始め、異色の不均衡、不協和音、4人の優劣がみえ隠せしない中に有名曲の「トリ・ジュー」が明瞭なアイヴスの一瞥で聴き手の頭を混乱させ、休憩後はベートーヴェンの「第14番」Op.131。ハイソンは前半と後半の差別化をはかったか、冒頭の8分の6リズムを殊さら強調。メヌエット楽章の名高いトリオ部分ではチェロが突然、音程をずらして暴走する。アイヴスも最終楽章の途中で第1ヴァイオリンがそれだけ大ヴァイオリンで歌い出したりと、意表を付くこの連続。一転ベートーヴェンは、核部分の第4楽章「アンダンテ」が予報の明るい音色で一貫。意欲満点。アンサンブルも精妙。今後が大いに期待できる4人。(11月30日・第一生命ホール) (渡辺和彦)

音楽の友 2015年1月号より Concert Reviews (文: 渡辺和彦)

三重奏から狂巻の十四重奏までオイロスの醍醐味

◎ オイロス・アンサンブルが10月に第一生命ホールで2年ぶりの演奏会 (写真提供: トリトン・アーツ・ネットワーク)



メンバーの皆さんのコメント (主催者のトリトン・アーツ・ネットワークによる「アーティストインタビュー」より)。

高橋 カステル＝ブラーズの六重奏曲は、僕がドイツにいた時代によく演奏していたもの。軽やかできれいな曲なので、日本でも発表してみよう。

佐久間 フロンメルはオイロスにとって初めての曲。劇的な楽しみがあります。ドヴォルザークのチェロ協奏曲は、高橋さんが藤森さんのためにオイロス用にアレンジしました。

岡本 前回は第2楽章を演奏しましたが、もともと木管楽器とチェロの掛け合いがあり、有名なホルン三重奏があり、まるでオイロスのために書かれたような音楽です。藤森さん、うれしそうに弾いていましたね。



ブラームスのセレナード (オイロス) のステージ、ク・テットデスク03-3532-5702

まずは出演者の顔ぶれ。佐久間由美子fl、広田智之cl、古部賢一cb、池田昭子ob、高橋知己d、三井秀実s、岡本正之fg、水谷上総tg、佐久間大作tb、吉永雅人tr、田場英子hr、富成裕一hr、藤森亮一vc、吉田秀中drの各氏。

曲目は、「フィガロの結婚」序曲で幕開けしたあと、ベートーヴェン「モーツァルトの歌劇ドン・ジョヴァンニ」よりお手をどうぞの主題による変奏曲(三重奏)、カステル＝ブラーズ「管楽六重奏曲第1番」より(六重奏)、ダンディ「シャンソンとダンス」より(七重奏)、フロンメル「管楽組曲」より(八重奏)、そして高橋知己氏が編曲したオーケストラ作品が続き、まずはチェロの藤森亮一氏を独奏者にしてドヴォルザークのチェロ協奏曲より、続いてメンデルスゾーンの変奏曲第3番「スコットランド」より、ブラームスの「ハイソンの主題による変奏曲」と続く。以下はプログラムについて

初合わせのときにすでに主催者の高橋さんが「これ以上速くできない。これ以上小さく吹けないなどの技術的な限界を定めるのをやめました」というオイロス。成熟の度合いを深めると同時に、コンサートでの「一期一会」の演奏を愉める醍醐味も増している。料金はS席4000円、A席3500円、B席2500円、小学生以上25歳以下1500円。問い合わせはトリトン・アーツ・ネットワーク

PIPERS 2014年9月号より News Flash

クアルテット・エクスセルシオ (Quartetto Excelsio) と題し、エクスセルシオがゲストを迎え、室内楽の多彩な構成と可能性を味わおうという演奏会。まずはハイソンの「弦楽四重奏曲第38番(冗談)」から始められる。一見、簡潔とも思える構造の音楽だが、長きを歩む彼らなりの様々な内面を描き出す方向が汲みとれ、含みのある肌理細やかなニュアンスが浮かび上がる。第2楽章スケルツォでの愉快感、第4楽章最後の諧謔性とともにエルクの融合一体をなす重奏の妙味が聴かれた。続いて、シューベルト「ピアノ五重奏曲第3番」。気品漂う表情と彼らの織り成す対話力が移ろいゆく音楽の流れの中に絶妙な旨みを醸す。とりわけ坂本圭太(D)の心ゆく美しい美音が彩り豊かに華を添えた。後半、チャイコフスキー「弦楽六重奏曲(ライレツェエの思い出)」は、柳瀬省太(Vg)、遠藤真理(Vc)らが加わる。その肉厚さを増した複雑な響きからは、「ゴク深い濃密さ」と驚愕を備えたエナジーが溢れ出す。そして、ゲストを引き立てるエルクの親密かつ包容力豊かなフレキシビリティも垣間見た。(3月15日・第一生命ホール) (高山直也)

音楽の友 2015年6月号より Concert Reviews (文: 高山直也)

わたしの深い音楽話

その人が培ってきたものを、フルに生かしてあげたい

あちこちで若手の育成中
 演奏家で教育者、柔軟な思考で音楽に取り組むヴァイオリニストの松原勝也さん。ここ10数年は若手の指導に力を入れている。東京藝術大学の先生で、例えれば東京・神楽坂の第一生命ホールでは若い演奏家のための演奏セミナーを01年から10年間プロデュースし、同志社大学の学生や若手演奏者に自発的に音楽に取り組ませ、11年から「室内ヴァイオリン・リサイタル」を企画中という松原さん。

小学音楽と弦楽クアルテットを結んで、小中高校で演奏し、アンサンブルの聴き方や楽しみ方を子どもたちに伝えることを目指す。なかには「子供たちが聴きたい」とか「一年かかると興味深いプロジェクト」だ。

「面白いことに、食いついてくるが必ずしも学校代はロックやジャズにも開眼。」

も深く興味を抱いているとは聞かない。アクリル板で音が伝わり、こちらがビクビクするような反応を示したりするんです(笑)。来年2月には若手として、夕方6時から仕舞りの人にクラシックの名曲を届けよう。6000人くらい予定。

突き詰ると共有できる
 ヴァイオリンを始めたのは3、4歳の頃から。渡辺まさ子(お母さん)から師事し、小学4年生からは毎年リサイタルも。2時間ほどと先生に言われて、1年生の時からずっと。お母さんが、バグアットの原簿とか、バグニニのコンチェルトをピアノで弾いたり、キックがあったら、たが旺盛な好奇心は衰えることなく、中

「高校では映画を作っていました。監督になりたくて、脚本書いて8ミリで撮って編集して大学に入ってから、他ジャンルの人と演奏や制作するのが楽しくて、フリーにやってみたくなった。もう1人、無声映画に音楽をつけてみたい(笑)。」

これらの経験がやがてプログラムで生かされ、リコー室内楽オーケストラ・ジャズ楽団からのコラボなどへと発展しているのだから、入念に。

「突き詰めてくと共有できるものがある。つまりその人が培ってきたものをフルに生かしてあげたい。学生にも自分でも自分で切り拓いていってほしい。」

――原納暢子

▲CDジャケットの顔も自身体。松原さん編曲、弦楽五重奏のJ.S.バハ「ゴルトベルク変奏曲 BWV988」、演奏は松原勝也(1st.Vn)、山崎真子(2nd.Vn)、柳瀬省太(1st.Vc)、藤原知也(Vo)、吉田秀中(Cb)(WWCC-7724、¥2,700+税)

▲水形画もお見事！ 筆も使うが「指で描いた色画や奥行きを出せるのが面白い。心に浮かんだものを、好きな時間描いています。」絵と音楽のコンサートも開いています。

Vivace 2015年1月号より わたしの深い音楽話 (文: 原納暢子)

2 2-2. トリトンアーツからの情報発信

広報活動

◎ トリトンアーツ通信

vol.133 (9月1日発行) より紙面をリニューアル。

名称を『かわら版』より『トリトンアーツ通信』へ変更しました。

号/発行日	主な記事/インタビュー
vol.129 4月1日発行	<p>Concert!! 日本を代表するプリマドンナによるうたの世界 6/6 (金) 佐藤美枝子ソプラノ・リサイタル</p> <p>Topics 子どもを連れてクラシック ~お子さまとご家族で楽しんでいただける公演をご紹介します!</p> <p>Topics 世界を翔る若き奏斗 指揮者 山田和樹 東京混声合唱団音楽監督就任記念演奏会</p> <p>News 音楽に関わるボランティア、始めませんか?</p> <p>News 受講生募集!! 大人のためのクラシック入門講座 有田菜の「モーツァルトと遊ぼう!!」</p>
vol.130 5月1日発行	<p>Concert!! 期待の若手ピアニスト北村朋幹が、心を開いておくりするアリア (歌) たち 8/7 (木) 北村朋幹ピアノ・リサイタル</p> <p>Topics オイロス・アンサンブル インタビュー</p> <p>News 名手14人による「愛と信頼」のアンサンブル</p> <p>Report オープンハウスがやってくる! サポーター (ボランティア) 大募集</p> <p>Report 晴海トリトンスクエアグランドロビーコンサート「春のひながに」を開催しました。</p>
vol.131 6月1日発行	<p>Concert!! 華やかに、楽しく、心おどる体験! 絵本と音楽のつくりだす豊かなステージ 9/23 (火・祝) 子どもを連れてクラシック~「音楽と絵本」コンサート『おふろだいすき』</p> <p>Topics 古典四重奏団インタビュー</p> <p>News レクチャーでより楽しい、モーツァルトの弦楽四重奏曲</p> <p>News コンサートホールってどんなところ? ~第一生命ホール オープンハウス 2014~</p> <p>News 大好評の1~3歳児向け「ロビーでちよちよコンサート」申込受付開始</p>
vol.132 7月1日発行	<p>Concert!! 興奮指数120%まちがいないの、ハイパーサクセス・ワールド! 10/22 (水) 本田雅人ジャズ・ナイト</p> <p>Topics シューマン・クアルテット インタビュー</p> <p>Topics ドイツ期待の若手ヴァイオリニスト、エリック・シューマン率いる弦楽四重奏団</p> <p>Topics 「東混・八月のまつり」</p> <p>News 今年で35回、第一生命ホールと共に歩んできた歴史</p> <p>News 7月19日(土)いよいよ開催!</p> <p>News 第一生命ホール オープンハウス~コンサートホールで音楽体験~</p>
vol.133 9月1日発行	<p>Interview モーツァルト・ガラ・コンサートインタビュー</p> <p>Interview 世界的ソリストとN響メンバーによる室内オケとの贅沢なひととき</p> <p>Interview クリスマスにぴったりなハンドベルの音色を! 12/10 (水) きりく・ハンドベルアンサンブル</p> <p>Interview 『春』だけではなくヴィヴァルディの名曲「四季」を 2015/2/20 (金) ARCUSの「四季」</p> <p>News 夜のグランドロビーにて、お仕事帰りに楽しむ音楽 9/12 (金) グランドロビーコンサート</p>
vol.134 10月1日発行	<p>Pick up クリスマスにはご家族で生のオーケストラの迫力を! 12/14 (日) 子どもを連れてクラシック~クリスマス・オーケストラ・コンサート</p> <p>Interview 今年の「第九」はピアノ1台でどうぞ!</p> <p>Pick up 12/21 (日) 若林顕 ピアノで聴く「第九」</p> <p>Pick up ミラノ・スカラ座をも熱狂させた、日本の世界的テノール</p> <p>News 11/1 (土) 中島康晴テノール・リサイタル</p> <p>News 1-3歳のお子さまとごいっしょに!!</p> <p>News 11/20 (木) ロビーでちよちよコンサート</p>
vol.135 11月1日発行	<p>Interview デビュー40周年、イザイ、そして千住真理子の魂の叫び 2015/4/31 (土) 千住真理子イザイ無伴奏ヴァイオリン・ソナタ全曲演奏会</p> <p>Interview 弦楽四重奏のみに託されたベートーヴェン最晩年の高貴なるメッセージ 2015/2/14 (土) エルデーディ弦楽四重奏団</p> <p>Interview 和楽器オーケストラで聴く、伊福部の世界 11/29 (土) 日本音楽集団創立50周年 特別記念定期演奏会</p> <p>News ランチタイムにロビーで気軽に楽しむ!!</p> <p>News 11/18 (火) 晴海トリトンスクエアグランドロビーコンサート</p>
vol.136 12月1日発行	<p>Interview 子育てのお父さま、お母さま、そしてお子さまと、それぞれが楽しんでいただけますように...</p> <p>Interview 2015/3/7 (土) 子どもを連れてクラシック~子育て支援コンサート「うきわねこ」</p> <p>Interview ヴァイオリニストが選ぶ大人のためのクラシック 2015/2/18 (水) 630コンサート~充電の60分~</p> <p>Interview びわ湖ホール声楽アンサンブルがおくるパッハの大作「ヨハネ受難曲」 2015/2/11 (水・祝) びわ湖ホール声楽アンサンブル東京公演 vol.7</p> <p>News 大人気! 1-3歳のお子さまとごいっしょに!!</p> <p>News 2015/2/6 (金) 子どもを連れてクラシック~第15回ロビーでちよちよコンサート</p>
vol.137 2015年 2月1日発行	<p>Interview 牧野真由美ワールド炸裂! オペラの名曲で彩られたオリジナル・ストーリー! 2015/3/1 (日) オペラの楽しみ~避暑地で乾杯! 恋のカクテル</p> <p>Interview クアルテット・エクセルシオ結成20周年、豪華ゲストとともに 2015/3/15 (日) クアルテット・エクセルシオ~Quartet+ (プラス)</p> <p>News 2月24日チケット発売、矢野達哉率いる「トリトン晴れた海のオーケストラ」登場!! 『星の音楽さんぽ』はリニューアル、古澤麻、戸田弥生&エルバシヤも発売!!</p> <p>News おかけさまで認定NPO法人になりました!!</p> <p>News 皆さまからの温かいご支援に心より感謝申し上げます。</p>
vol.138 2015年 3月1日発行	<p>News 『星の音楽さんぽ』が90分のお話つきにパワーアップ!</p> <p>News 2015/4/23 (木) 雄大と行く 星の音楽さんは藤原真理「春、咲き誇るチェロ」</p> <p>News 2015-2016 シーズン・ラインナップ発表</p> <p>News 愛好家からご家族連れまで、多くの方にお楽しみいただけますように...</p> <p>News 室内楽アウトリーチセミナー講師と受講生による</p> <p>News 第一生命ホールのロビーを開放してのロビーコンサート</p> <p>News 晴海トリトンスクエア グランドロビーコンサート</p> <p>News モーツァルトの時代の楽器でお届けする18世紀の響き</p>

* トリトンアーツ通信は、トリトンアーツ・ウェブサイトにて、バックナンバーも含めPDF版で公開。

◎ ぶらあぼ

号/発行日	主な記事/インタビュー
5月号 4月18日発行	<p>・オイロス・アンサンブルインタビュー</p> <p>・2年ぶり1名手たちが「愛と信頼」で集まる</p> <p>・北村朋幹 (ピアノ) インタビュー</p>
6月号 5月18日発行	<p>・古典四重奏団 田崎瑞博 (チェロ) インタビュー</p> <p>・レクチャーでより楽しいモーツァルトの弦楽四重奏曲</p>
7月号 6月18日発行	<p>・モーツァルト・ガラ・コンサート 工藤重典 (フルート) 小菅優 (ピアノ) チャールズ・ナイディック (クラリネット) メッセージ</p> <p>・室内楽ホールで贅沢にモーツァルトによる珠玉の協奏曲を</p> <p>・コンサートホールってどんなところ? ~第一生命ホールオープンハウス 2014~</p>
8月号 7月18日発行	<p>・シューマン・クアルテット エリック・シューマン (第1ヴァイオリン) インタビュー</p> <p>・室内楽は、より多彩な音を作る作業が要求されます</p> <p>・子どもを連れてクラシック~「音楽と絵本」コンサート『おふろだいすき』</p> <p>・華やかに、楽しく、心おどる体験! 絵本と音楽のつくりだす豊かなステージ</p>
9月号 8月18日発行	<p>・きりく・ハンドベルアンサンブル 大坪泰子 (主宰) インタビュー</p> <p>・ハンドベル芸術の最高峰 目も耳も楽しいクリスマス</p> <p>・本田雅人 (サクソ) インタビュー</p>
10月号 9月18日発行	<p>・千住真理子 (ヴァイオリン) インタビュー</p> <p>・デビュー40周年 イザイ、そして千住真理子の魂の叫び</p>
11月号 10月18日発行	<p>・若林顕 (ピアノ) インタビュー</p> <p>・今年の「第九」はピアノ1台でどうぞ!</p> <p>・子どもを連れてクラシック~クリスマス・オーケストラ・コンサート</p> <p>・クリスマスにはご家族で生のオーケストラの迫力を!</p>
12月号 11月18日発行	<p>・エルデーディ弦楽四重奏団 彌生克郷 (第1ヴァイオリン) インタビュー</p> <p>・「第九」以降の、深遠なるベートーヴェンの世界</p> <p>・ARCUS (アルクス) 松田拓之 (ヴァイオリン) インタビュー</p>
1月号 12月18日発行	<p>・松原勝也 (ヴァイオリン) インタビュー</p> <p>・「シャコンヌ」から、「スプリング・ソナタ」そしてアンサンブルでの「弦楽セレナード」まで</p> <p>・子どもを連れてクラシック~子育て支援コンサート「うきわねこ」</p> <p>・スクリーンで見る絵本に生演奏が重なる素敵な体験も</p>
2月号 2015年 1月18日発行	<p>・オペラの楽しみ 牧野真由美 (メゾソプラノ) インタビュー</p> <p>・オペラ作品の「いいところ」。名曲の数々が恋模様を華やかに彩る。</p> <p>・630コンサート~充電の60分~ヴァイオリニストが選ぶ大人のためのクラシック</p> <p>・活躍が期待される若手演奏家たちによる情熱の弦楽セレナード</p>
3月号 2015年 2月18日発行	<p>・クアルテット・エクセルシオ (弦楽四重奏) インタビュー</p> <p>・20周年の最後を飾る祭典「クアルテット+ (プラス)」</p>
4月号 2015年 3月18日発行	<p>・古澤麻 (ヴァイオリン) インタビュー</p> <p>・室内楽ホールでの「生」ヴァイオリンの夜</p> <p>・チェロってこんなに愛おしい! 藤原真理「春、咲き誇るチェロ」</p>

ぶらあぼ



トリトンアーツ通信

【リニューアル前】



【リニューアル後】



◎ ウェブでの紹介

ウェブサイトでの情報発信は能動的ではあるものの、多くの情報が掲載でき、写真、動画、他社のウェブサイトへのリンク貼り付けなど、さまざまな可能性があり、以下のような試みを実施した。

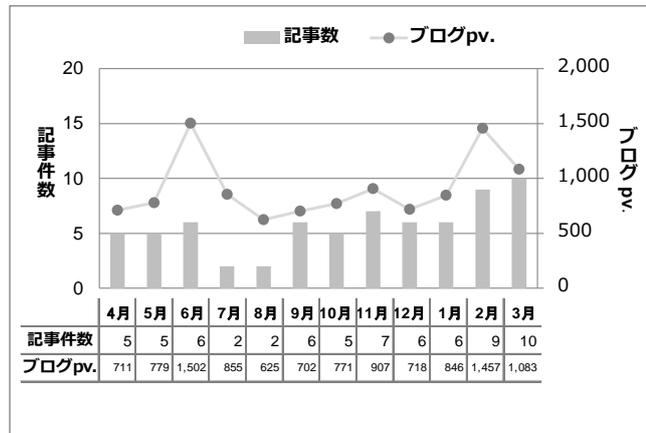
- 公演紹介ページに視聴音源リンクの貼り付け
- コミュニティ活動紹介ページに、活動終了後にレポートの公開 (2014年度コミュニティ活動レポート 24件 (2015年6月現在))
- ブログを定期的に発信 (2014年9月より、担当を決めて毎週1件以上のブログ更新を実施)
- ブログで連載形式で情報を発信
- 動画の活用 (今年度は、ブログにて過去の映像や、出演者のフェイスブックの画像を公開)

● コミュニティ活動レポート



● ブログ発信状況およびブログの内容

・月別ブログ記事数およびブログ pv。(ページビュー)



・ブログカテゴリー別記事数 (複数カテゴリにまたがる記事あり)

カテゴリー	記事数 (件)
公演活動	48 (うち動画 2)
コミュニティ活動	16
スタッフだより	5
事務局よりお知らせ	10 (うち動画 1)

・スタッフ BLOG





ロビーでよちよちコンサート ©藤本史昭

組織運営・財政決算・定款

3-1. 役員・職員・評価委員・特別会員・寄付者・正会員

3-2. 総会・理事会・運営会議・企画分科会

3-3. 財政決算

3-4. 定款

3

3

3-1. 役員・職員・評価委員・特別会員・寄付者・正会員

組織運営・財政決算・定款

① 役員・職員

(2015年4月始現在)

理事長	長浜力雄
理事	藤田正厚 倉林京子 岩間陽一郎 谷本良平 阪本要一 奥谷直也 池田浩之
監事	永山妙子 入江将司
事務局長	植田寛
事務局次長	大平和代
ディレクター	田中玲子
職員	櫻井あゆみ 黒澤洋子 宮崎友紀子 高田美弥子 杉野直博

② 評価委員 (2014年度)

委員長	田中敬文	東京学芸大学教育学 准教授
委員	内田秋	公益社団法人企業メセナ協議会 シニア・プログラム・オフィサー
委員	大久保広晴	公益財団法人読売日本交響楽団 事業制作部制作課主任
委員	並河恵美子	NPO芸術資源開発機構 (ARDA) 代表理事
委員	町田一雅	中央区文化・国際交流振興協会 事務局次長

(五十音順)

③ 特別会員 (法人会員) 45社

(2015年4月始現在)

<エステルハージ・サークル会員>

アサヒグループホールディングス株式会社
SMBC日興証券株式会社
株式会社NTTデータ
鹿島建設株式会社
キャノン株式会社
JPモルガン証券株式会社
シティグループ証券株式会社
清水建設株式会社
住友商事株式会社

損害保険ジャパン日本興亜株式会社
第一生命情報システム株式会社
第一生命保険株式会社
株式会社第一ビルディング
第一フロンティア生命保険株式会社
大和証券株式会社
株式会社竹中工務店
ドイツ銀行グループ
野村證券株式会社

BNPパリバ・グループ
みずほ証券株式会社
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社
メリルリンチ日本証券株式会社
モルガン・スタンレーMUFJ証券株式会社
(他匿名4社)
27社 五十音順

<ラズモフスキー・サークル会員>

アフラック(アメリカンファミリー生命保険会社)
株式会社大林組
株式会社関電工
興銀リース株式会社
資産管理サービス信託銀行株式会社
相互住宅株式会社
DIAMアセットマネジメント株式会社

第一生命カードサービス株式会社
第一リース株式会社
大成建設株式会社
大日本印刷株式会社
東洋埠頭株式会社
日本建設株式会社
日本物産株式会社

野村アセットマネジメント株式会社
株式会社ビデオプロモーション
株式会社みずほ銀行
株式会社三菱東京UFJ銀行
18社 五十音順

④ 寄付者 207名

(2015年4月始現在)

赤岸幸久	稲葉孝宏	加瀬豊	小澤圭司	須賀田えり子	田中千秋	野村英治	丸野孝一	山本恵子
浅野友靖	今井房江	勝本裕	小柴周一	鈴木慎一	田中互	野元克彦	三木隆二郎	湯沢知之
安部洋子	岩田哲也	加藤桂子	近藤総一	薄田克彦	津田高志	浜野貞夫	瑞岩英幸	横田敏実
荒井孝継	上田公己	金澤洋	斎藤勝利	関本順子	手塚義博	樋口英樹	皆川雅紀	吉田久子
荒井一浩	上野啓	神村武男	齋藤健治	齋藤俊彦	齋藤雄	菱田真	菱田真	吉田昌史
荒川祐子	江崎正志	加茂文治	齋藤徳彦	高崎泰典	友重淳二	平石淳	宮崎敦志	吉田美智子
安斉洋一	榎並重人	川崎真一郎	阪上美穂	高野茂徳	伴野亮	平本洋	宮田芳文	吉田義隆
壹岐浩一	大磯公男	川島健資	佐賀奈穂	高野由美子	内藤学	廣瀬千春	宮原健祐	リコー社会貢献クラブ
池田真一	岡野利行	川島貴志	阪本要一	高橋敦	中井理恵	吹野浩久	茂木有司	植田和孝
池田浩之	岡本佳子	木本恭子	櫻井謙二	高橋千恵子	中谷行道	藤中将樹	森岡靖夫	和田健志
生駒尚樹	奥谷直也	桐生清人	櫻井敏行	高橋義哉	長野二朗	藤野正昭	森ケ山和久	渡辺克久
石井一真	奥本洋三	久保克文	櫻井雅仁	山口城	長野洋	細島芳	森田富治郎	渡辺光一郎
石田充宏	小野耕司	熊谷正百實	佐々木光子	竹島健二	長濱守信	堀尾則光	矢島良司	(他匿名59名)
泉善二	小原一泰	久米信介	佐藤智	武富正夫	長浜力雄	松井秀文	安井喜重	五十音順
磯部雄哉	貝賀直樹	久米保則	地主道夫	立花淳	永山篤史	松岡公	柳原隆司	敬称略
市川哲夫	鏡味徳房	黒河龍司	下釜光滋	立石真	南部雅実	松本恒夫	山口隆司	合計 207名
稲垣精二	榎本浩一	黒河内雅夫	庄子治	田中明夫	野口芳江	摩尼貴晴	山下真史	

- | | | | | | | | | |
|-------|--------|--------|-------|--------|-------|-------|-------|---------|
| 秋鹿武志 | 稲葉孝宏 | 小島秀之 | 黒田実代 | 下田昌敬 | 田中千秋 | 成田元男 | 藤中章三 | 守口光徳 |
| 粟生田宏 | 猪股慶子 | 小島優子 | 黒主慎享 | 下村英一郎 | 田中将之 | 成瀬忠 | 藤中浩子 | 森下敦 |
| 青柳明男 | 今井房江 | 小美野真知子 | 校校秀一 | 朱祐子 | 田中亮一 | 名和孝 | 藤巻恵美子 | 森田敦 |
| 赤木純二郎 | 今泉典彦 | 加賀司 | 小泉哲司 | 城後和也 | 田中互 | 藤原裕子 | 藤原正邦 | 安江大輔 |
| 秋元滝範 | 今枝真寿 | 角谷晃 | 河野博 | 庄子浩 | 田邊陽一 | 南部雅美 | 古川紘一 | 森田弘子 |
| 秋本信幸 | 今野照雄 | 掛川さおり | 郷正明 | 城山潤一郎 | 谷元雄 | 新倉聖子 | 古村謙 | 森田弘志 |
| 秋吉満澄 | 今野みち子 | 影山憲之 | 古賀宗徳 | 新宮広之 | 谷口正吾 | 新村健 | 坊垣内広樹 | 矢島良司 |
| 阿久沢優 | 入江将司 | 榎本浩一 | 小澤圭司 | 新庄裕三 | 谷本良平 | 新村浩 | 坊農明彦 | 矢代瑛 |
| 浅田哲朗 | 入部衛 | 梶原賢二 | 小柴周一 | 新山行江 | 田原正 | 西尾信一 | 細川隆夫 | 安田敏朗 |
| 浅野知彦 | 岩井泰雅 | 加瀬豊 | 小嶋厚 | 須賀田えり子 | 多良久久 | 西尾仁 | 堀恒彰 | 安田頼明 |
| 浅野友靖 | 岩田哲也 | 片岡俊郎 | 小谷隆之 | 菅野優 | 近岡雅之 | 西岡豪 | 堀麗子 | 八木淳 |
| 旭聖太 | 岩淵康哉 | 片岡佳彦 | 児玉貴紀 | 菅原功 | 竹馬泰一 | 西川重樹 | 堀江典夫 | 梁井正雄 |
| 朝比奈洋 | 岩間千織 | 片山和弘 | 小林敦子 | 杉山彰 | 樽木真理 | 西崎真三 | 堀尾則光 | 柳澤勝義 |
| 芦川裕史 | 岩間陽一郎 | 勝倉賢一 | 小林諭子 | 杉山未帆 | 塚越朋夫 | 西端雄一 | 本田充也 | 柳原隆司 |
| 芦田至 | 植田寛 | 勝村宣子 | 小林浩幸 | 鈴木毓夫 | 塚越皓子 | 西山隆 | 前田道治 | 山口栄子 |
| 東寿子 | 上田真 | 勝本裕 | 小林誠仁 | 鈴木君子 | 辻雅夫 | 二瓶統 | 前田幸雄 | 山口隆司 |
| 阿部修士 | 上野啓 | 加藤桂子 | 小林万有美 | 鈴木和昭 | 津田高志 | 二瓶文隆 | 牧山輝郎 | 山口仁史 |
| 安部洋子 | 上村昌子 | 加藤聡 | 小林優子 | 鈴木久和 | 土田慎一 | 丹羽浩範 | 正井義隆 | 山口良司 |
| 阿部倉武 | 笛吹敏則 | 加藤大典 | 小吹達哉 | 鈴木久和 | 土田麻利子 | 野口亨 | 麻崎秀人 | 山口隆司 |
| 網屋裕二 | 宇田川宙 | 門倉宏 | 小堀徹 | 鈴木広樹 | 土本剛大 | 野口恵子 | 増田勇 | 山口隆司 |
| 鮎沢慎一 | 内木場信篤 | 門倉由利江 | 五味信子 | 鈴木通之 | 土屋潔 | 野口芳江 | 榎永慎一郎 | 山下真史 |
| 荒井一浩 | 内田智 | 金井洋 | 小山正之 | 須藤光隆 | 土屋昌浩 | 野田成男 | 町田宏子 | 山田仁 |
| 新井久雄 | 内田高弘 | 金澤洋 | 小和田滋 | 砂田智行 | 筒井利男 | 野田稔 | 町田充子 | 山田真樹生 |
| 荒川敬子 | 内野弘一 | 金多賀淑久 | 今雅 | 清野佐重子 | 関口慎太郎 | 野村英治 | 町田瑞穂 | 山田弘美 |
| 荒川祐子 | 宇都宮吉弥 | 要俊也 | 近藤邦夫 | 関口慎太郎 | 関根淳 | 野村幸弘 | 野元克彦 | 山田衛 |
| 荒銭恵子 | 有働洋 | 金谷尚子 | 近藤総一 | 関根淳 | 関根勉 | 野元克彦 | 芳賀幸子 | 山根康史 |
| 有可春樹 | 宇野雅仁 | 金山毅 | 近藤美樹子 | 関根勉 | 関本順子 | 橋爪浩 | 露木繁夫 | 山本敦史 |
| 安齊洋一 | 梅垣春記 | 金子弘貴 | 齋藤勝利 | 関本順子 | 関義則 | 橋爪美千代 | 露木智子 | 山本恵子 |
| 安藤仁 | 梅垣雅子 | 金塚忍 | 齋藤喜美子 | 関義則 | 瀬口二郎 | 蓮見金夫 | 寺島司 | 山本辰三郎 |
| 安藤幸恵 | 瓜生宗大 | 加納岳 | 齋藤健治 | 瀬口二郎 | 銭谷美幸 | 摩尼貴晴 | 寺島司 | 山本龍一 |
| 飯島一彦 | 江崎正志 | 壁谷英雄 | 齋藤茂子 | 曾我之雄 | 曾我之雄 | 畑中秀夫 | 畑野宏 | 指敏敬彦 |
| 飯島浩明 | 江崎直之 | 鎌田進 | 齋藤裕二 | 曾田稔 | 曾田稔 | 畑野宏 | 服部雅幸 | 横井幸夫 |
| 飯田修 | 餌取寛大 | 加茂文治 | 酒井雅士 | 曾田稔 | 曾田稔 | 丸尾直美 | 花柳あらた | 横田敏夫 |
| 飯田吉宣 | 榎並重人 | 加茂儀子 | 酒井雅士 | 曾田稔 | 曾田稔 | 丸野和美 | 馬場弘一 | 横田光 |
| 飯高品 | 海老根美枝子 | 川口綾子 | 阪上美穂 | 曾山孝一 | 平泰良 | 丸山榮作 | 羽原利尚 | 横道文司 |
| 飯塚菊雄 | 江間洋介 | 川口利春 | 坂口寛 | 平泰良 | 高井啓明 | 三浦孝正 | 濱田崇 | 横谷英之 |
| 飯塚健一 | 江見正基 | 川崎真一郎 | 坂下耕治 | 高井啓明 | 高木秀美 | 三浦正乃 | 濱本久美子 | 横山伸 |
| 五十嵐信一 | 遠藤浩之 | 川嶋一弘 | 佐賀奈穂 | 高木伸一 | 高崎章 | 三浦正乃 | 濱本久子 | 横山昌明 |
| 井川満也 | 大磯公男 | 川島貴志 | 阪本要一 | 高崎章 | 高崎章 | 三浦正乃 | 濱本久子 | 吉沢哲生 |
| 吉岐浩一 | 大久保欣也 | 河添祐司 | 佐久間啓 | 高崎章 | 高崎章 | 三浦正乃 | 濱本久子 | 吉沢裕子 |
| 池上茂樹 | 大澤直之 | 河谷善夫 | 櫻井建 | 高崎章 | 高崎章 | 三浦正乃 | 濱本久子 | 吉田恵美子 |
| 池田裕史 | 太田せつ子 | 川原浩策 | 櫻井謙二 | 高崎章 | 高崎章 | 三浦正乃 | 濱本久子 | 吉田和夫 |
| 池田浩之 | 太田仁 | 河原光博 | 櫻井敏行 | 高崎章 | 高崎章 | 三浦正乃 | 濱本久子 | 吉田浩一郎 |
| 生駒尚樹 | 太田宏 | 川村哲夫 | 櫻井裕大 | 高崎章 | 高崎章 | 三浦正乃 | 濱本久子 | 吉田聡 |
| 井阪昌司 | 太田陽子 | 神田久 | 櫻井雅仁 | 高崎章 | 高崎章 | 三浦正乃 | 濱本久子 | 吉田郷 |
| 石井一真 | 大竹浩介 | 菊池憲也 | 櫻井磨理子 | 高崎章 | 高崎章 | 三浦正乃 | 濱本久子 | 吉田保 |
| 石井登 | 大坪昌平 | 木口英樹 | 佐々木光子 | 高崎章 | 高崎章 | 三浦正乃 | 濱本久子 | 吉田久子 |
| 石井範昭 | 大場孝浩 | 北尾由布子 | 佐藤公博 | 高崎章 | 高崎章 | 三浦正乃 | 濱本久子 | 吉田昌史 |
| 石井美麗 | 大場実 | 北村国芳 | 佐藤紘一 | 高崎章 | 高崎章 | 三浦正乃 | 濱本久子 | 吉野充宏 |
| 石黒三男 | 大平和代 | 木下成一 | 佐藤智 | 高崎章 | 高崎章 | 三浦正乃 | 濱本久子 | 米倉嘉次 |
| 石田充宏 | 大家一穂 | 木下尚子 | 佐藤雅美 | 高崎章 | 高崎章 | 三浦正乃 | 濱本久子 | 米村由紀 |
| 石塚幸徳 | 大屋延興 | 君島由子 | 佐藤三子子 | 高崎章 | 高崎章 | 三浦正乃 | 濱本久子 | 笠直樹 |
| 石野亜希子 | 岡垣晃 | 木村和敬 | 沢田博 | 高崎章 | 高崎章 | 三浦正乃 | 濱本久子 | 植田和孝 |
| 石丸住雄 | 岡田陽一郎 | 木村正和 | 塩野勝紀 | 高崎章 | 高崎章 | 三浦正乃 | 濱本久子 | 渡辺克久 |
| 石嶺幸男 | 岡本一郎 | 木元則子 | 四釜教次 | 高崎章 | 高崎章 | 三浦正乃 | 濱本久子 | 渡邊奈緒美 |
| 泉善二 | 岡本敬三 | 清原健二 | 鹿森毅 | 高崎章 | 高崎章 | 三浦正乃 | 濱本久子 | 渡邊泰子 |
| 五十君興 | 岡本佳子 | 桐生清人 | 重本和之 | 高崎章 | 高崎章 | 三浦正乃 | 濱本久子 | 渡辺和 |
| 磯崎博貴 | 岡本譲治 | 金田一章浩 | 信濃裕美 | 高崎章 | 高崎章 | 三浦正乃 | 濱本久子 | 和山正則 |
| 伊田和浩 | 小川伊知郎 | 草水美子 | 国井保博 | 高崎章 | 高崎章 | 三浦正乃 | 濱本久子 | (他匿名1名) |
| 板橋清 | 小川博康 | 奥田春光 | 久保克文 | 高崎章 | 高崎章 | 三浦正乃 | 濱本久子 | 五十音順 |
| 板谷健司 | 奥田直也 | 窪田泰彦 | 窪谷正百實 | 高崎章 | 高崎章 | 三浦正乃 | 濱本久子 | 敬称略 |
| 依知川明美 | 奥田隆夫 | 尾崎太一 | 御調祥正 | 高崎章 | 高崎章 | 三浦正乃 | 濱本久子 | 合計 655名 |
| 市川哲夫 | 奥田隆夫 | 尾崎太一 | 御調祥正 | 高崎章 | 高崎章 | 三浦正乃 | 濱本久子 | |
| 一ノ瀬昭一 | 奥田隆夫 | 尾崎太一 | 御調祥正 | 高崎章 | 高崎章 | 三浦正乃 | 濱本久子 | |
| 一宮正寿 | 奥田隆夫 | 尾崎太一 | 御調祥正 | 高崎章 | 高崎章 | 三浦正乃 | 濱本久子 | |
| 伊藤恵理 | 奥田隆夫 | 尾崎太一 | 御調祥正 | 高崎章 | 高崎章 | 三浦正乃 | 濱本久子 | |
| 伊藤和子 | 奥田隆夫 | 尾崎太一 | 御調祥正 | 高崎章 | 高崎章 | 三浦正乃 | 濱本久子 | |
| 伊藤直紀 | 奥田隆夫 | 尾崎太一 | 御調祥正 | 高崎章 | 高崎章 | 三浦正乃 | 濱本久子 | |
| 伊藤直文 | 奥田隆夫 | 尾崎太一 | 御調祥正 | 高崎章 | 高崎章 | 三浦正乃 | 濱本久子 | |
| 伊藤浩樹 | 奥田隆夫 | 尾崎太一 | 御調祥正 | 高崎章 | 高崎章 | 三浦正乃 | 濱本久子 | |
| 伊藤らん子 | 奥田隆夫 | 尾崎太一 | 御調祥正 | 高崎章 | 高崎章 | 三浦正乃 | 濱本久子 | |
| 糸川輝 | 奥田隆夫 | 尾崎太一 | 御調祥正 | 高崎章 | 高崎章 | 三浦正乃 | 濱本久子 | |
| 糸長文秀 | 奥田隆夫 | 尾崎太一 | 御調祥正 | 高崎章 | 高崎章 | 三浦正乃 | 濱本久子 | |
| 稲垣精二 | 奥田隆夫 | 尾崎太一 | 御調祥正 | 高崎章 | 高崎章 | 三浦正乃 | 濱本久子 | |

3

3-2. 総会・理事会・運営会議・企画分科会

組織運営・財政決算・定款

① 総会

■ 2014年通常総会（2014年6月26日）

【審議事項】

- 第1号議案 2013年度事業報告及び収支決算の件
 第2号議案 役員選任の件
 理事任期満了 三木隆二郎 理事新任 池田浩之 他7名再任
 監事追加新任1名 入江将司 他監事1名再任
 第3号議案 役員報酬規程の件
 役員報酬は無報酬である規程
 以上が審議され賛成多数で可決された。

② 理事会

■ 第59回（2014年5月26日）

【審議事項】

- 2013年通常総会議決事項
 第1号議案 2013年度事業報告及び収支決算の件
 第2号議案 役員選任の件
 理事任期満了1名、理事新任1名、他7名再任
 監事追加1名 他1名再任
 第3号議案 役員報酬規程の件
 以上が審議され全員異議なく承認された。

【報告事項】

- ・2013年度評価報告（評価委員会片山委員長）
- ・2013年度業務計画結果および顧客分析、2014年度業務計画、
- ・活動状況定例報告（以降の理事会報告事項記載略）
 主催・共催公演販売・入場、コミュニティ活動、ファンドレイジング、貸しホール公演等

■ 第60回（2014年6月26日）

【審議事項】

- ・理事長選任の件
 が理事の互選により、理事長に長浜理事が選任決定された。

【報告事項】

無し

■ 第61回（2014年9月18日）

【審議事項】

無し

【報告事項】

- ・予算執行状況 ・トリトンアーツ通信リニューアル ・活動定例報告

■ 第62回（2014年12月11日）

【審議事項】

無し

【報告事項】

- ・認定NPOの認定 ・予算執行状況 ・2015年度公演概要
- ・職員退職金制度導入 ・第5期評価委員 ・活動定例報告

■ 第63回（2015年3月12日）

【審議事項】

- ・2015年度予算
 が審議のうえ全員異議なく承認された。

【報告事項】

- ・予算執行状況 ・2015年度公演 ・2015年度総会、理事会日程
- ・文化庁27年度審査結果 ・活動定例報告

③ 運営会議

*参加者

- 第一生命 DSR 推進室課長
- 第一生命経済研究所研究員
- 第一生命ホール支配人
- トリトンアーツ・ディレクター、事務局長

【報告・検討事項】

- ・理事会、総会審議事項
- ・予算執行状況
- ・第一生命との連携事項
- ・活動状況定例報告
 主催・共催公演販売・入場状況、公演振返り、コミュニティ活動、web閲覧、ファンドレイジング、公演顧客分析、貸ホール公演等

第157回	2014年4月15日
第158回	2014年5月13日
第159回	2014年6月10日
第160回	2014年7月15日
第161回	2014年9月16日
第162回	2014年10月16日
第163回	2014年11月13日
第164回	2014年12月9日
第165回	2015年1月13日
第166回	2015年2月10日
第167回	2015年3月10日

④ 企画分科会

*参加者 トリトンアーツ スタッフ全員

第140回 2014年4月8日から

第150回 2015年3月3日まで 11回開催。

- ・主催・共催コンサート、コミュニティ活動の企画・実行（Plan Do）および事業の振り返り・改善（Check Action）の検討。
- ・各種進捗、諸課題検討（広報宣伝、公演販売状況、ファンドレイジング状況、サポーター活動状況等）およびスタッフ間の情報連携。

平成26年度活動計算書 (平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)

特定非営利活動法人
トリトン・アーツ・ネットワーク
(単位：円)

科 目	金 額	
I 経常収益		
1 受 取 会 費		
正会員受取会費	6,650,000	
特別会員(法人会員)受取会費	21,900,000	28,550,000
2 受 取 寄 付 金		
受取寄付金		47,637,720
3 受 取 助 成 金 等		
受取民間助成金	2,500,000	
受取国庫補助金	9,107,000	11,607,000
4 事 業 収 益		
チケット売上高	24,350,952	
企画料収入	216,000	
販売受取手数料	258,164	
かわら版掲載料	1,036,800	25,861,916
5 その 他 収 益		
受取利息	13,922	
雑収入	2,859,188	2,873,110
経 常 収 入 計		116,529,746
II 経常費用		
1 事 業 費		
(1) 人件費		
給料手当等	29,657,326	
通勤交通費	1,568,960	
法定福利費	4,505,814	
福利厚生費	103,558	
退職給付費用	2,055,388	
人 件 費 計	37,891,046	
(2) その他経費		
公演制作費	44,278,937	
地域活動制作	6,558,449	
評価システム	928,771	
サポーター	765,392	
業務委託料	1,424,700	
外注印刷費	461,334	
広告宣伝費	7,506,554	
ホームページ	148,579	
チケットシステム手数料	991,577	
通信費	644,132	
社用外出交通費	39,695	
交際費	38,477	
諸会費	88,466	
備品消耗品費	1,132,798	
支払手数料	195,992	
水道光熱費	39,080	
地代家賃	2,999,470	
賃借料	227,203	
租税公課	28,500	
雑費	1,092	
その他経費計	68,499,198	
事 業 費 計		106,390,244
2 管 理 費		
(1) 人件費		
給料手当等	6,960,000	
法定福利費	97,405	
福利厚生費	29,550	
人 件 費 計	7,086,955	
(2) その他経費		
顧問料	1,366,440	
外注印刷費	131,640	
ホームページ	42,397	
通信費	183,801	
社用外出交通費	11,327	
交際費	276,181	
会議費	11,526	
諸会費	25,244	
備品消耗品費	323,240	
支払手数料	55,926	
水道光熱費	11,152	
地代家賃	855,890	
賃借料	64,832	
租税公課	1,013,421	
減価償却費	1,309,344	
雑費	312	
その他経費計	5,682,673	
管 理 費 計		12,769,628
経 常 費 用 計		119,159,872
当期経常増減額		-2,630,126
III 経常外収益		
経 常 外 収 益 計		0
IV 経常外費用		
経 常 外 費 用 計		0
当期正味財産増減額		-2,630,126
前期繰越正味財産額		50,816,958
次期繰越正味財産額		48,186,832

平成 26 年度 貸借対照表

(平成 27 年 3 月 31 日現在)

特定非営利活動法人
トリトン・アーツ・ネットワーク
(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	46,024,720	47,919,364	-1,894,644
貯蔵品	848,451	961,300	-112,849
未収入金	9,252,694	8,930,789	321,905
前払費用	113,400	0	113,400
流動資産合計	56,239,265	57,811,453	-1,572,188
2 固定資産			
(1) 基本財産			
リース資産	475,014	975,858	-500,844
基本財産合計	475,014	975,858	-500,844
(2) その他固定資産			
ソフトウェア	673,750	1,482,250	-808,500
固定資産合計	1,148,764	2,458,108	-1,309,344
資産合計	57,388,029	60,269,561	-2,881,532
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	2,276,913	2,041,897	235,016
未払消費税	940,600	165,900	774,700
預り金	273,761	151,068	122,693
前受金	3,388,725	5,364,300	-1,975,575
流動負債合計	6,879,999	7,723,165	-843,166
2 固定負債			
長期未払金	973,330	1,729,438	-756,108
退職給与引当金	1,347,868	0	1,347,868
固定負債合計	2,321,198	1,729,438	591,760
負債合計	9,201,197	9,452,603	-251,406
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産	50,816,958	50,454,834	362,124
当期正味財産増減額	-2,630,126	362,124	-2,992,250
正味財産合計	48,186,832	50,816,958	-2,630,126
負債及び正味財産合計	57,388,029	60,269,561	-2,881,532

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準によっています。

同基準では、特定非営利活動促進法第28条第1項の収支計算書を活動計算書と呼んでいます。

(1) 固定資産の減価償却の方法

定額法によっています。

但し、取得価額30万円未満の資産については即時償却を採用しております。

(2) 消費税等の会計処理

税込経理を採用しております。

2. 事業別損益の状況はP.56の通り

3. 用途等が制約された寄付金等の内訳

用途等が制約された寄付金等の内訳（正味財産の増減及び残高の状況）は以下の通りです。

当法人の正味財産は48,186,832円で、そのうち用途が制約されている寄付金等の残高はありません。

(単位：円)

内 容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高
公演事業（ミロ・クアルテット）寄付金	0	90,720	90,720	0
公演事業（嵐の音楽さんぽシリーズ）協賛金	0	2,500,000	2,500,000	0
公演事業（ライフサイクルコンサート）補助金	0	6,903,000	6,903,000	0
公演事業（養父チェロ視察交通費）補助金	0	4,000	4,000	0
コミュニティ事業 寄付金	0	300,000	300,000	0
コミュニティ事業（中央区アウトリーチ）補助金	0	700,000	700,000	0
コミュニティ事業（中央区・江東区アウトリーチ・室内楽アウトリーチセミナー）補助金	0	1,500,000	1,500,000	0
合 計	0	11,997,720	11,997,720	0

4. 固定資産の増減内訳

(単位：円)

科 目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有 形 固 定 資 産						
リ ー ス 資 産	2,504,220	0	0	2,504,220	2,029,206	475,014
無 形 固 定 資 産						
ソ フ ト ウ ェ ア ー	4,042,500	0	0	4,042,500	3,368,750	673,750
合計	6,546,720	0	0	6,546,720	5,397,956	1,148,764

5. 担保に供している財産又は、支払を保証している債務はありません。

6. 役員及びその近親者との取引内容

取引はありません。

7. 事業費及び管理費の按分方法

共通する経費のうち下記の費用については従事割合に基づき按分しています。

- ・ 法定福利費
- ・ 福利厚生費
- ・ 外注印刷費
- ・ ホームページ
- ・ 通信費
- ・ 社用外出交通費
- ・ 諸会費
- ・ 備品消耗品費
- ・ 支払手数料
- ・ 水道光熱費
- ・ 地代家賃
- ・ 賃借料
- ・ 雑費

平成26年度財産目録

(平成27年3月31日現在)

特定非営利活動法人
トリトン・アーツ・ネットワーク
(単位：円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
現金	0		
普通預金 三菱東京UFJ銀行	31,930,730		
郵便貯金口座	3,823,615		
郵便振替口座	270,375		
定期預金 三菱東京UFJ銀行	10,000,000		
貯蔵品 封筒他	848,451		
未収入金 チケット代他	9,252,694		
前払費用	113,400		
流動資産合計		56,239,265	
2 固定資産			
リース資産	475,014		
ソフトウェア	673,750		
固定資産合計		1,148,764	
資産合計			57,388,029
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金 事業費・管理費の未払い	2,276,913		
未払消費税 H26年確定分	940,600		
預り金 源泉所得税	273,761		
前受金 平成27年4月以降公演分他	3,388,725		
流動負債合計		6,879,999	
2 固定負債			
長期未払金 リース資産	973,330		
退職給与引当金	1,347,868		
固定負債合計		2,321,198	
負債合計			9,201,197
正味財産			48,186,832

事業別損益

特定非営利活動法人
トリトン・アーツ・ネットワーク
(単位：円)

科目	事業部門内訳				事業部門計①	管理部門②	合計①+②
	公演事業	コミュニティ事業	文化ボランティア拠点づくり事業	評価事業			
I 経常収益							
1 受取会費					0	28,550,000	28,550,000
2 受取寄付金	90,720	300,000			390,720	47,247,000	47,637,720
3 受取助成金等	9,407,000	2,200,000			11,607,000		11,607,000
4 事業収益	25,700,255	161,661			25,861,916		25,861,916
5 その他収益	240,880	2,483,660	131,892		2,856,432	16,678	2,873,110
経常収益計	35,438,855	5,145,321	131,892	0	40,716,068	75,813,678	116,529,746
II 経常費用							
(1) 人件費							
給料手当	25,033,067	4,624,259			29,657,326	6,960,000	36,617,326
通勤交通費	1,324,320	244,640			1,568,960		1,568,960
法定福利費	3,803,245	702,569			4,505,814	97,405	4,603,219
福利厚生費	87,411	16,147			103,558	29,550	133,108
退職給付費用	1,734,902	320,486			2,055,388		2,055,388
人件費合計	31,982,944	5,908,102	0	0	37,891,046	7,086,955	44,978,001
(2) その他経費							
公演制作費	44,278,937				44,278,937		44,278,937
地域活動制作費		6,558,449			6,558,449		6,558,449
評価システム				928,771	928,771		928,771
サポーター			765,392		765,392		765,392
業務委託料	1,424,700				1,424,700		1,424,700
顧問料					0	1,366,440	1,366,440
外注印刷費	389,401	71,933			461,334	131,640	592,974
広告宣伝費	6,336,110	1,170,444			7,506,554		7,506,554
ホームページ	125,412	23,167			148,579	42,397	190,976
チケットシステム手数料	991,577				991,577		991,577
通信費	543,697	100,435			644,132	183,801	827,933
社用外出交通費	33,506	6,189			39,695	11,327	51,022
会議費					0	11,526	11,526
交際費	32,478	5,999			38,477	276,181	314,658
諸会費	74,672	13,794			88,466	25,244	113,710
備品消耗品費	956,169	176,629			1,132,798	323,240	1,456,038
支払手数料	165,432	30,560			195,992	55,926	251,918
水道光熱費	32,987	6,093			39,080	11,152	50,232
地代家賃	2,531,784	467,686			2,999,470	855,890	3,855,360
賃借料	191,777	35,426			227,203	64,832	292,035
租税公課	24,056	4,444			28,500	1,013,421	1,041,921
雑費	922	170			1,092	312	1,404
減価償却費					0	1,309,344	1,309,344
その他経費計	58,133,615	8,671,420	765,392	928,771	68,499,198	5,682,673	74,181,871
経常費用計	90,116,559	14,579,522	765,392	928,771	106,390,244	12,769,628	119,159,872

特定非営利活動法人トリトン・アーツ・ネットワーク 定款

第1章 総則

(名称)

第1条 この法人は、特定非営利活動法人トリトン・アーツ・ネットワークという。

(事務所)

第2条 この法人は、事務所を東京都中央区晴海1丁目8番10号に置く。

(目的)

第3条 この法人は、東京都中央区の晴海、月島、佃、勝どき地区を主とした地域の人々に対して、音楽を中心とした芸術活動ならびに地域活動を行うことにより、わが国の文化、芸術の発展に寄与することを目的とする。

(特定非営利活動の種類)

第4条 この法人は、前条の目的を達成するため、次に掲げる種類の活動を行なう。

- (1) 社会教育の推進を図る活動
- (2) まちづくりの推進を図る活動
- (3) 学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動
- (4) 子どもの健全育成を図る活動

(事業)

第5条 この法人は、第3条の目的を達成するため、特定非営利活動に係る事業として次の事業を行う。

- (1) 自主企画公演事業
- (2) コンサート出前事業
- (3) アウトリーチプログラム事業
- (4) 若手演奏家支援事業
- (5) 前各号の事業を行うために必要な外国人の招へい
- (6) 文化ボランティア拠点づくり事業
- (7) 評価事業
- (8) その他目的を達成するための事業

第2章 会員

(種別)

第6条 この法人の会員は、次の2種とし、正会員をもって特定非営利活動促進法（以下、「法」という。）上の社員とする。

- (1) 正会員 この法人の目的に賛同して入会した個人又は団体
- (2) 特別会員 この法人の事業を賛助するために入会した団体

(入会)

第7条 正会員又は特別会員の入会について、特に条件は定めない。

- 2 正会員又は特別会員として入会しようとするものは、理事長が別に定める入会申込書により、理事長に申し込むものとする。
- 3 理事長は、前項の申込があったときは、正当な理由がない限り、入会を認めなければならない。
- 4 理事長は、第2項のものの入会を認めないときは、速やかに、理由を付した書面をもって本人にその旨を通知しなければならない。

(会費)

第8条 会員は、総会において別に定める会費を納入しなければならない。

(退会)

第9条 会員は、理事長が別に定める退会届を理事長に提出して、任意に退会することができる。

- 2 会員が次の各号の一に該当するときは、退会したものとみなす。
 - (1) 本人が死亡し、又は会員である団体が消滅したとき。
 - (2) 継続して会費を2年以上滞納したとき。

(除名)

第10条 会員が次の各号の一に該当するに至ったときは、総会の議決により、これを除名することができる。この場合、その会員に対し、議決の前に弁明の機会を与えなければならない。

- (1) この定款等に違反したとき。
- (2) この法人の名誉を傷つけ、又は目的に反する行為をしたとき。
- (3) 前各号に準じる行為があったとき。

(抛出品の不返還)

第11条 既納の会費及びその他の抛出品は、返還しない。

第3章 役員

(種別)

第12条 この法人に次の役員を置く。

- (1) 理事 3人以上10人以内
 - (2) 監事 2人以内
- 2 理事のうち、1人を理事長とする。

(選任等)

第13条 理事及び監事は、総会において選任する。

- 2 理事長は、理事会において理事が互選する。
- 3 監事は、理事又はこの法人の職員を兼ねることができない。
- 4 役員のうちには、それぞれの役員について、その配偶者若しくは三親等以内の親族が1人を超えて含まれ、又は当該役員ならびにその配偶者及び三親等以内の親族が役員の総数の3分の1を超えて含まれることにはならない。

(職務)

第14条 理事長は、この法人を代表し、その業務を統括する。

- 2 理事は、理事会を構成し、この定款の定め及び総会又は理事会の議決に基づき、この法人の業務を執行する。また、理事長に事故あるとき又は理事長が欠けたときは、理事の中から理事長があらかじめ指定した者がその職務を代行する。

3 監事は、次に掲げる職務を行う。

- (1) 理事の業務執行の状況を監査すること。
- (2) この法人の財産の状況を監査すること。
- (3) 前2号の規定による監査の結果、この法人の業務又は財産に関し不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実があることを発見した場合には、これを総会又は所轄庁に報告すること。
- (4) 前号の報告をするため必要がある場合には、総会を招集すること。
- (5) 理事の業務執行の状況又はこの法人の財産の状況について、理事に意見を述べること。

(任期等)

第15条 役員は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

- 2 補欠のため、又は増員によって就任した役員は、それぞれの前任者又は現任者の任期の残存期間とする。
- 3 役員は、辞任又は任期満了後においても、後任者が就任するまでは、その職務を行わなければならない。

(欠員補充)

第16条 理事又は監事のうち、その定数の3分の1を超える者が欠けたときは、遅滞なくこれを補充しなければならない。

(解任)

第17条 役員が次の各号の一に該当するに至ったときは、総会の議決により、これを解任することができる。ただし、総会において、その役員に対し、議決前に弁明の機会を与えなければならない。

- (1) 心身の故障のため、職務の遂行に堪えないと認められるとき。
- (2) 職務上の義務違反、その他役員としてふさわしくない行為があったとき。

(報酬等)

第18条 役員は、その総数の3分の1以下の範囲内で報酬を受けることができる。

- 2 役員には、その職務を執行するために要した費用を弁償することができる。
- 3 前2項に関し必要な事項は、総会の議決を経て、理事長が別に定める。

第4章 総会

(種別)

第19条 この法人の総会は、通常総会と臨時総会とする。

(構成)

第20条 総会は、正会員をもって構成する。

(権能)

第21条 総会は、次の事項を議決する。

- (1) 定款の変更
- (2) 解散及び合併
- (3) 事業報告及び収支決算
- (4) 役員を選任又は解任、報酬及び職務に関する事項
- (5) 会費の額
- (6) 長期借入金その他新たな義務の負担及び権利の放棄
- (7) その他運営に関する重要事項

(開催)

第22条 通常総会は、毎年1回開催する。

2 臨時総会は、次の各号の一に該当する場合に開催する。

- (1) 理事会が必要と認め、招集の請求をしたとき。
- (2) 正会員総数の5分の1以上から、会議の目的である事項を記載した書面をもって招集の請求があったとき。
- (3) 第14条第3項第4号の規定により、監事から招集があったとき。

(招集)

第23条 総会は、理事長が招集する。ただし、前条第2項第3号の規定による場合は、監事が招集する。

- 2 理事長は、前条第2項第2号の規定による請求があった場合は、その日から30日以内に臨時総会を開かなければならない。
- 3 総会を招集するときは、会議の日時、場所、目的及び審議事項を記載した書面をもって、少なくとも5日前までに通知しなければならない。

(議長)

第24条 総会の議長は、その総会において、出席した正会員の中から選出する。

(定足数)

第25条 総会は、正会員の2分の1以上の出席がなければ開会することができない。

(議決)

第26条 総会における議決事項は、第23条第3項の規定によってあらかじめ通知した事項とする。

- 2 総会の議事は、この定款で定めるもののほか、出席した正会員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(表決権)

第27条 各正会員の表決権は平等なものとする。

- 2 総会に出席しない正会員は、あらかじめ通知された事項について書面若しくは電磁的方法をもって表決し、又は他の正会員を代理人として表決を委任することができる。
- 3 前項の規定により表決した正会員は、前2条の適用については、出席したものとみなす。
- 4 総会の議決について、特別の利害関係を有する正会員は、その決議に加わることができない。

(議事録)

第28条 総会の議事については、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。

- (1) 日時及び場所
- (2) 正会員の現在数
- (3) 出席した正会員の数(書面若しくは電磁的方法による表決者、又は表決委任者については、その旨を明記すること)
- (4) 審議事項及び議決事項
- (5) 議事の経過の概要及び議決の結果
- (6) 議事録署名人の選任に関する事項

2 議事録には、議長及び出席した正会員のうちからその会議において選任された議事録署名人2人以上が署名、押印しなければならない。

第5章 理事会

(構成)

第29条 理事会は、理事をもって構成する。

2 監事は、理事会に出席し、意見を述べることができる。

(権能)

第30条 理事会は、この定款に定めるものの他、次の事項を議決する。

- (1) 総会に付すべき事項
- (2) 総会の議決した事項の執行に関する事項
- (3) その他、総会の議決を要しない業務の執行に関する事項

(開催)

第31条 理事会は、次の各号の一に該当する場合に開催する。

- (1) 理事長が必要と認めたとき。
- (2) 理事総数の3分の1以上から、会議の目的である事項を記載した書面によって招集の請求があったとき。

(招集)

第32条 理事会は理事長が招集する。

- 2 理事長は、前条2号の規定による請求があったときは、その日から30日以内に理事会を招集しなければならない。
- 3 理事会を招集するときは、会議の日時、場所、目的及び審議事項を記載した書面をもって、少なくとも5日前までに通知しなければならない。

(議長)

第33条 理事会の議長は、理事長がこれに当たる。

(議決)

第34条 理事会における議決事項は、第32条第3項の規定によって、あらかじめ通知した事項とする。

2 理事会の議事は、理事総数の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決すところによる。

(表決権)

第35条 各理事の表決権は平等なものとする。

- 2 やむを得ない理由のため理事会に出席できない理事は、あらかじめ通知された事項について書面又は電磁的方法をもって表決することができる。
- 3 前項の規定により表決した理事は、前条の適用については、出席したものとみなす。
- 4 理事会の議決について、特別の利害関係を有する理事員は、その決議に加わることができない。

(議事録)

第36条 理事会の議事については、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。

- (1) 日時及び場所
- (2) 理事の現在数
- (3) 出席した理事の数(書面又は電磁的方法による表決者については、その旨を明記すること)
- (4) 審議事項及び議決事項
- (5) 議事の経過の概要及び議決の結果
- (6) 議事録署名人の選任に関する事項

2 議事録には、議長及びその会議において選任された議事録署名人1人以上が署名、押印しなければならない。

第6章 資産、会計及び事業計画

(構成)

第37条 この法人の資産は、次の各号に掲げるものをもって構成する。

- (1) 財産目録に記載された財産
- (2) 会費
- (3) 寄付金
- (4) 財産から生じる収入
- (5) 事業に伴う収入
- (6) その他の収入

(資産の区分)

第38条 この法人の資産は、特定非営利活動に係る事業に関する資産とする。

(資産の管理)

第39条 この法人の資産は、理事長が管理し、その方法は、総会の議決を経て、理事長が別に定める。

(経費の支弁)

第40条 この法人の経費は、資産をもって支弁する。

(会計の原則)

第41条 この法人の会計は、法第27条各号に掲げる原則に従って行わなければならない。

(会計の区分)

第42条 この法人の会計は、特定非営利活動に係る事業に関する会計とする。

(事業計画及び収支予算)

第43条 この法人の事業計画及びこれに伴う収支予算は、毎事業年度ごとに理事長が作成し、理事会の承認を得なければならない。これを変更する場合も同様とする。

(予備費の設定及び使用)

第44条 前条に規定する予算には、予算超過又は予算外の支出に充てるため、予算に予備費を設けることができる。

2 予備費を使用するときは、理事会の議決を経なければならない。

(暫定予算)

第45条 第43条の規定にかかわらず、やむを得ない理由により予算が成立しないときは、理事長は、理事会の議決を経て予算成立の日まで前年度の予算に準じ収入支出することができる。

2 前項の収入支出は、新たに成立した予算の収入支出とみなす。

(事業報告書及び決算)

第46条 理事長は、毎事業年度終了後3ヶ月以内に、事業報告書、財産目録、貸借対照表、収支決算書を作成し、監事の監査を経て、総会の承認を得なければならない。

(長期借入金)

第47条 この法人が資金の借入をしようとするときは、その事業年度の収入をもって償還する短期借入金を除き、総会の議決を経なければならない。

(事業年度)

第48条 この法人の事業年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

第7章 事務局

(設置)

第49条 この法人の事務を処理するため、事務局を置く。

2 事務局には、事務局長その他の職員を置く。

3 事務局の職員は、理事長が任免する。

(書類及び帳簿の備置)

第50条 事務所には、特定非営利活動促進法第28条に規定される書類のほか、次に掲げる書類を常に備えておかななければならない。

- (1) 会員名簿及び会員の異動に関する書類
- (2) 収入、支出に関する帳簿及び証拠書類

第8章 定款の変更、解散及び合併

(定款の変更)

第51条 この法人が定款を変更しようとするときは、総会に出席した正会員の過半数の議決を経なければならない。ただし、可否同数のときは議長の決すところによる。また、変更内容については法第25条第3項に規定する軽微な事項を除いて所轄庁の認証を得なければならない。

(解散)

第52条 この法人は、次に掲げる事由により解散する。

- (1) 総会の決議
 - (2) 目的とする特定非営利活動に係る事業の成功の不能
 - (3) 正会員の欠亡
 - (4) 合併
 - (5) 破産手続開始の決定
 - (6) 所轄庁による設立の認証の取消し
- 2 前項第1号の事由によりこの法人が解散するときは、総会において出席した正会員の3分の2以上の議決を経なければならない。
- 3 第1項第2号の事由により解散するときは、所轄庁の認定を得なければならない。

(残余財産の帰属)

第53条 この法人が合併又は破産手続開始の決定以外の事由により解散したときに残存する財産は、総会において出席した正会員の過半数の議決を経て選定された、特定非営利活動法人、公益社団法人、公益財団法人、国又は地方公共団体に譲渡する。

第9章 雑則

(公告の方法)

第54条 この法人の公告は、この法人の揭示場に掲示するとともに、官報に掲載して行う。

(委任)

第55条 この定款の施行について必要な事項は、総会の議決を経て、理事長がこれを定める。

附則

1. この定款は、この法人の成立の日から施行する。
2. この法人の設立当初の役員は、次に掲げるとおりとする。

- | | |
|---------|--------------|
| (1) 理事長 | 加茂文治 |
| (2) 理事 | 藤田正厚
成田元男 |
| (3) 監事 | 永山妙子 |

3. この法人の設立当初の役員の任期は、第15条第1項の規定にかかわらず平成14年の最初の総会の日までとする。

4. この法人の設立当初の事業年度は、第48条の規定にかかわらず、成立の日から平成14年3月31日までとする。

5. この法人の設立当初の事業計画及び収支予算は、第43条の規定にかかわらず、設立総会の定めるところによるものとする。

6. この法人の設立時の会費は、第8条の規定にかかわらず次に掲げる額とする。

- | | | |
|----------|--------|----------|
| (1) 正会員 | 年会費 1口 | 10,000円 |
| (2) 賛助会員 | 年会費 1口 | 5,000円 |
| (3) 特別会員 | 年会費 1口 | 100,000円 |

附則

この定款は、平成13年12月17日から施行する。

附則

この定款は、平成21年10月23日から施行する。

認定NPO法人トリトン・アーツ・ネットワーク 2014年度事業報告書
認定NPO法人トリトン・アーツ・ネットワーク 編

認定NPO法人トリトン・アーツ・ネットワーク 2014年度評価事業報告書
認定NPO法人トリトン・アーツ・ネットワーク評価委員会 編

発行 2015年7月

認定NPO法人トリトン・アーツ・ネットワーク
〒104-6005 東京都中央区晴海1-8-10 晴海アイランドトリトンスクエアX棟5階
TEL：03-3532-5701 FAX：03-3532-5703
<http://www.triton-arts.net>

